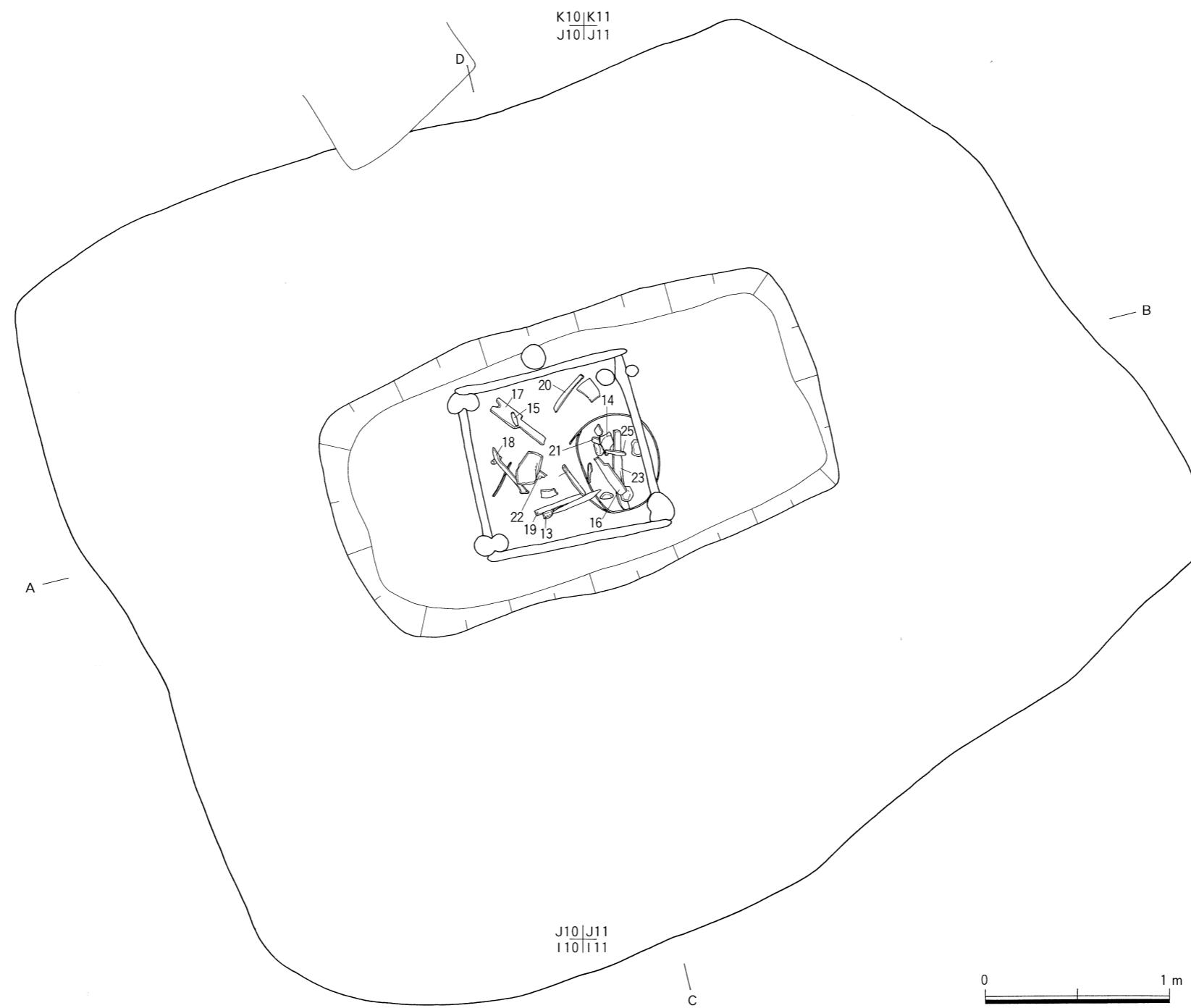


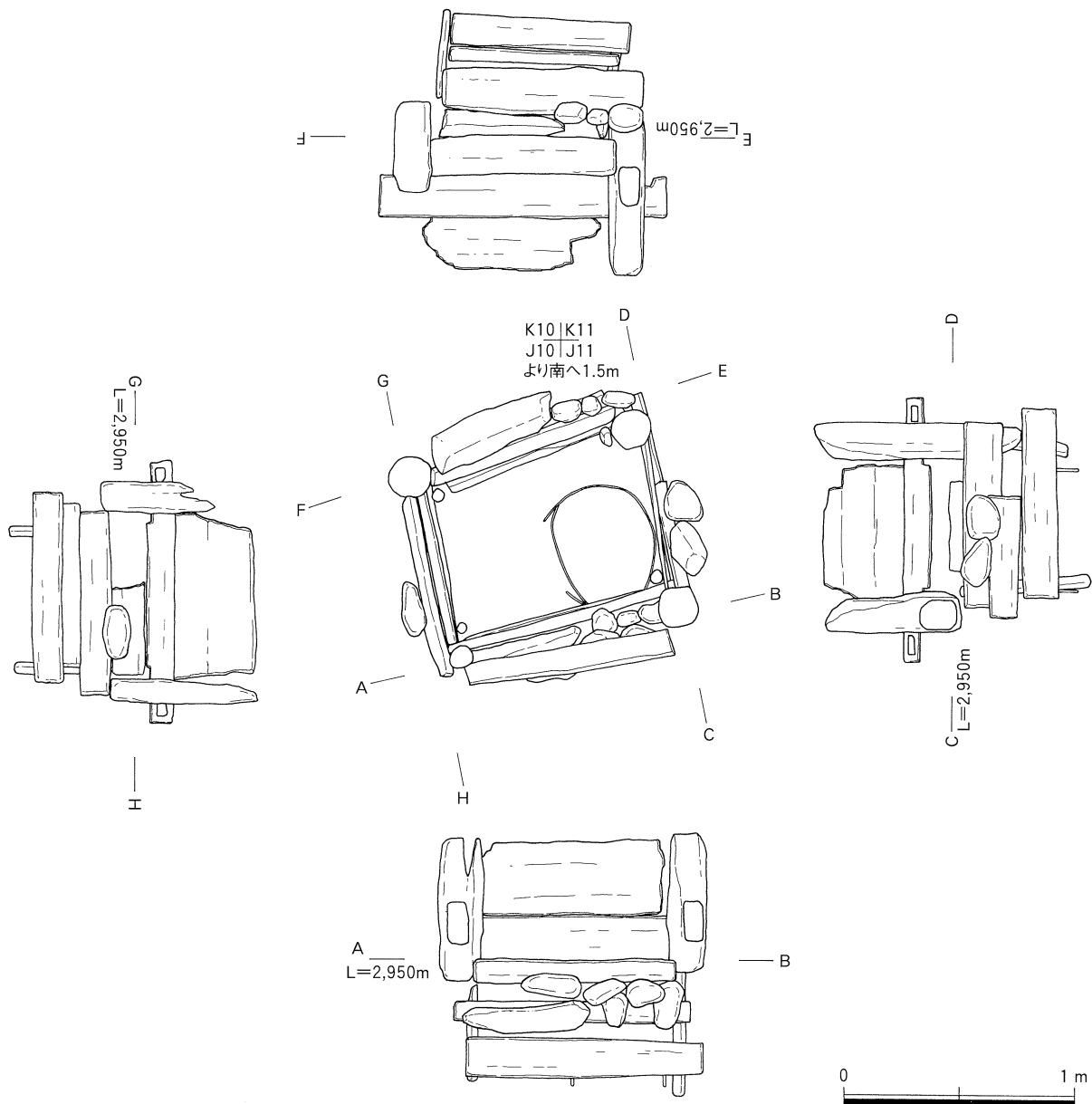


第656図 SE3001 突戸枠内遺物出土状況図（2）





第657図 SE3001 井戸枠内遺物出土状況図（3）



第658図 SE3001 井戸枠見通し断面図

28号土坑 (SK3028) (第689~691図)

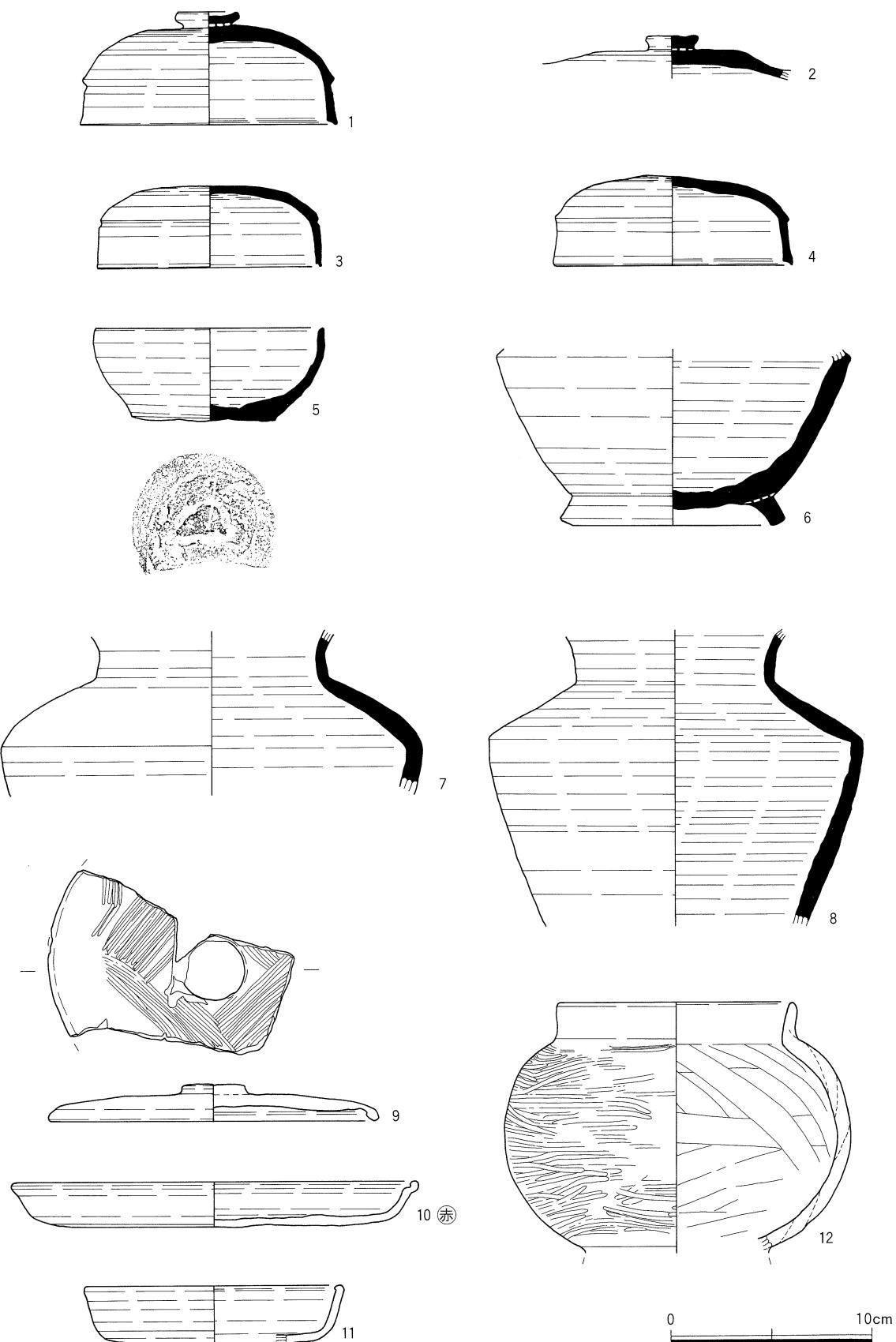
検出場所 2003年度調査2-2区 Loc.G1・βIII14・J4グリッド

形態・規模 長軸3.60m、短軸2.70m、深さ0.34mを測り、平面形状はやや不整形な円形を呈する。断面形状は皿形である。

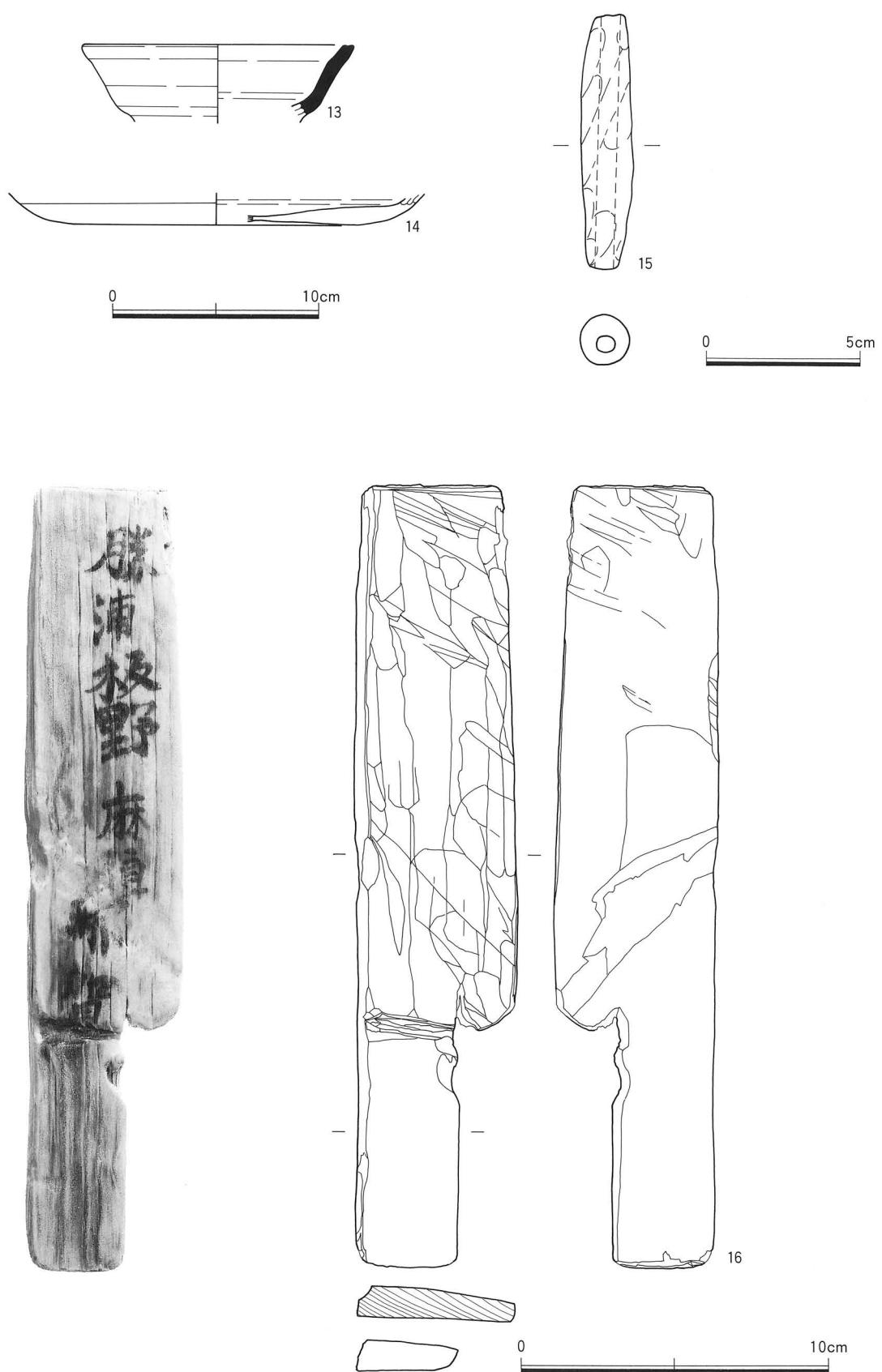
土層 2層に分層される。

遺物出土状況 遺構のほぼ全体に拡がるように検出されている。

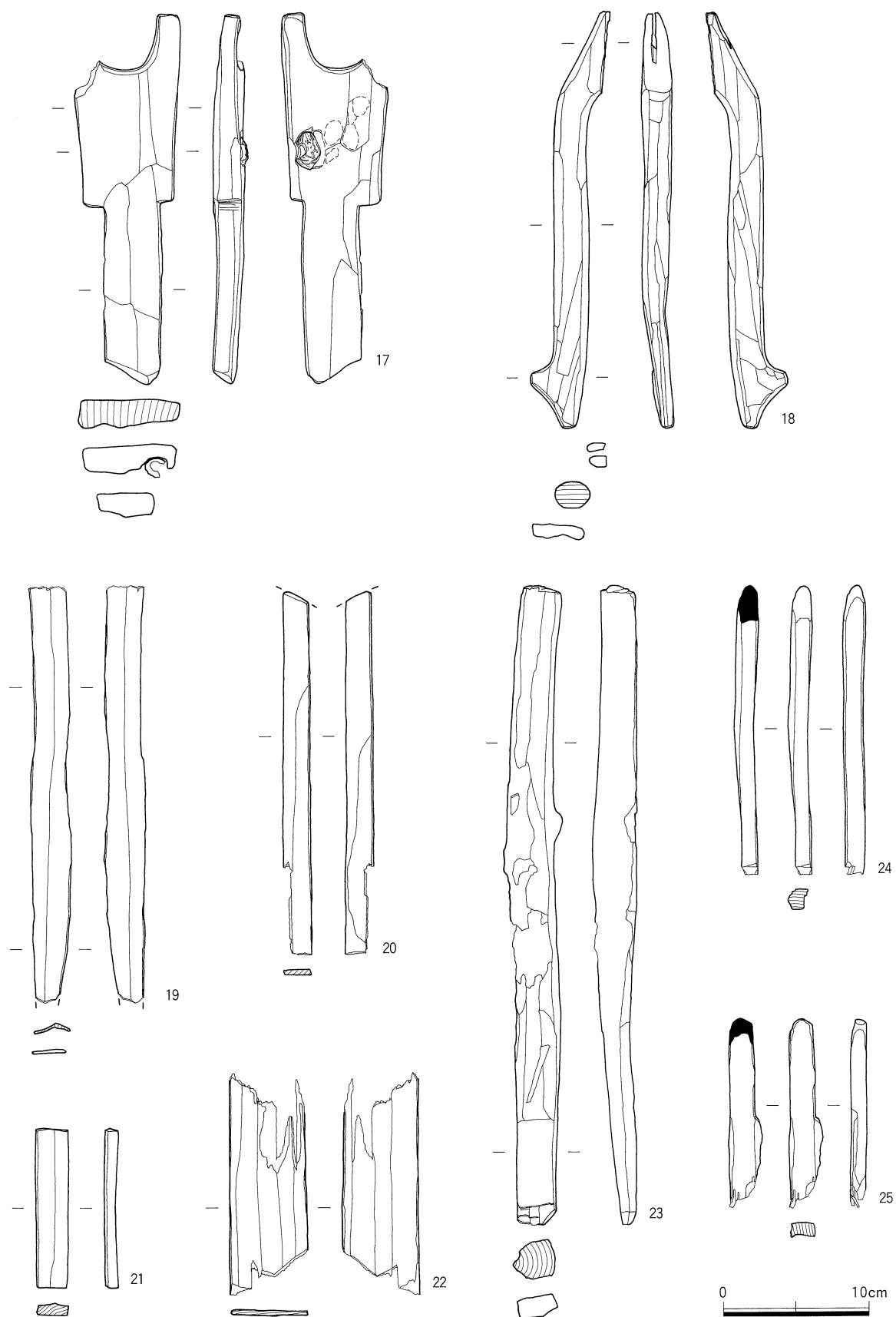
出土遺物 1、2は須恵器の杯蓋である。3は須恵器の杯身である。4は須恵器の高台付の杯である。5~7は須恵器の高杯である。8は須恵器の壺である。9は須恵器の甕である。10~12は土師器の杯である。13~17は土師器の甕である。18は土師器の甌である。19~21は製塩土器である。22は鉄製の刀子



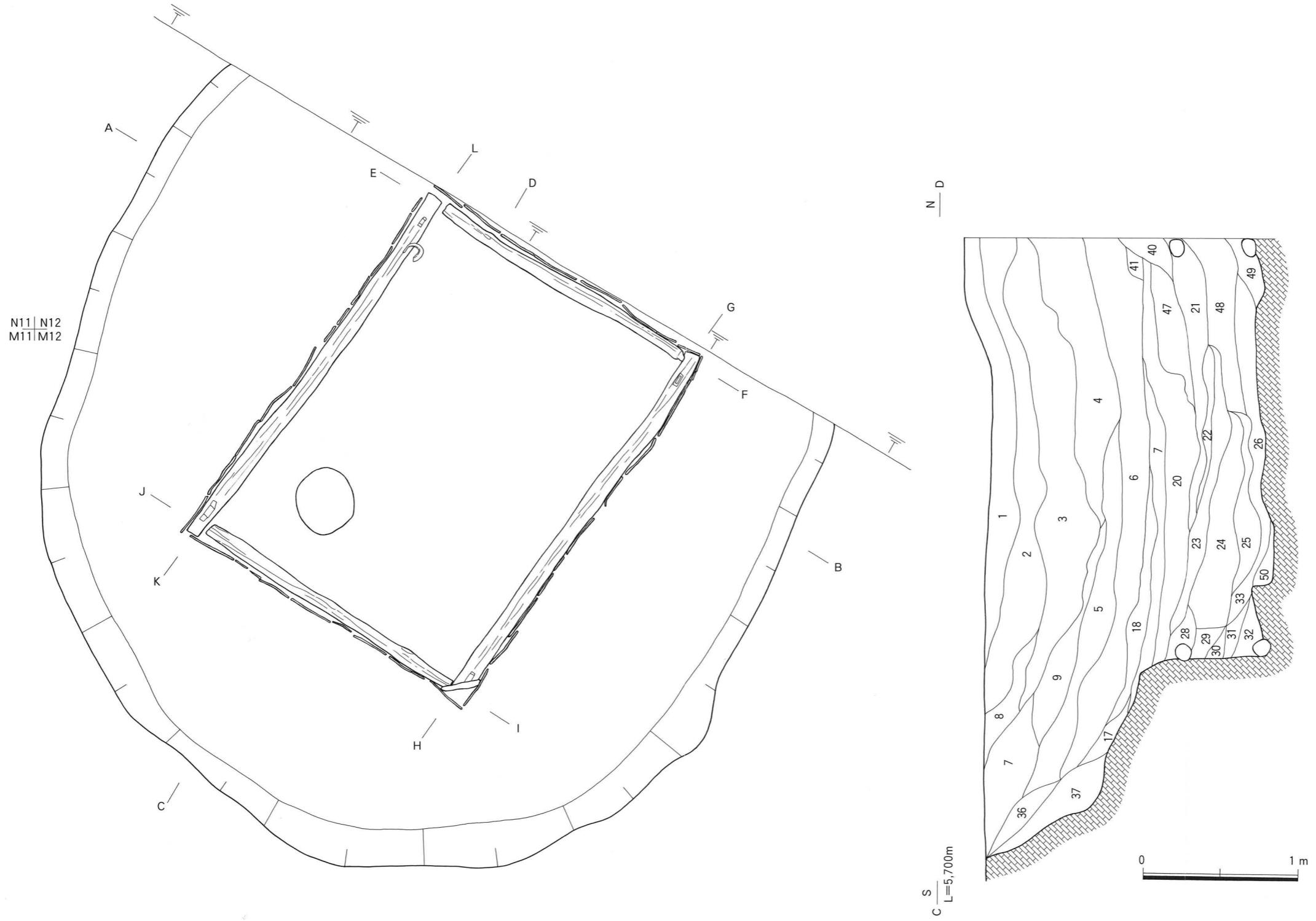
第659図 SE3001 出土遺物



第660図 SE3001 井戸枠内出土遺物（1）

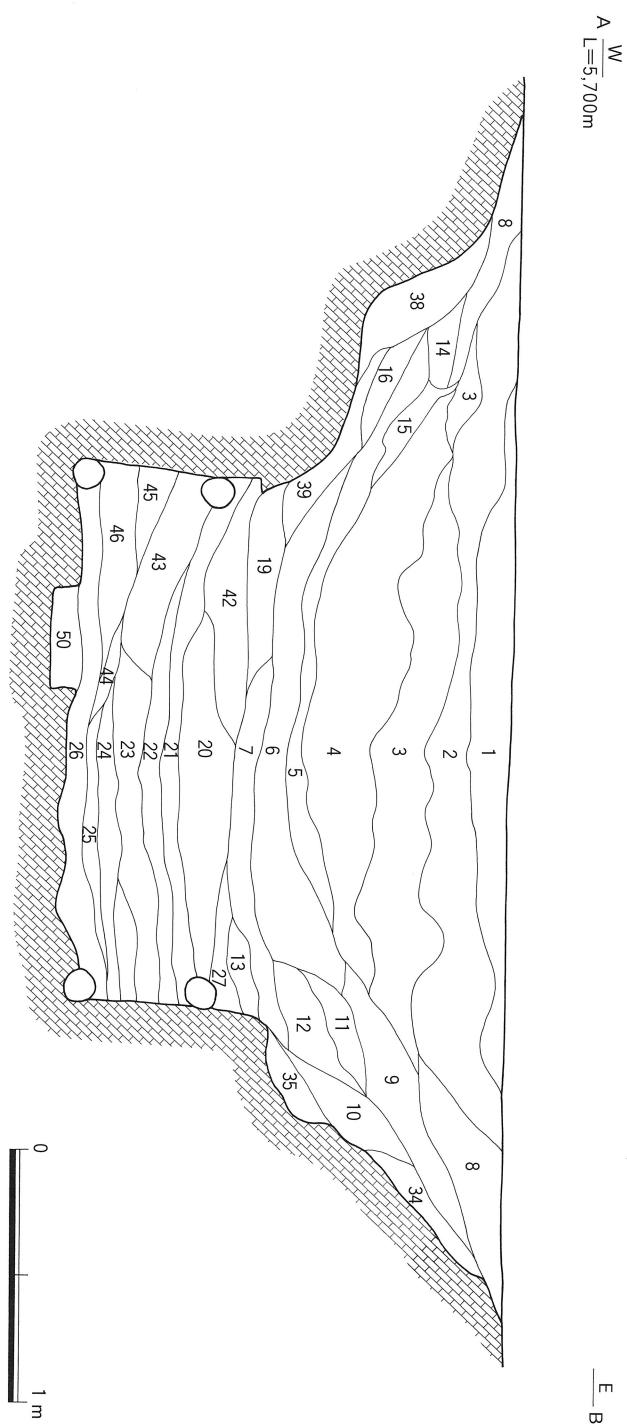


第661図 SE3001 井戸枠内出土遺物 (2)

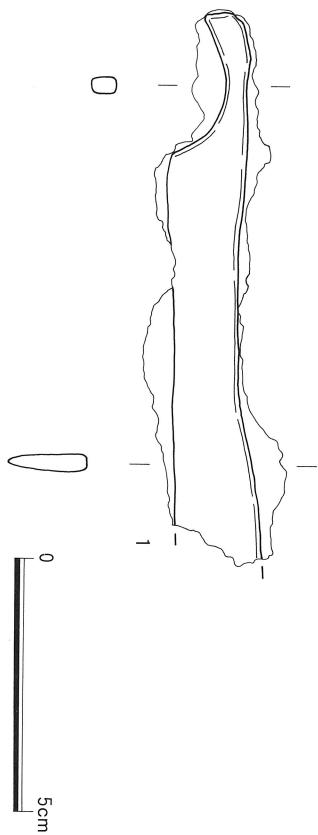


1 浅 黄 色 (2.5Y 7/4) 砂質土	15 暗灰黄色 (2.5Y 5/2) 砂質土	29 灰オリーブ色 (7.5Y 5/3) 細砂まじりの粘性砂質土	40 黄 灰 色 (2.5Y 5/1) 碎まじりの砂
2 浅 黄 色 (2.5Y 7/4) 砂質土 マンガン含む	16 黄 灰 色 (2.5Y 6/1) 砂質土	30 暗オリーブ色 (5 Y 4/4) 砂質土	41 暗灰黄色 (2.5Y 5/2) 粘性砂質土
3 灰 黄 色 (2.5Y 6/2) 砂質土	17 灰オリーブ色 (5 Y 5/3) 細 砂	31 灰オリーブ色 (7.5Y 5/2) 砂質土	42 黄 褐 色 (2.5Y 5/3) 細砂まじりの粘性砂質土
4 灰 黄 色 (5 Y 5/1) 細砂まじりの粘性砂質土	18 灰オリーブ色 (5 Y 5/2) 粘性砂質土	32 灰オリーブ色 (7.5Y 5/2) 細砂まじりの粘性砂質土	43 にぶい赤褐色 (5YR 4/4) 細 砂
5 灰 黄 色 (5 Y 6/1) 粘性砂質土	19 灰オリーブ色 (5 Y 5/2) 細砂まじりの粘性砂質土	33 灰オリーブ色 (10Y 5/2) 細砂まじりの粘性砂質土	44 にぶい黄褐色 (10YR 5/4) 粘性砂質土
6 灰 黄 色 (5 Y 6/2) 粘性砂質土	20 暗オリーブ灰色 (2.5GY 4/1) 細砂まじりの粘性砂質土	34 黄 灰 色 (2.5Y 6/1) 砂質土	45 褐 灰 色 (10YR 5/1) 細砂まじりの粘性砂質土
7 灰 黄 色 (7.5Y 5/1) 粘性砂質土	21 暗オリーブ灰色 (2.5GY 4/1) 細砂まじりの砂質土	35 灰 色 (5 Y 5/1) 碎まじりの砂	46 褐 灰 色 (10YR 4/4) 細 砂
8 にぶい黄色 (2.5Y 6/3) 砂質土	22 オリーブ灰色 (10Y 5/2) 砂質土	36 灰 黄 色 (2.5Y 6/2) 砂質土	47 灰 色 (5 Y 6/1) 細砂まじりの粘性砂質土
9 暗灰黄色 (2.5Y 5/2) 砂質土	23 暗オリーブ灰色 (2.5GY 4/1) 細砂まじりの粘性砂質土	37 暗灰黄色 (2.5Y 5/2) 砂質土	48 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 細砂まじりの粘性砂質土
10 灰オリーブ色 (5 Y 5/2) 砂質土	24 オリーブ灰色 (10Y 5/2) 細砂まじりの粘性砂質土	38 黄 褐 色 (2.5Y 5/4) 砂質土	49 褐 色 (7YR 4/4) 細 砂
11 灰オリーブ色 (5 Y 5/3) 砂質土	25 暗オリーブ灰色 (2.5GY 4/1) 細砂まじりの粘性砂質土	39 灰オリーブ色 (5 Y 5/2) 粘性砂質土	50 灰オリーブ色 (5 Y 5/2) シルトまじりの砂
12 灰 色 (7.5Y 6/1) 粘性砂質土	26 褐 色 (10YR 4/4) 細砂まじりの粘性砂質土		
13 オリーブ黄色 (5 Y 6/3) 粘性砂質土	27 オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) 砂質土		
14 黄 褐 色 (2.5Y 5/3) 砂質土	28 暗オリーブ色 (5 Y 4/3) 細砂まじりの砂質土		

第662図 SE3002 平断面図 (1)

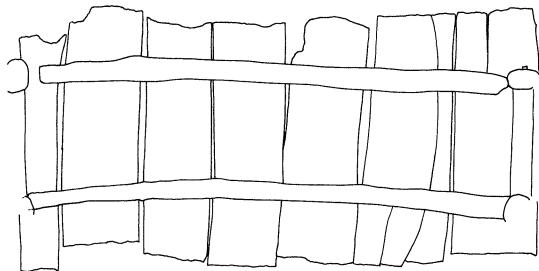


第663図 SE3002 平断面図 (2)

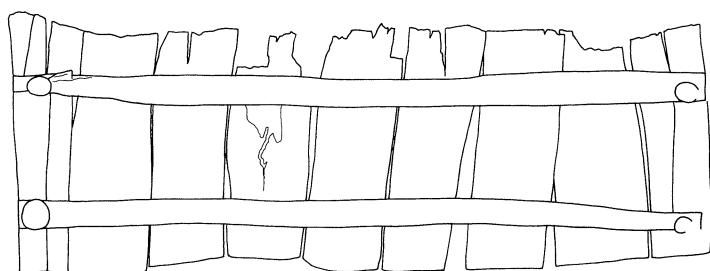


第664図 SE3002 出土遺物

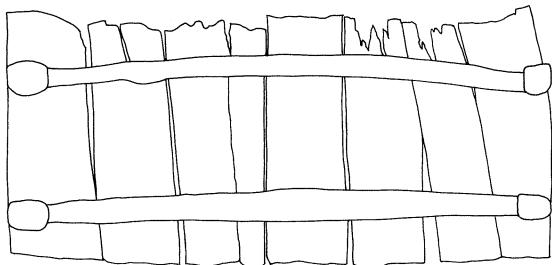
E $\overline{L=4,600\text{m}}$ — F



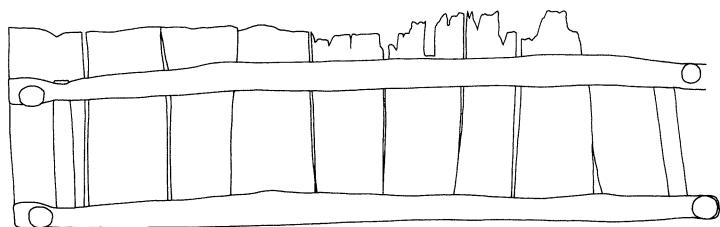
G $\overline{L=4,600\text{m}}$ — H



I $\overline{L=4,600\text{m}}$ — J

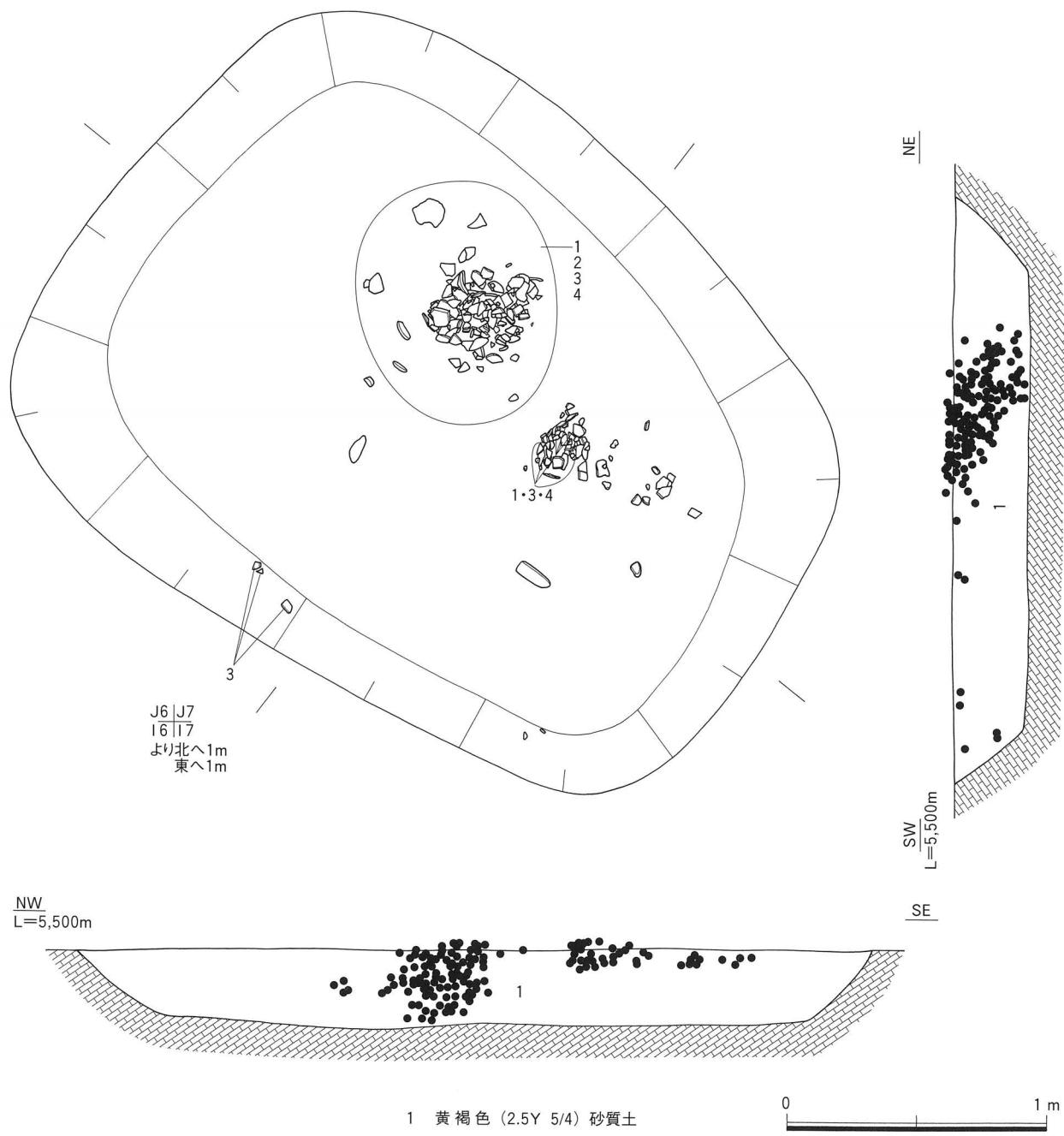


K $\overline{L=4,600\text{m}}$ — L

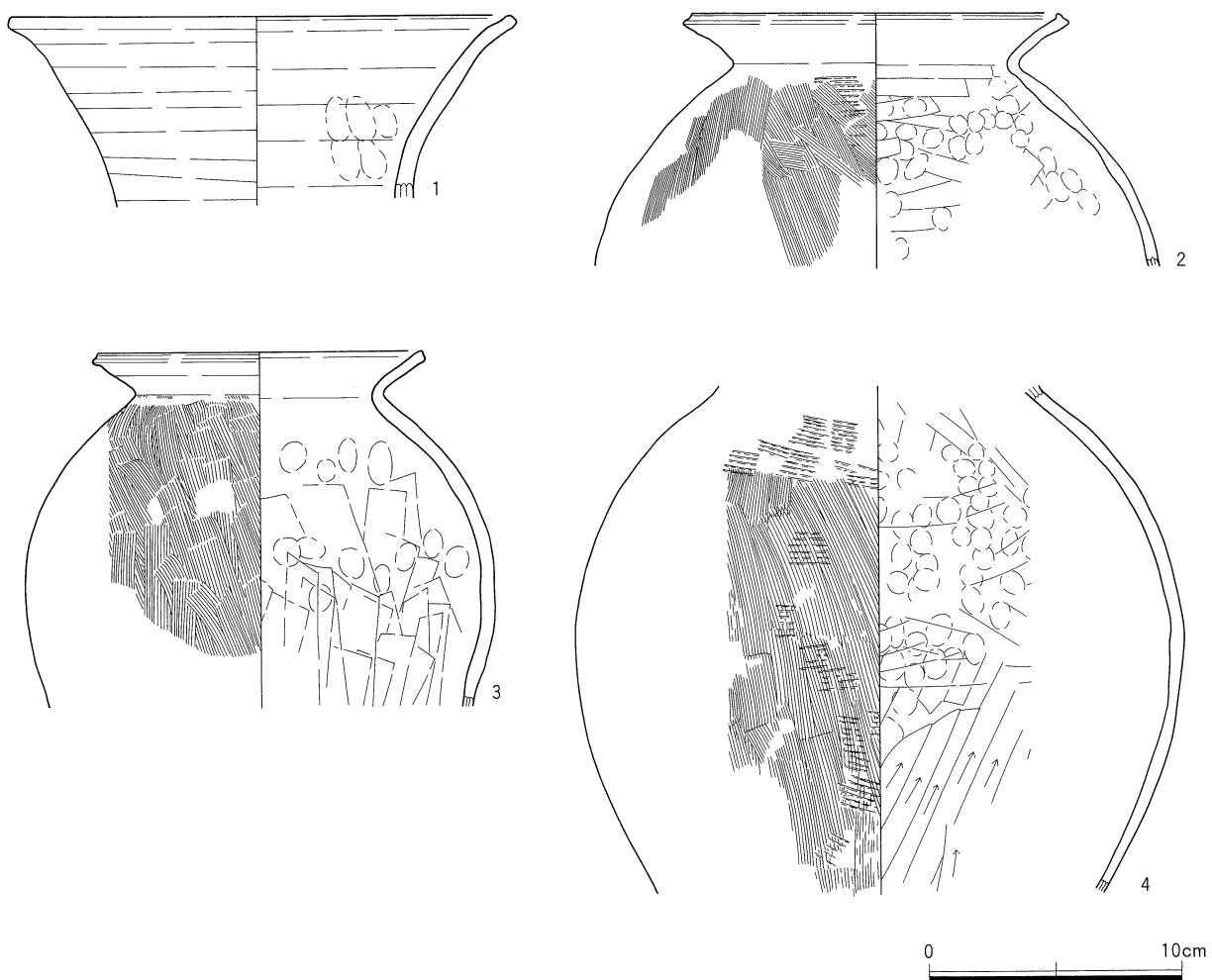


0 1 m

第665図 SE3002 井戸枠見通し断面図



第666図 SK3003 平断面図



第667図 SK3003 出土遺物

である。

時期 わずかに新しい時期の遺物の混在がみられるが、主に出土した遺物から古墳時代後期（6世紀第1四半期・TK47並行期）と考えられる。

32号土坑（SK3032）（第692・693図）

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βIII P6 グリッド

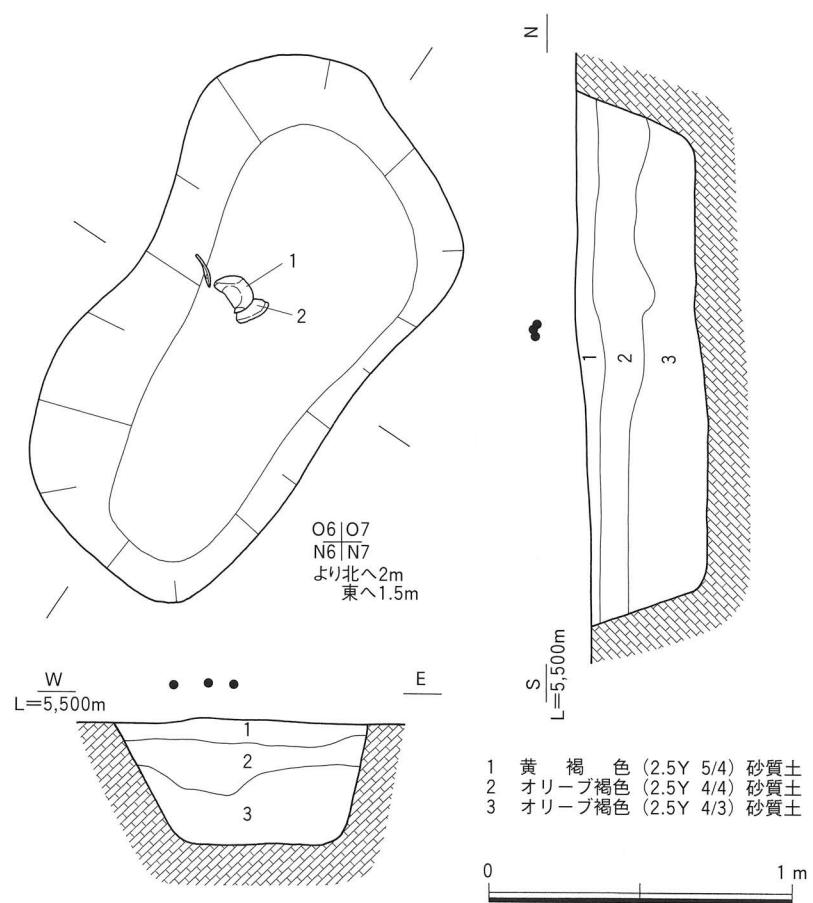
形態・規模 長軸0.98m、短軸0.88m、深さ0.68mを測り、平面形状はほぼ方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

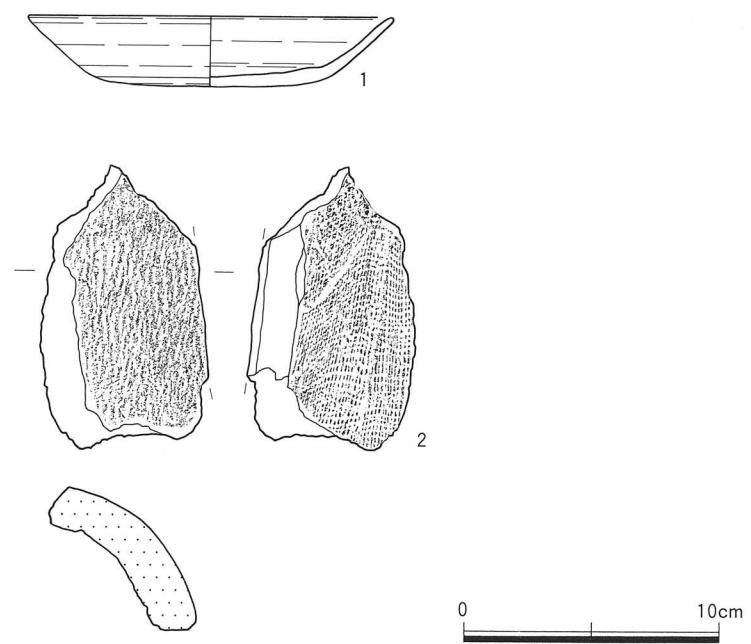
遺物出土状況 1層を中心に検出されている。

出土遺物 1～3は土師器の杯である。4は土師器の椀である。5は土師器の皿である。6～12は土錘である。

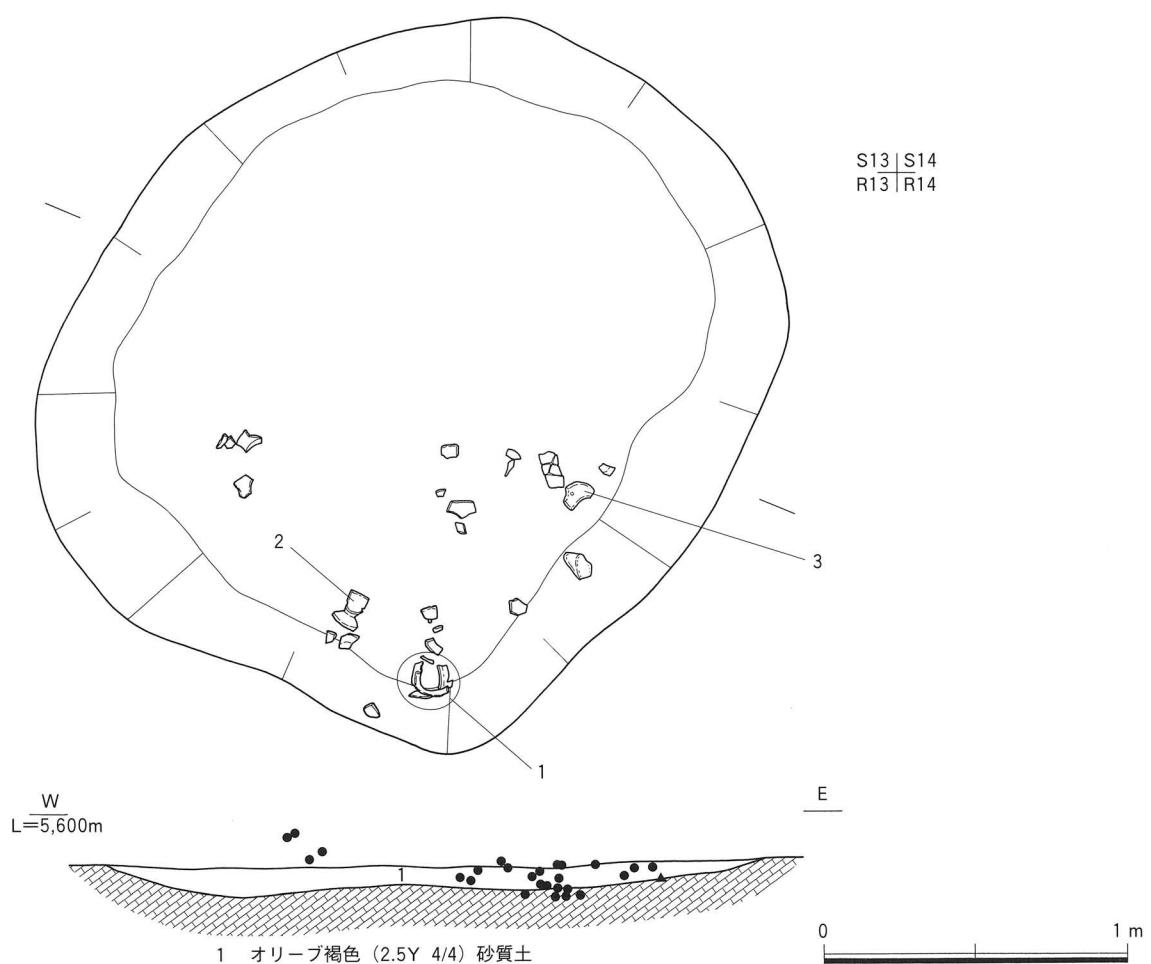
時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。



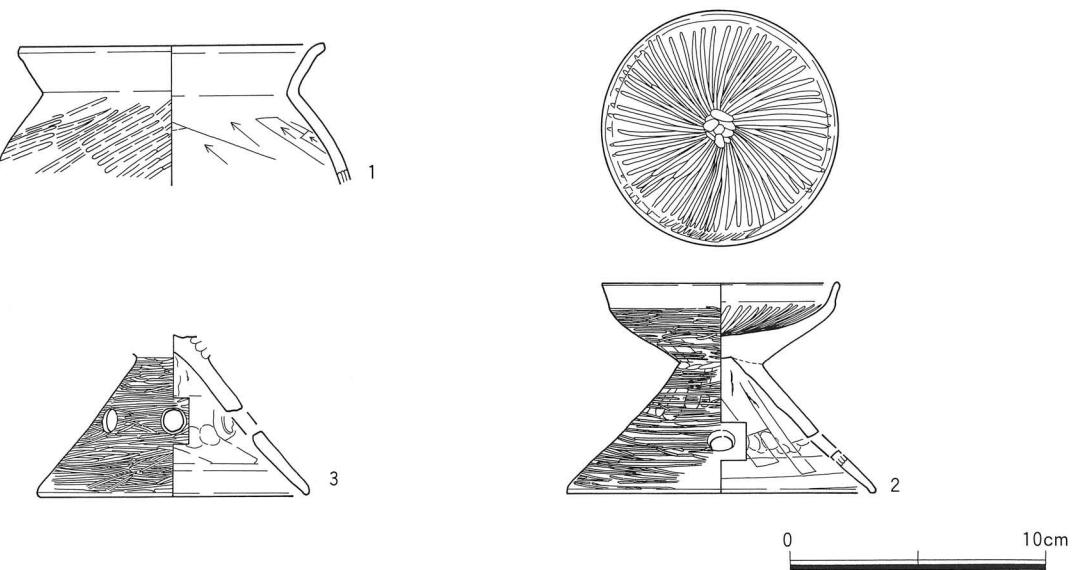
第668図 SK3007 平断面図



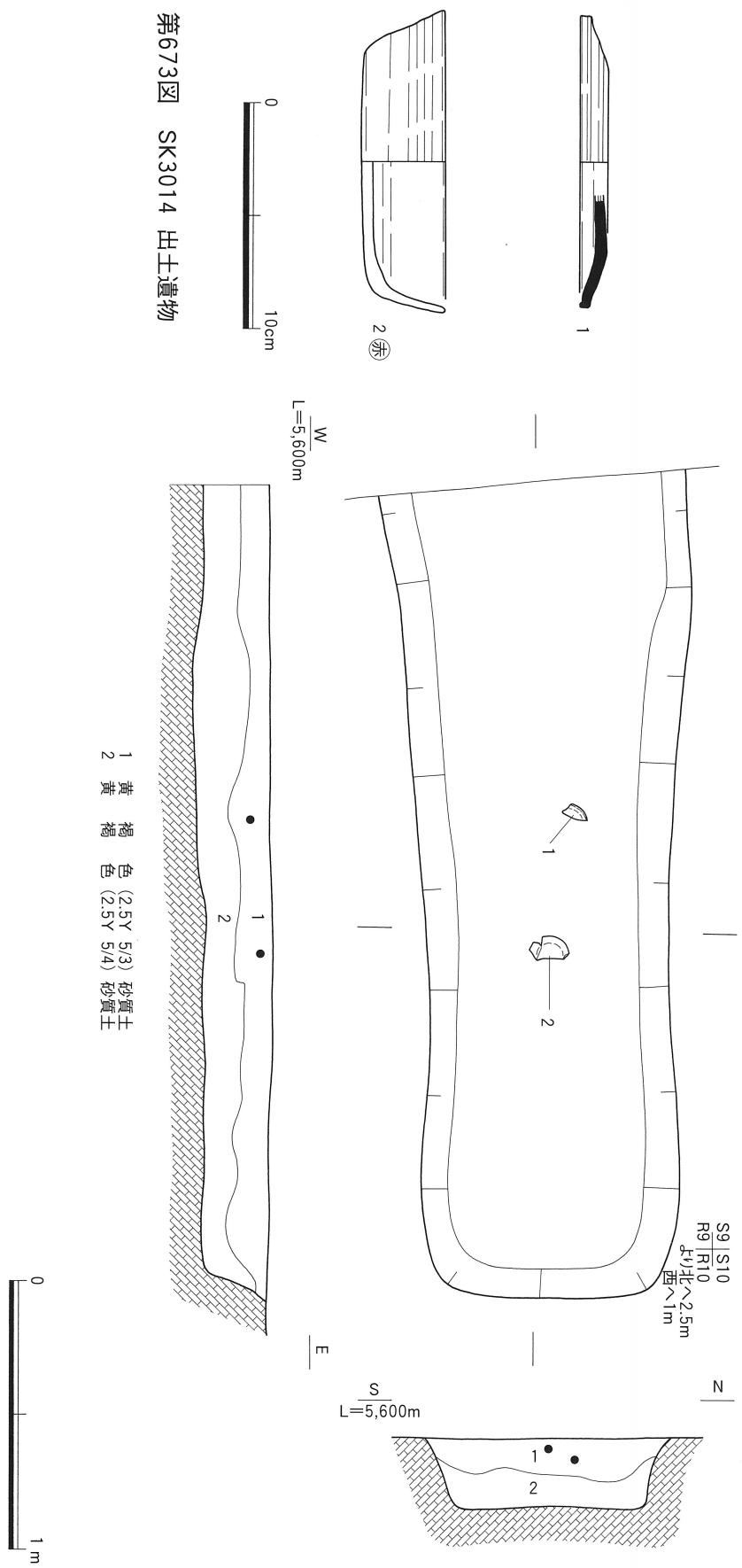
第669図 SK3007 出土遺物



第670図 SK3013 平断面図

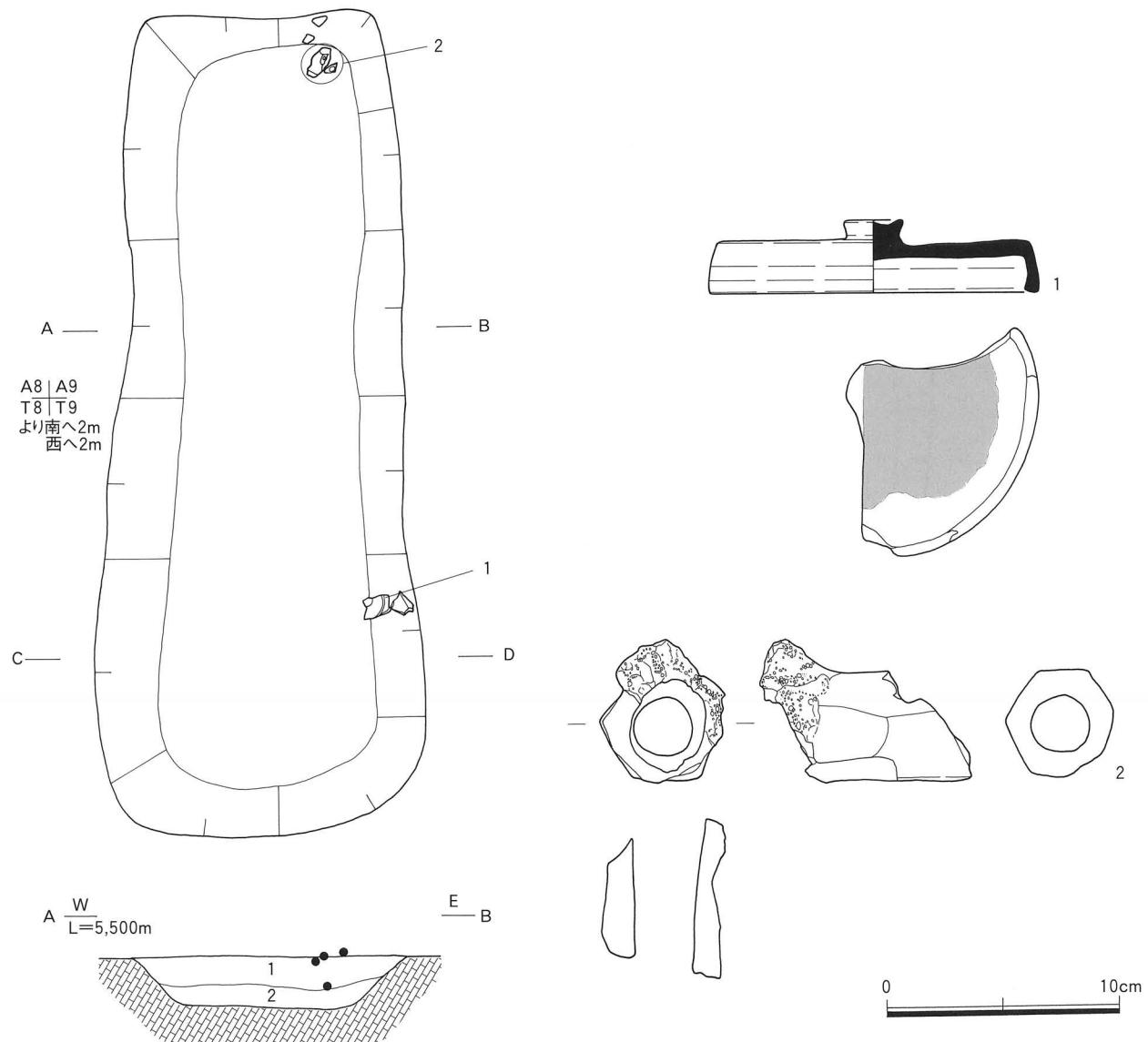


第671図 SK3013 出土遺物

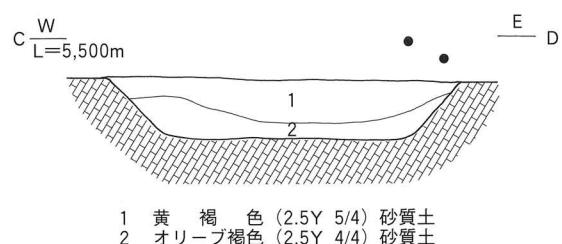


第673図 SK3014 出土遺物

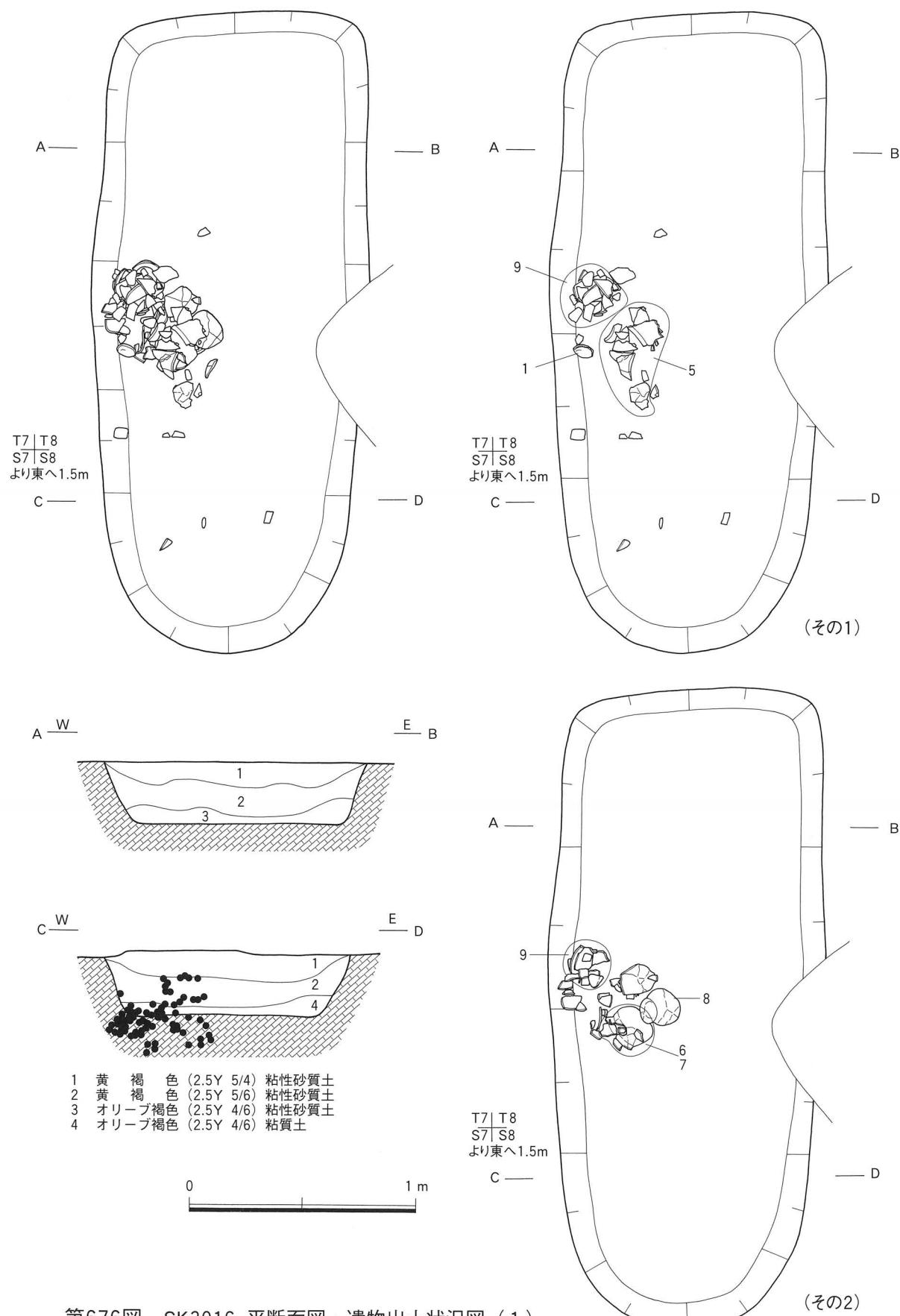
第672図 SK3014 平断面図



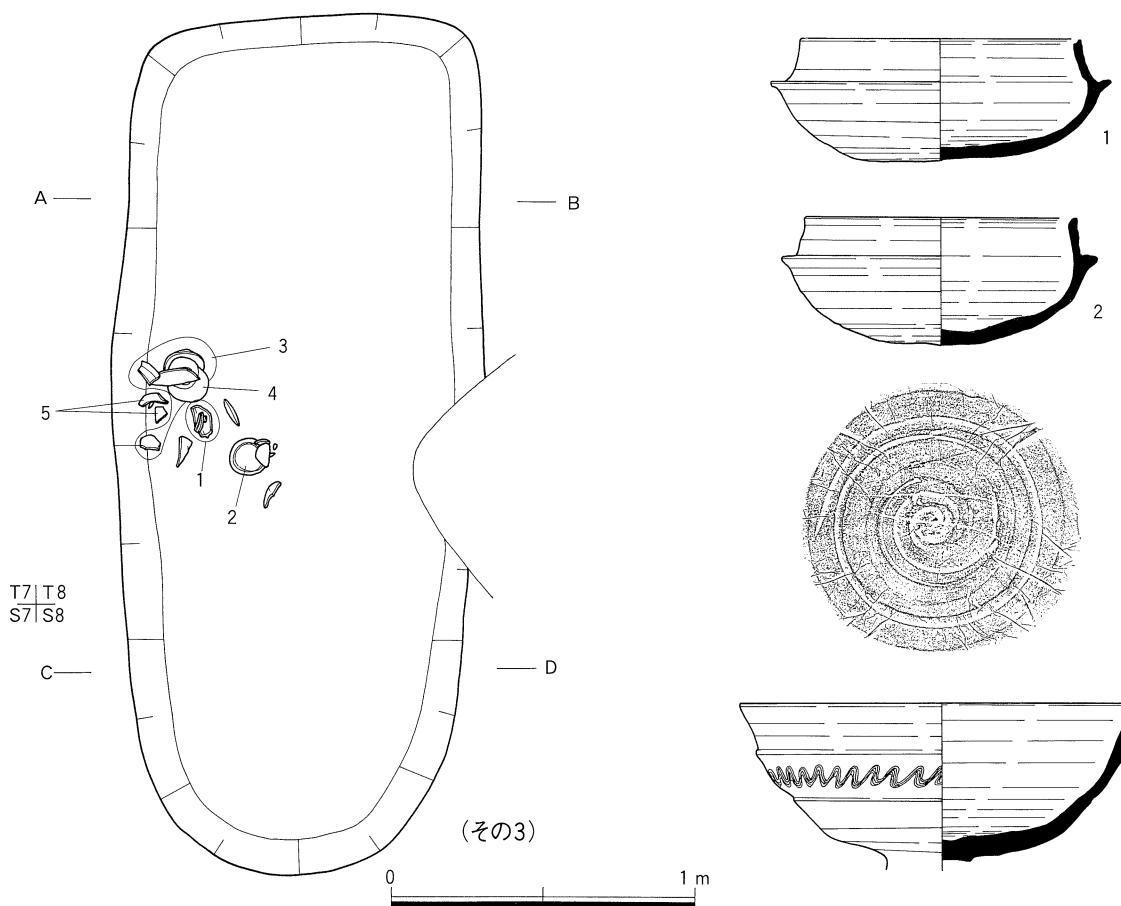
第675図 SK3015 出土遺物



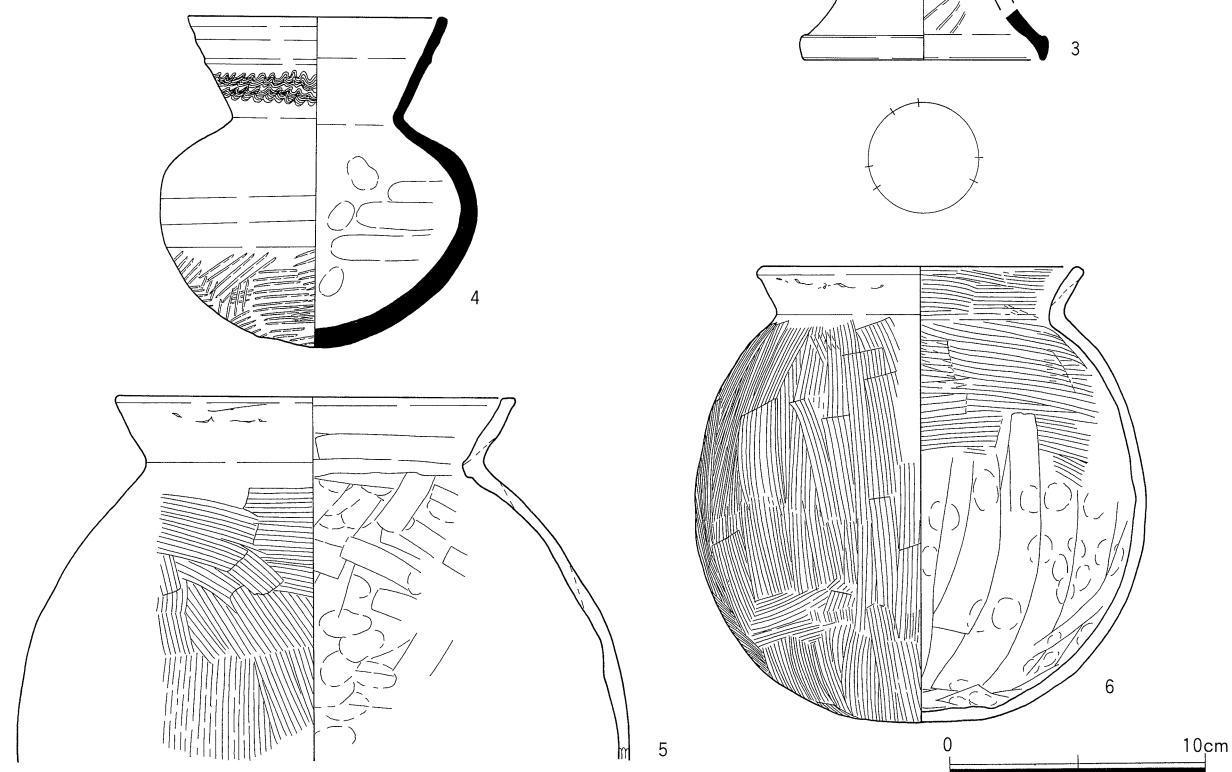
第674図 SK3015 平断面図



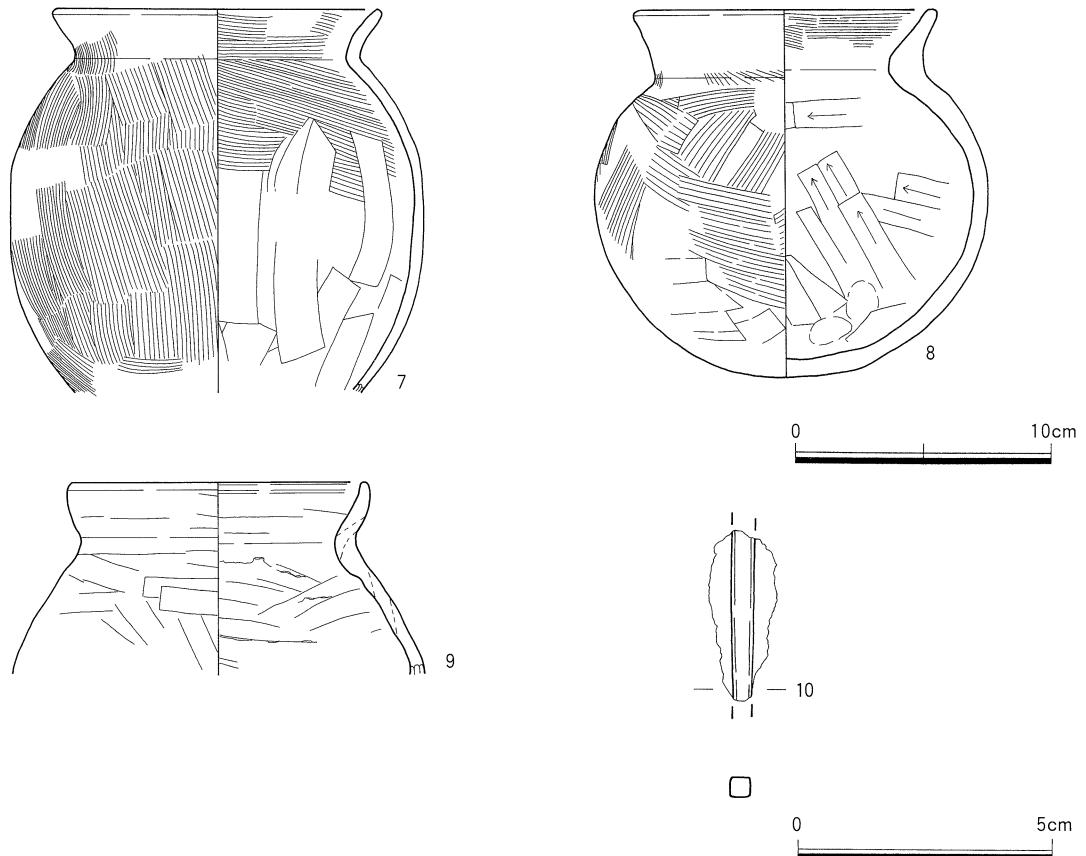
第676図 SK3016 平断面図・遺物出土状況図（1）



第677図 SK3016 遺物出土状況図（2）



第678図 SK3016 出土遺物（1）



第679図 SK3016 出土遺物（2）

42号土坑（SK3042）（第694・695図）

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・βⅢT9・γⅢA9グリッド

形態・規模 長軸3.70m、短軸1.75m、深さ0.32mを測り、平面形状は長楕円形を呈する。断面形状は二段形である。

土層 1層である。

遺物出土状況 2段部分の底部付近からまとまって検出されている。

出土遺物 1は緑釉土器の耳皿である。2は土師器の杯である。3・4は土師器の小皿である。5は黒色土器の椀である。6は平瓦である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

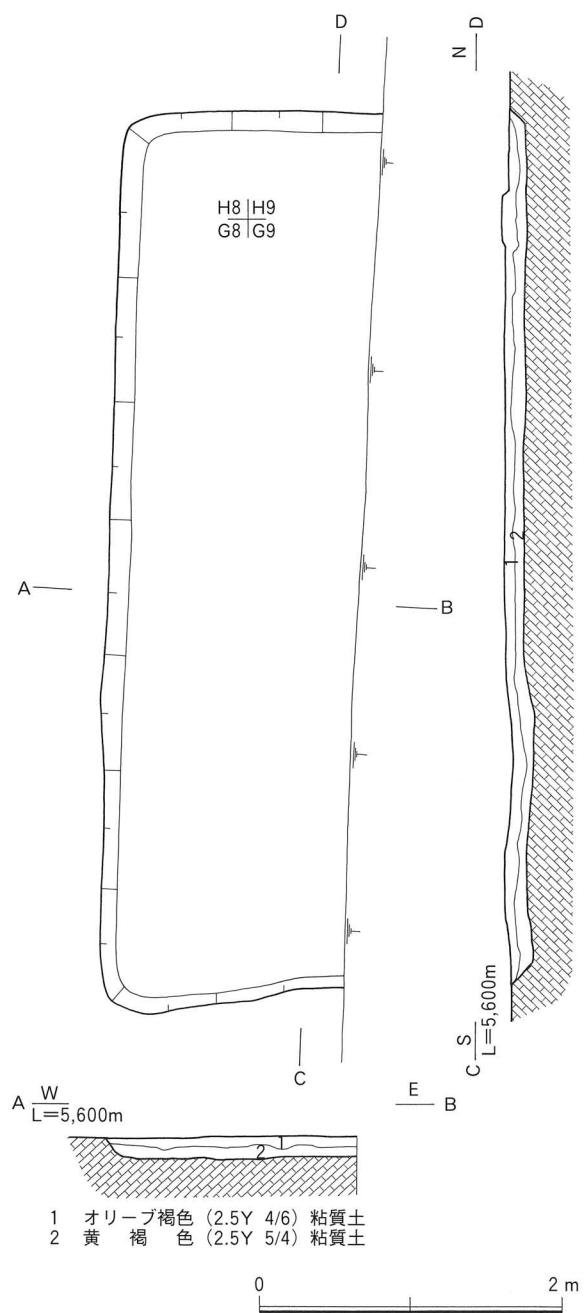
58号土坑（SK3058）（第696・697図）

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅢI5・6グリッド

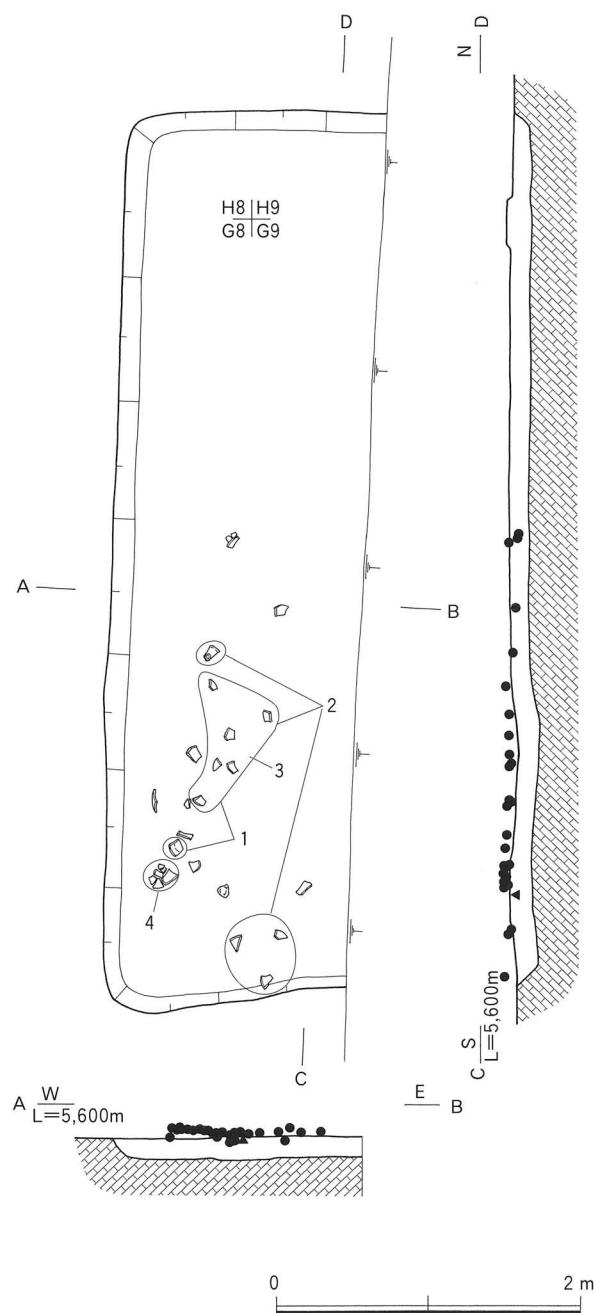
形態・規模 長軸2.13m、短軸0.68m、深さ0.18mを測り、平面形状は長楕円形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 2層に分層される。

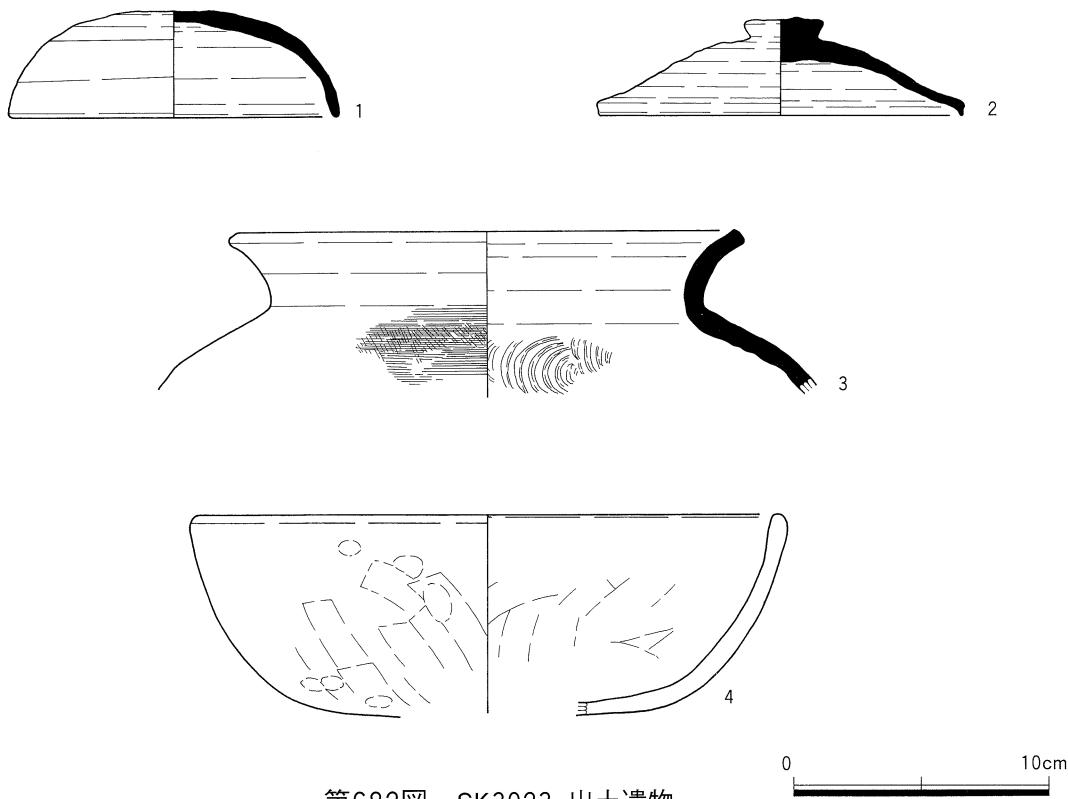
遺物出土状況 南半部の遺構検出面上面からまとまって検出されている。



第680図 SK3023 平断面図



第681図 SK3023 遺物出土状況図



第682図 SK3023 出土遺物

出土遺物 1は須恵器の杯身である。2は須恵器の高杯である。3、4は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217並行期）と考えられる。

63号土坑（SK3063）（第698・699図）

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γIII13・J3グリッド

形態・規模 長軸2.40m（残存値）、短軸1.60m、深さ0.89mを測り、平面形状は長楕円形を呈する。

断面形状は二段形である。

土層 6層に分層される。

遺物出土状況 1～2層中を中心に検出されている。

出土遺物 1～4は須恵器の高杯である。5は須恵器の壺である。6は土師器の甕である。口縁部内面に沈線が連続して施されている。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217並行期）と考えられる。

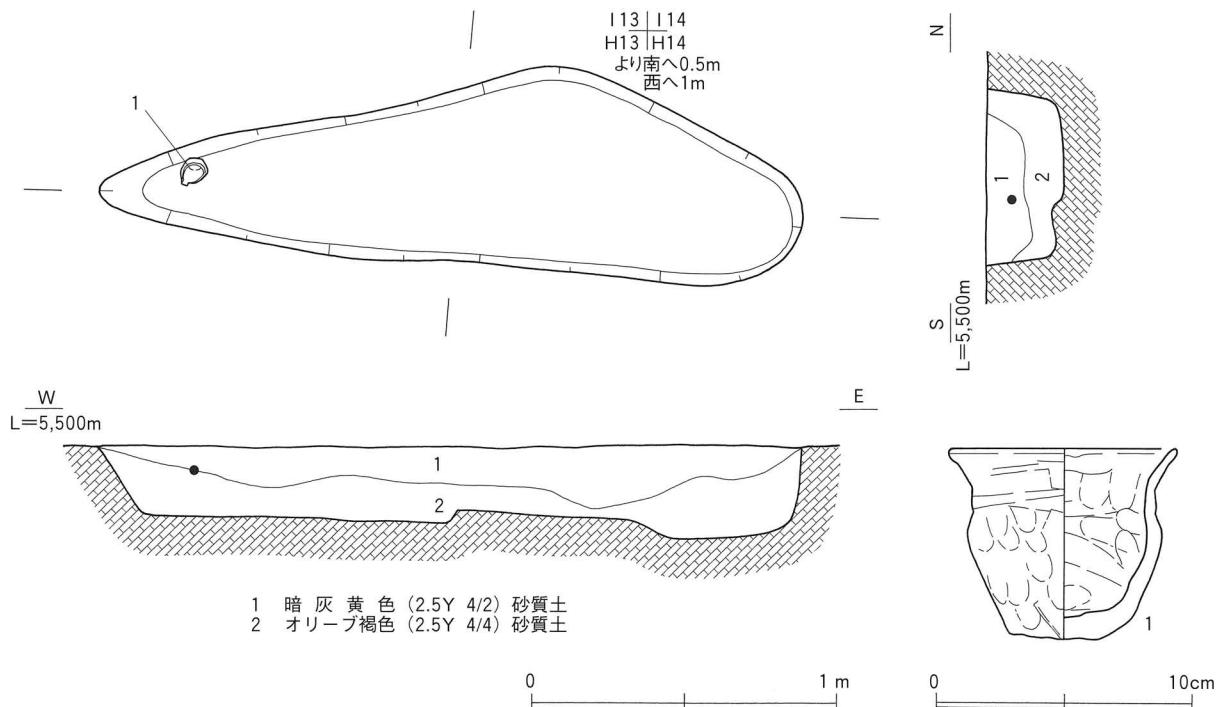
65号土坑（SK3065）（第700・701図）

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γIII11グリッド

形態・規模 長軸1.20m（残存値）、短軸1.00m、深さ0.27mを測り、平面形状は楕円形を呈する。断面形状は船底形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 中央やや北よりの1層中から検出されている。



第683図 SK3025 平断面図

第684図 SK3025 出土遺物

出土遺物 1は須恵器の杯蓋である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217並行期）と考えられる。

70号土坑（SK3070）（第702・703図）

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・γII F19・20グリッド

形態・規模 長軸2.25m（残存値）、短軸0.72m、深さ0.15mを測り、平面形状は橢円形を呈する。断面形状は船底形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面より上方から検出された。

出土遺物 1は土師器の高杯である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

71号土坑（SK3071）（第704・705図）

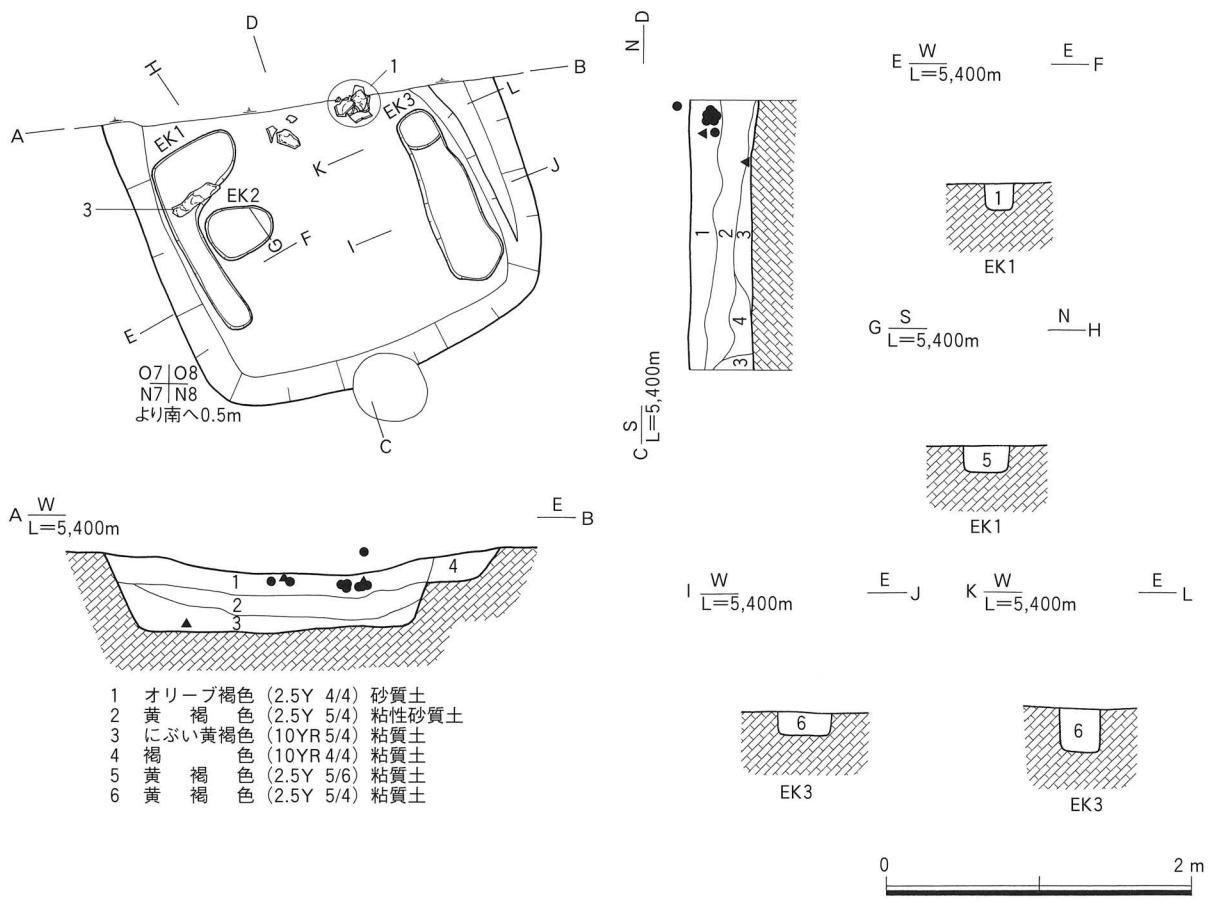
検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・γII E19・20・F19・20グリッド

形態・規模 長軸3.10m、短軸2.50m、深さ0.74mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は二段形である。

土層 6層に分層される。

遺物出土状況 南東部分の2層中を中心として検出されている。

出土遺物 1は土師器の高杯である。2は土師器の甕である。



第685図 SK3026 平断面図

時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

73号土坑 (SK3073) (第706・707図)

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・γII D19グリッド

形態・規模 長軸1.00m(残存値)、短軸1.06m、深さ0.83mを測る。東側はSK3072に切られている。

断面形状は二段形である。

土層 8層に分層される。

遺物出土状況 図化されたものはない。

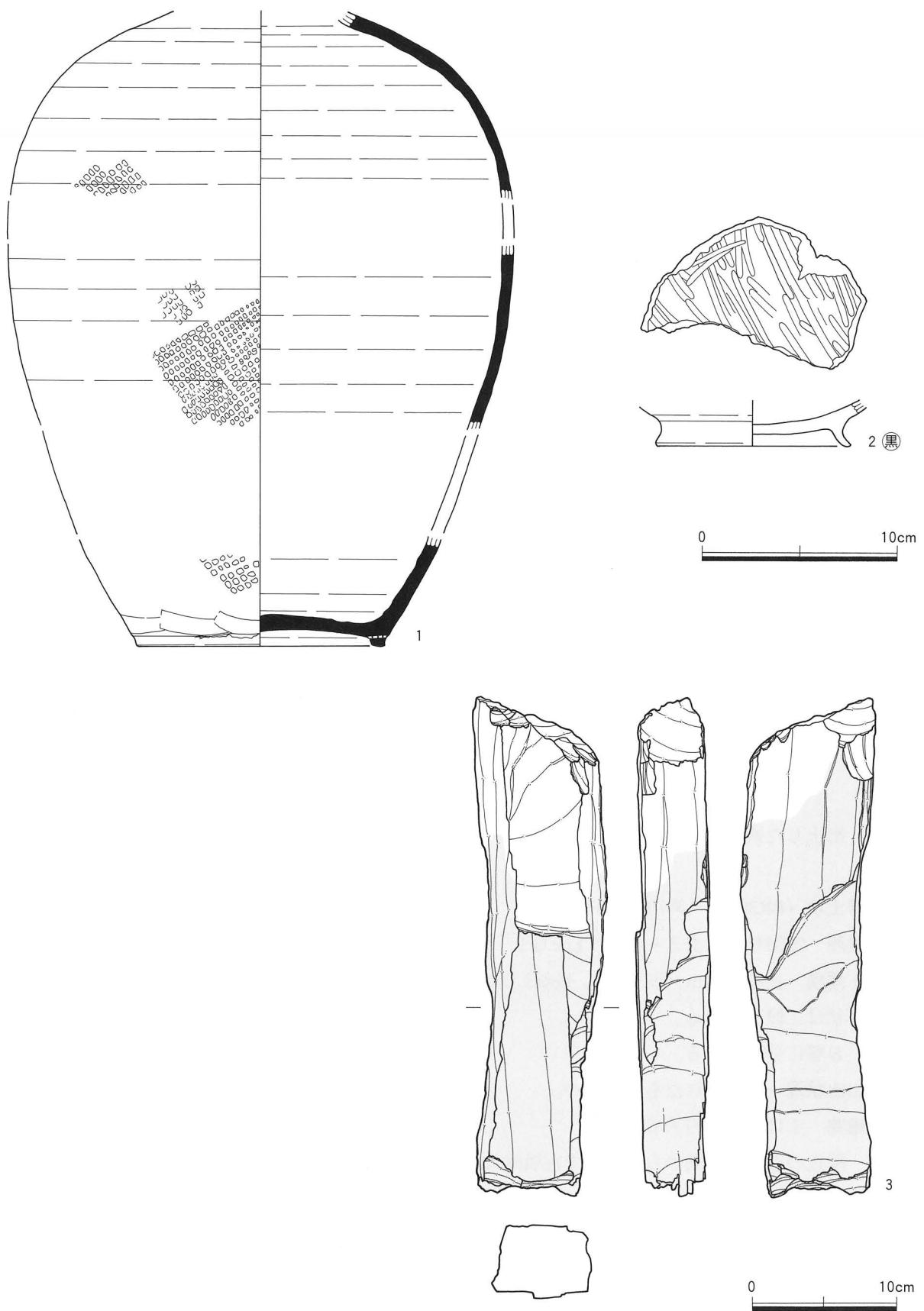
出土遺物 1は鉄製の刀子である。

時期 周辺の遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

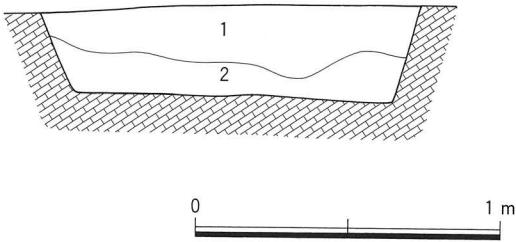
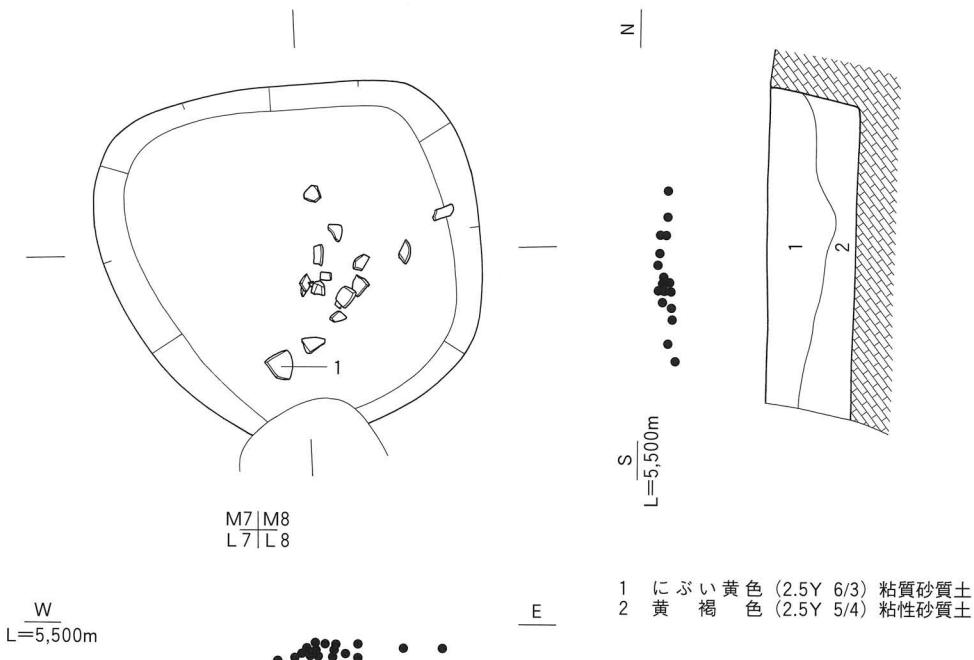
74号土坑 (SK3074) (第708・709図)

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・γII D18グリッド

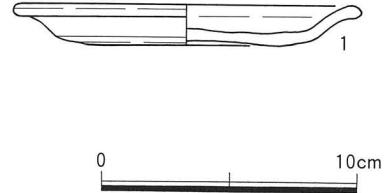
形態・規模 長軸1.24m、短軸0.91m、深さ0.12mを測り、平面形状は橢円形を呈する。断面形状は浅い二段形である。



第686図 SK3026 出土遺物



第687図 SK3027 平断面図



第688図 SK3027 出土遺物

土層 1層である。

遺物出土状況 遺構全体から散漫に検出された。

出土遺物 1は須恵器の杯身である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217並行期）と考えられる。

76号土坑（SK3076）（第710・711図）

検出場所 2003年度調査3-2区 Loc.G1・γII E18グリッド

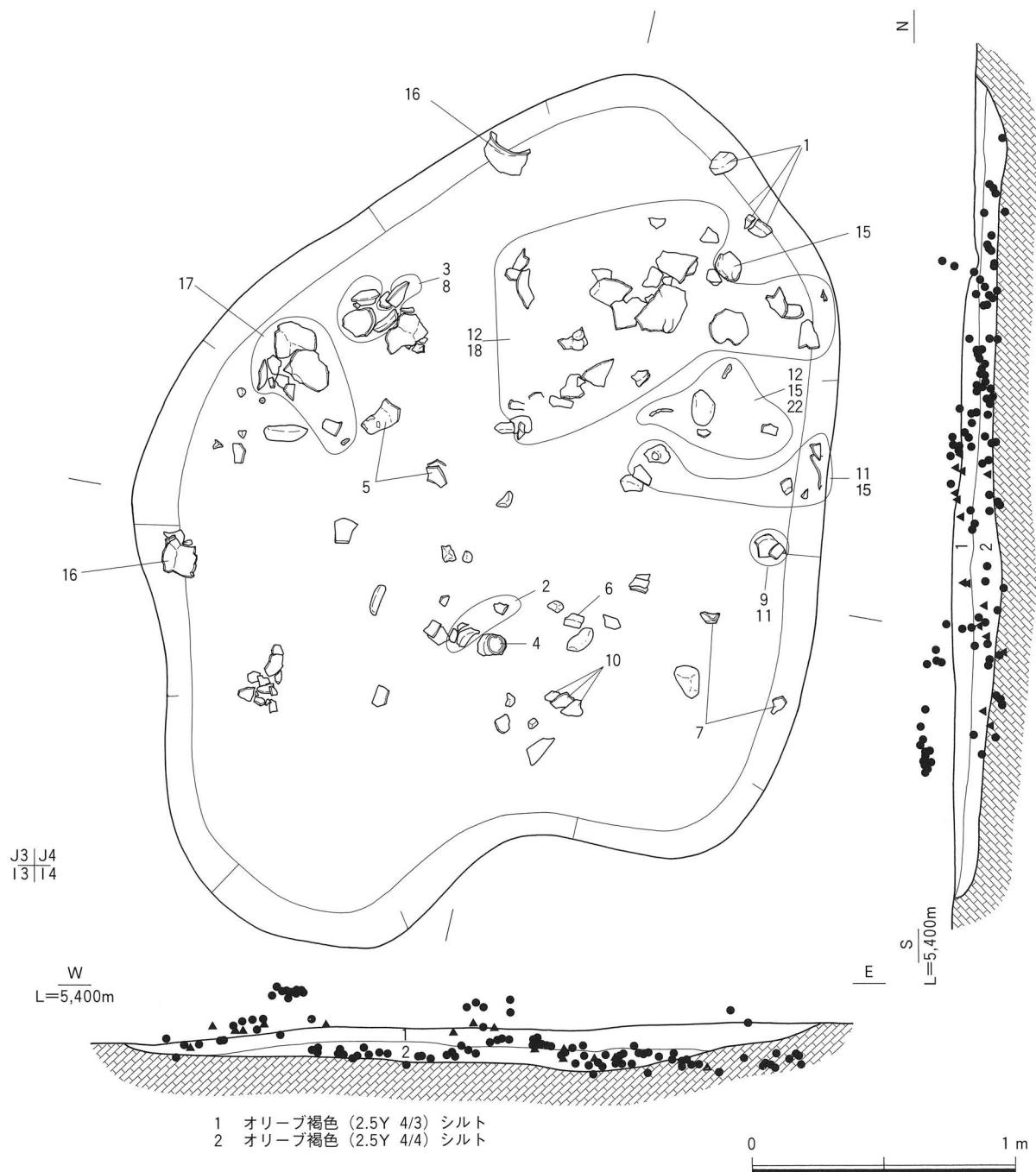
形態・規模 長軸1.40m、短軸0.80m、深さ0.12mを測り、平面形状は橢円形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 2層に分層される。

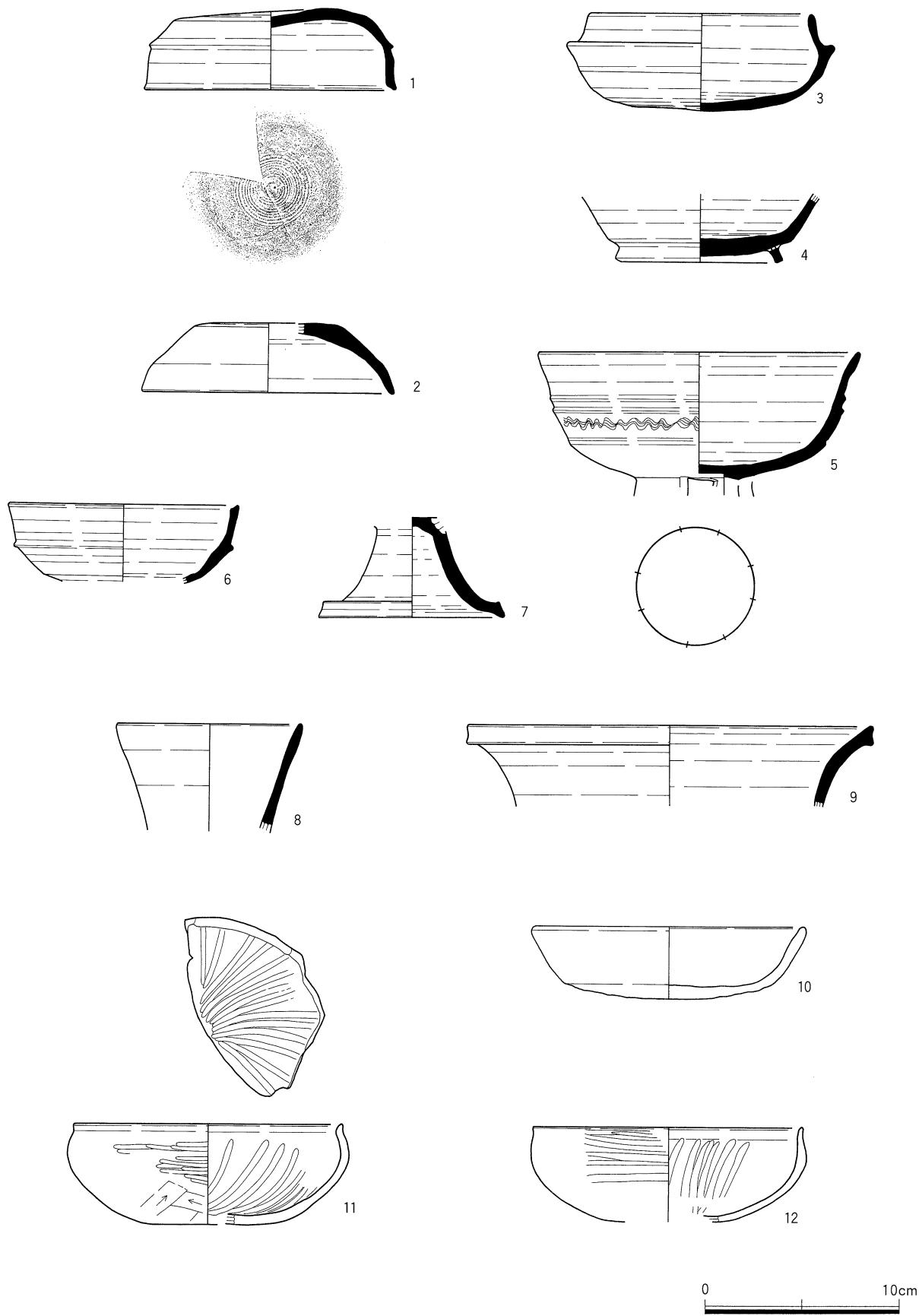
遺物出土状況 図化されたものはない。

出土遺物 1は鉄鎌である。

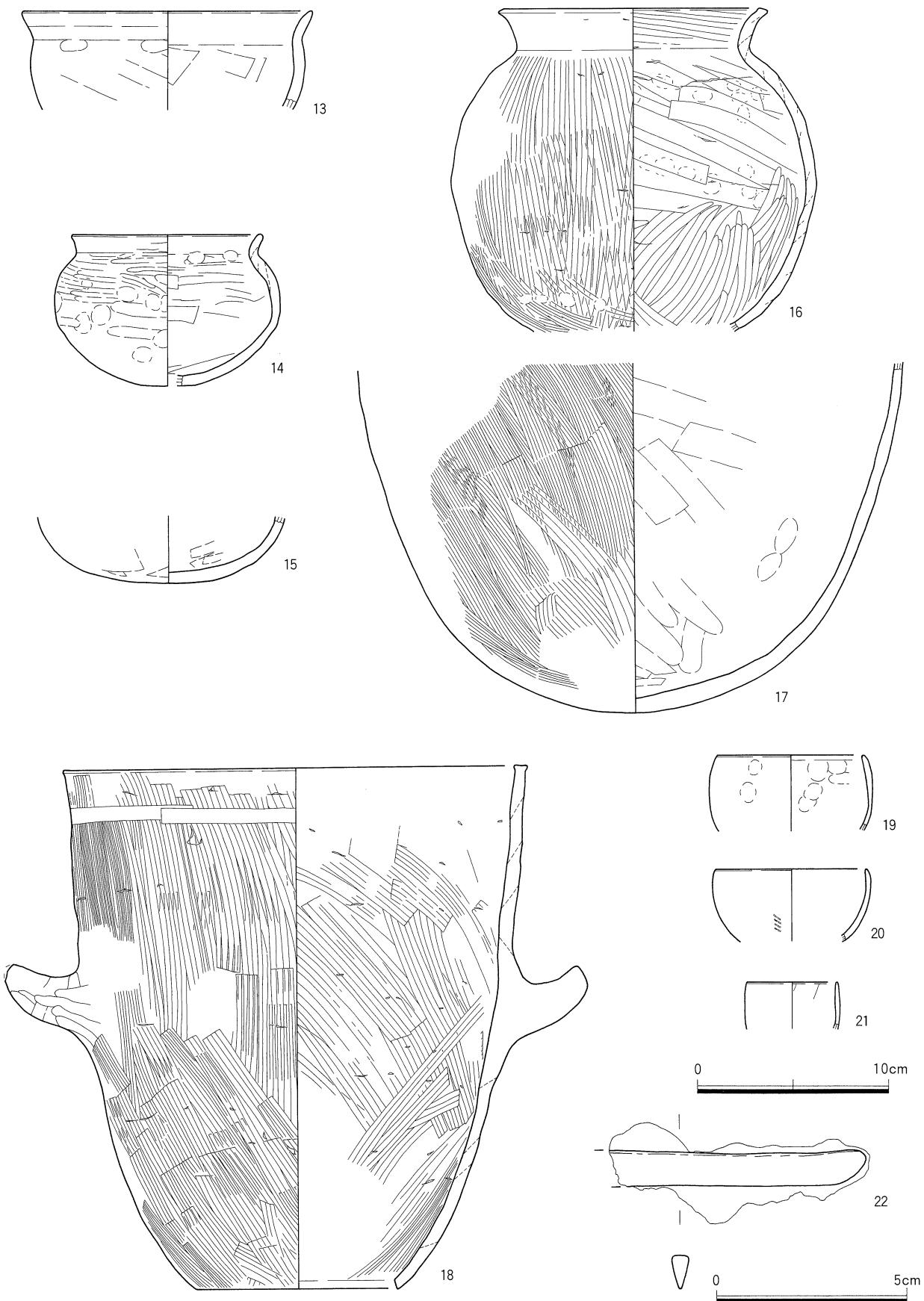
時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。



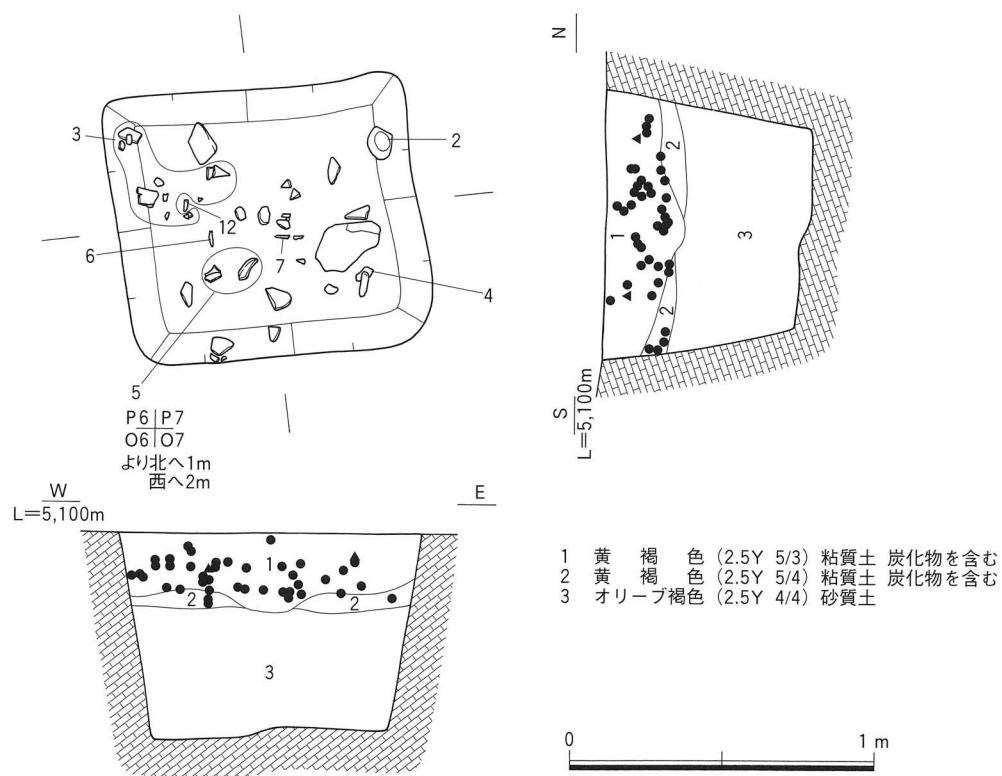
第689図 SK3028 平断面図



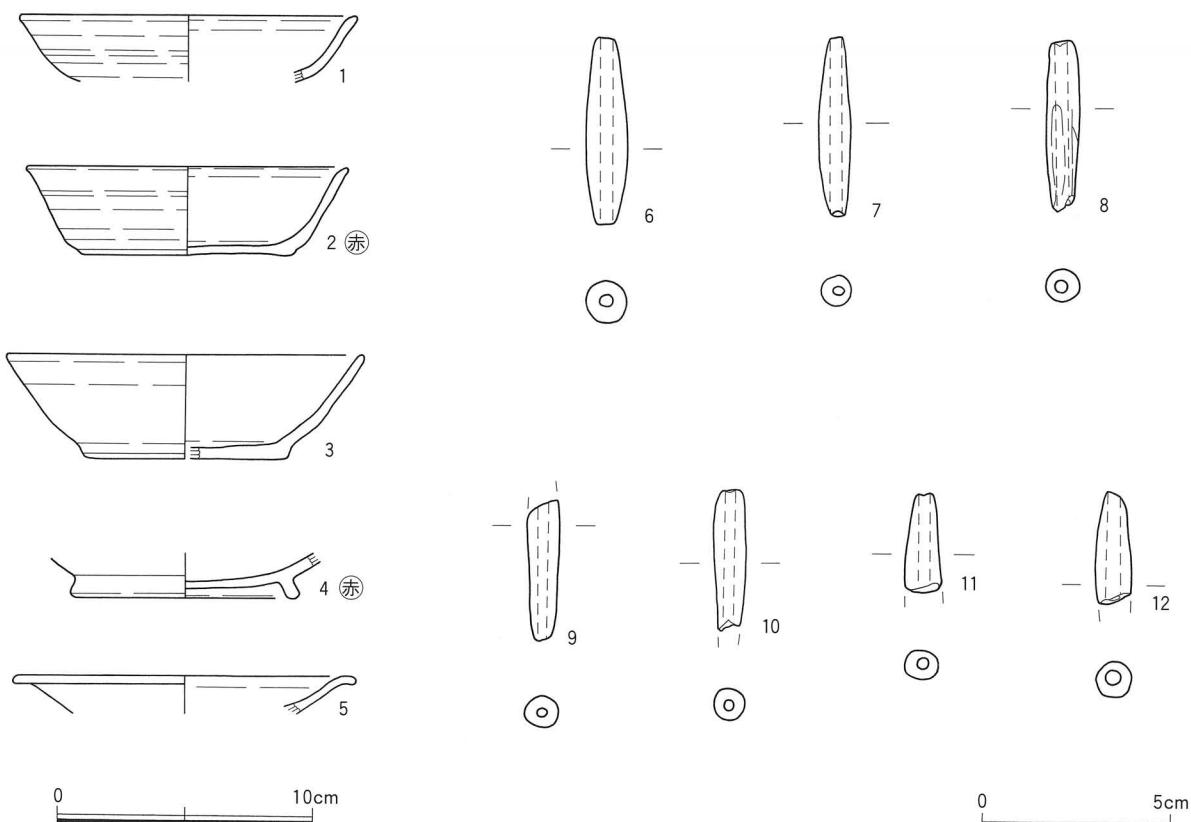
第690図 SK3028 出土遺物（1）



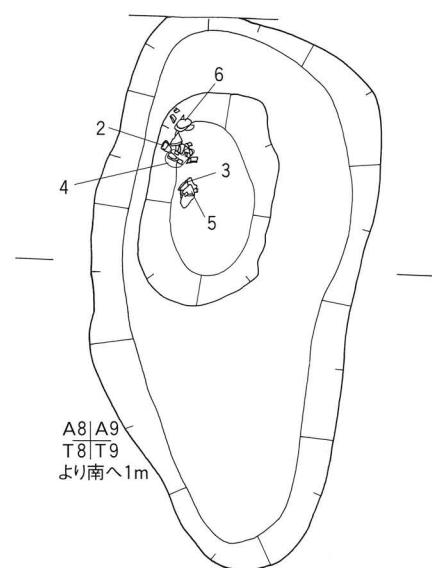
第691図 SK3028 出土遺物（2）



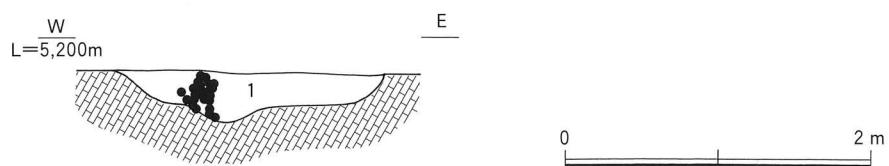
第692図 SK3032 平断面図



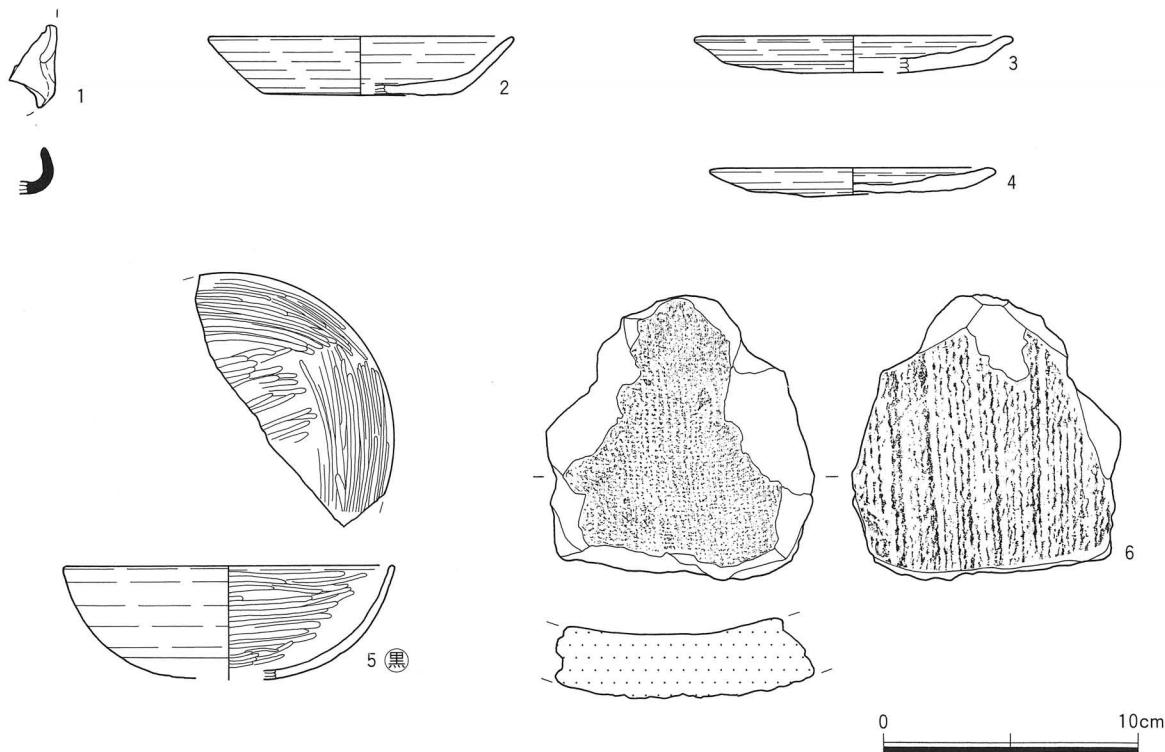
第693図 SK3032 出土遺物



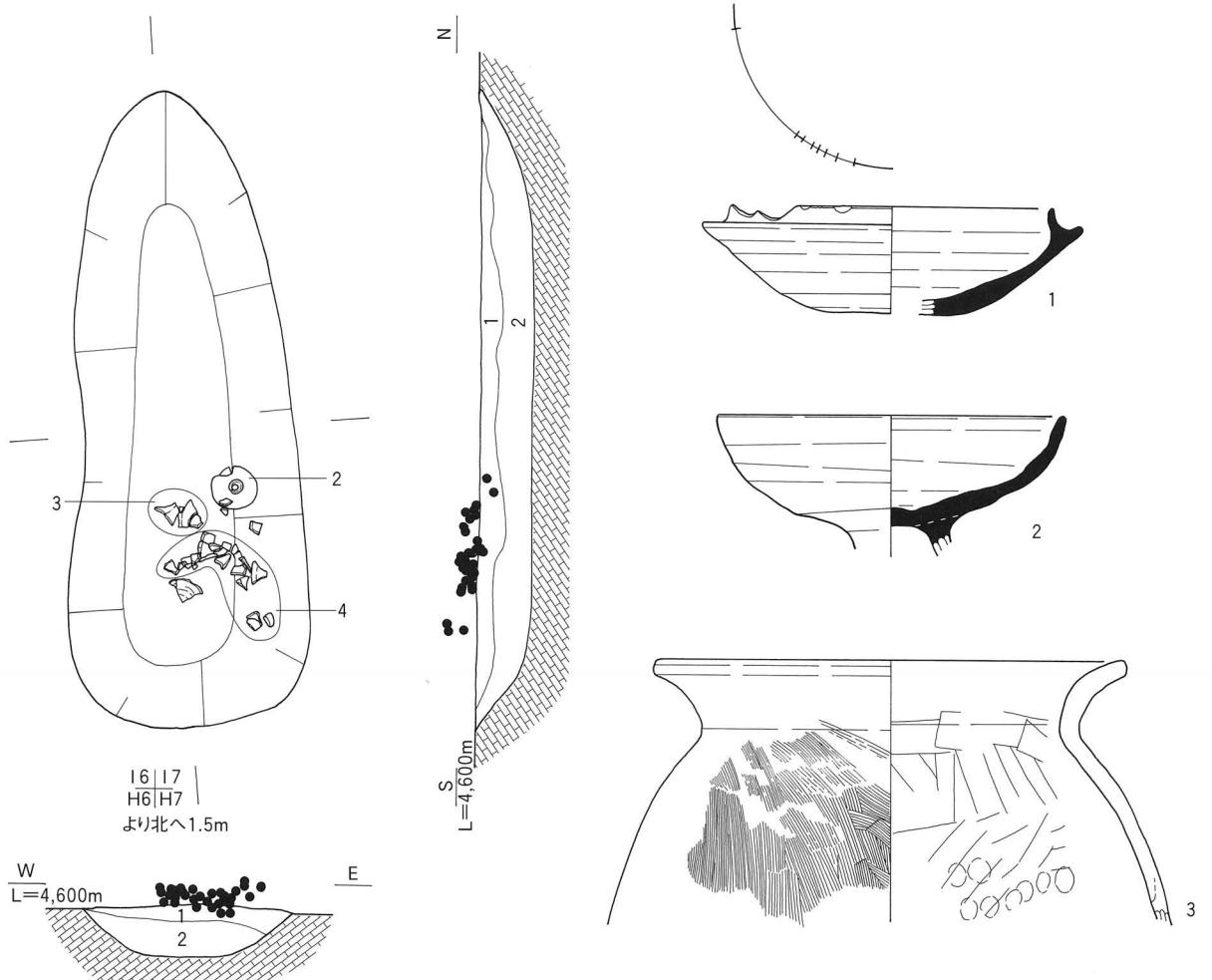
1 にぶい黄色 (2.5Y 6/4) 粘質土



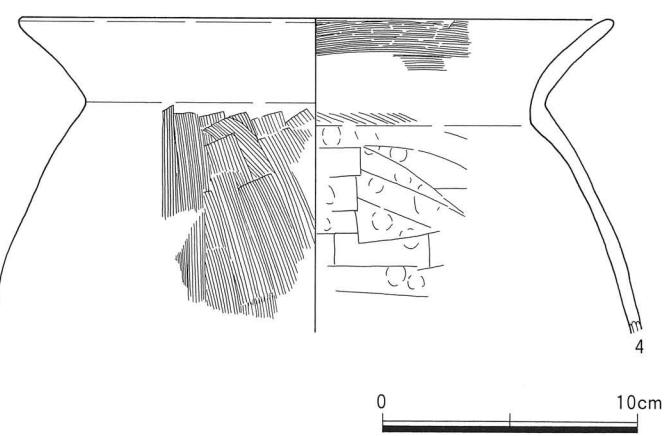
第694図 SK3042 平断面図



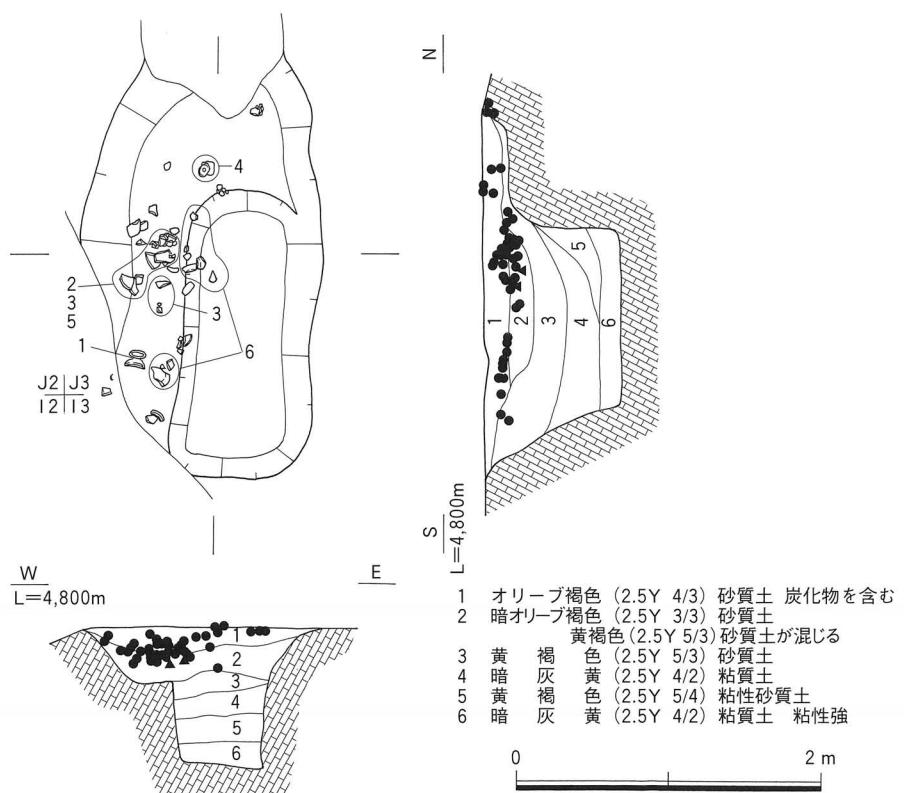
第695図 SK3042 出土遺物



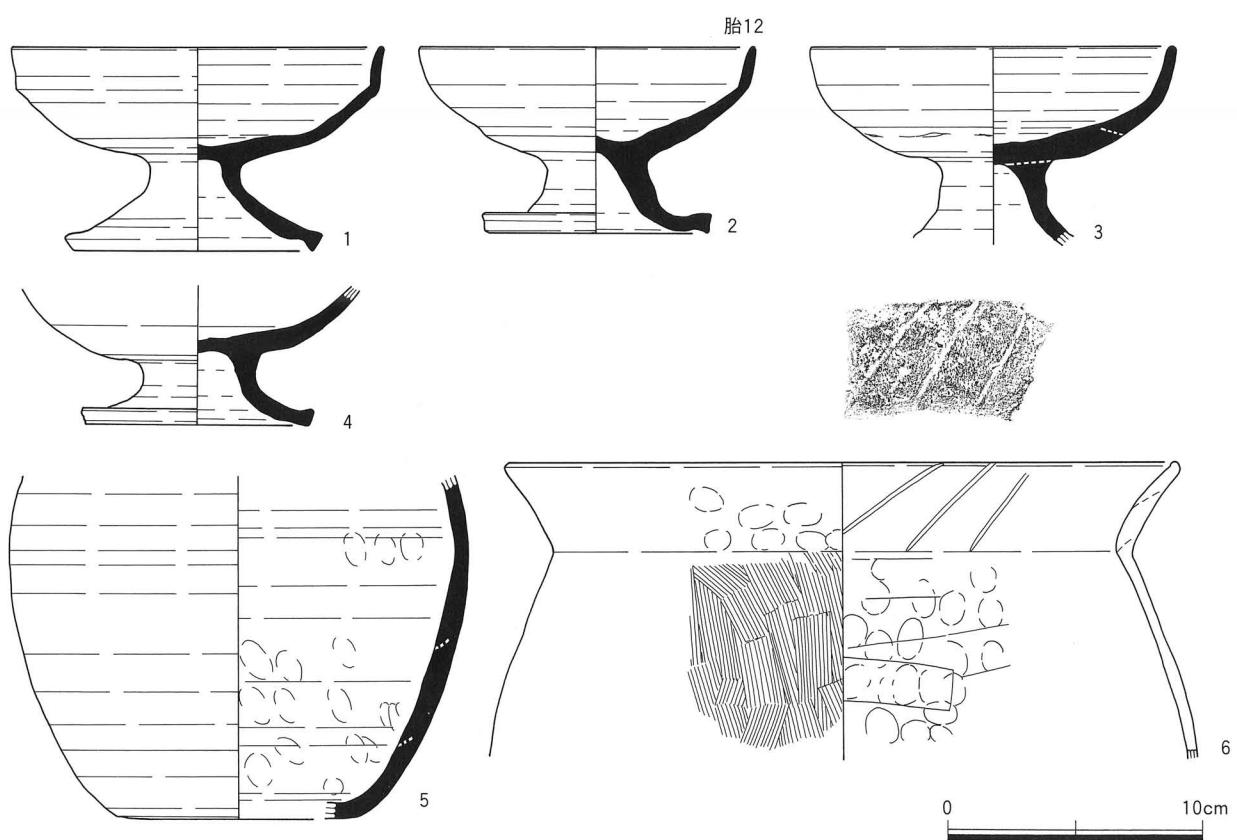
第696図 SK3058 平断面図



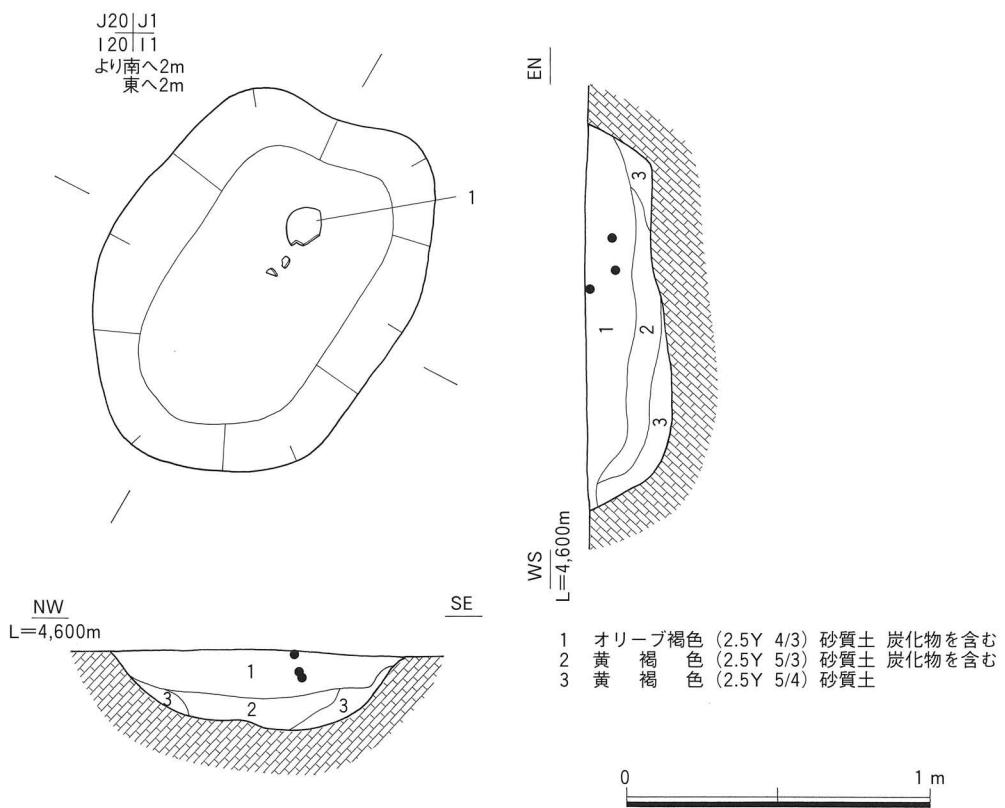
第697図 SK3058 出土遺物



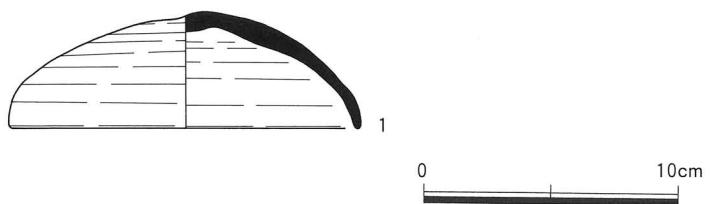
第698図 SK3063 平断面図



第699図 SK3063 出土遺物



第700図 SK3065 平断面図



第701図 SK3065 出土遺物

78号土坑 (SK3078) (第712・713図)

検出場所 2003年度調査3-2区 Loc.G1・γⅡ E16・F16グリッド

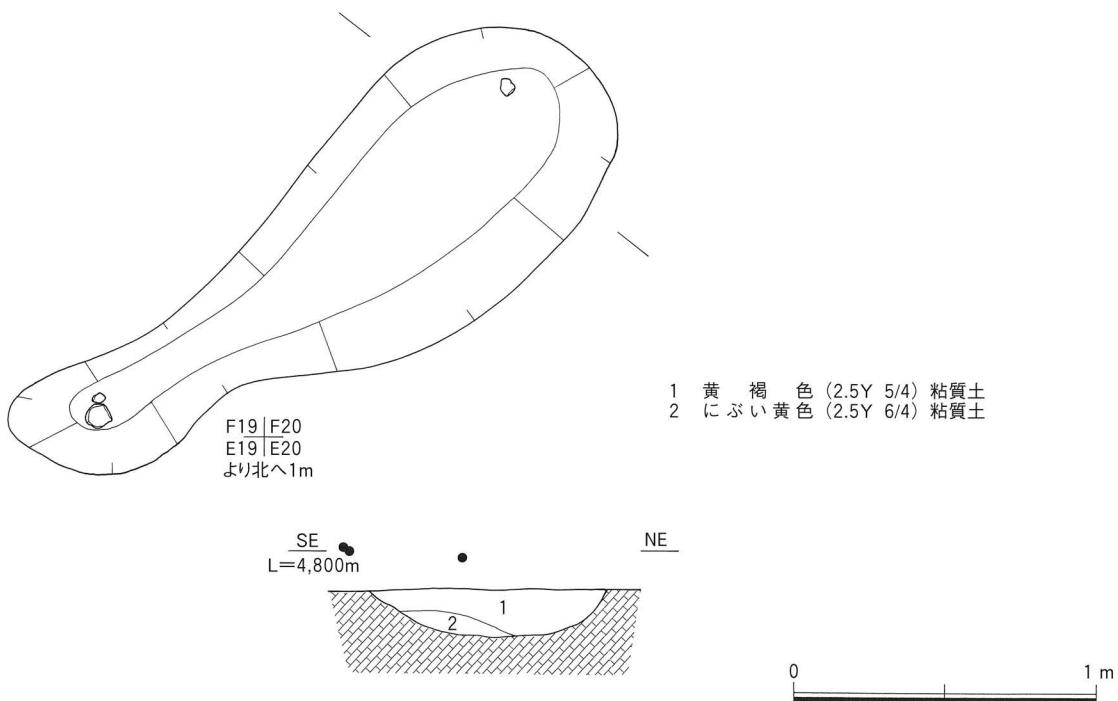
形態・規模 長軸0.92m、短軸0.86m、深さ0.16mを測り、平面形状は方形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 3層に分層される。

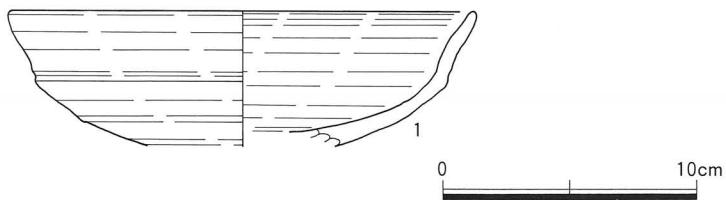
遺物出土状況 北端と南東隅に分かれて散漫に分布する。

出土遺物 1は須恵器の杯身である。2は須恵器の高杯である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。



第702図 SK3070 平断面図



第703図 SK3070 出土遺物

81号土坑 (SK3081) (第714・715図)

検出場所 2003年度調査3-2区 Loc.G1・γⅡ D14・15・E14・15グリッド

形態・規模 長軸2.42m、短軸1.09m、深さ0.16mを測り、平面形状はやや不整形な長楕円形を呈する。

断面形状は皿形である。

土層 2層に分層される。

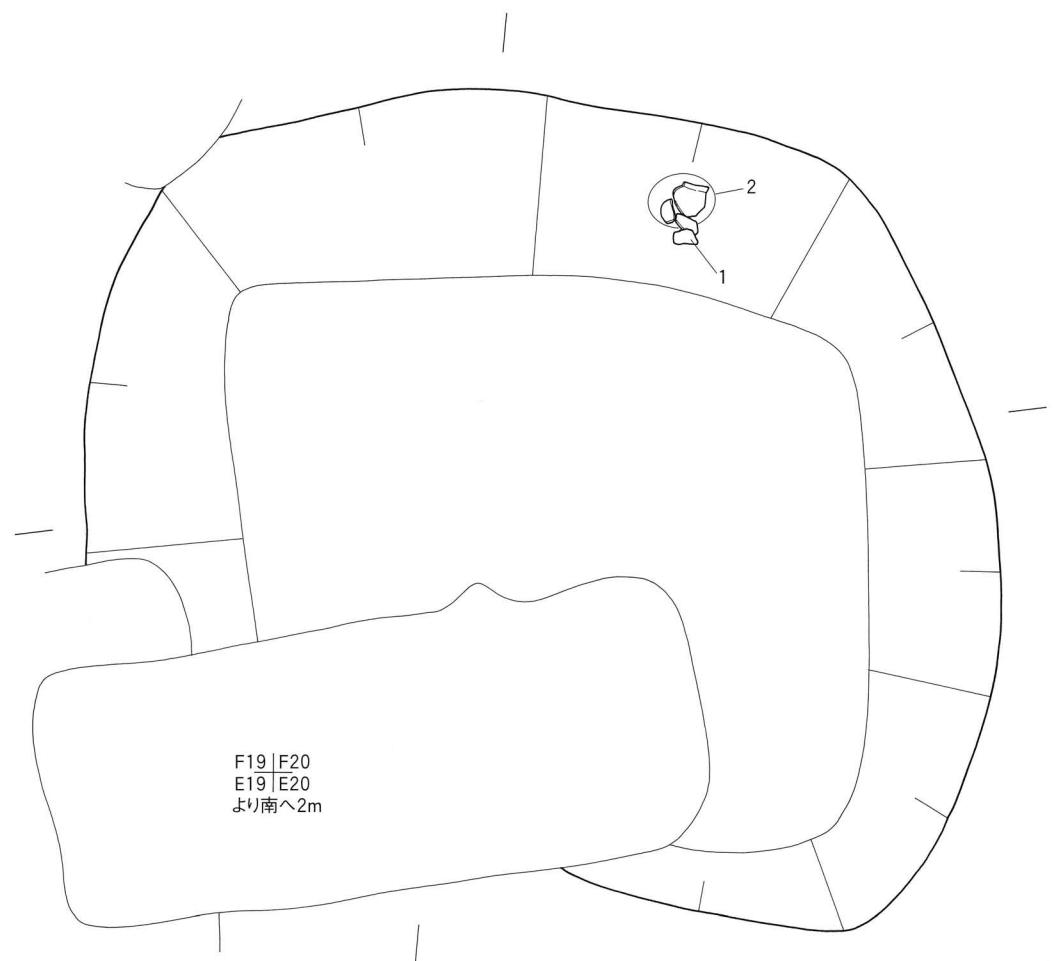
遺物出土状況 南側を中心に検出されている。

出土遺物 1は須恵器の杯蓋である。

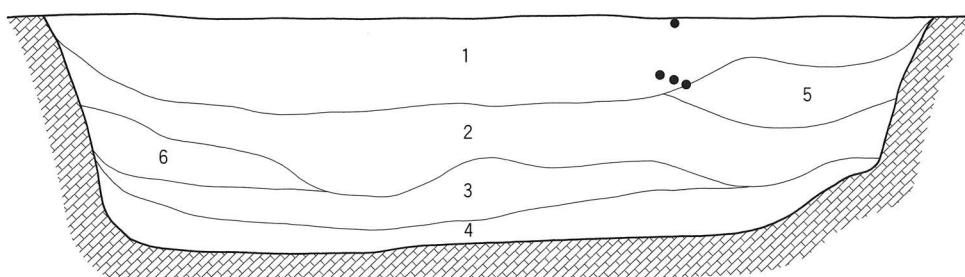
時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

82号土坑 (SK3082) (第716~721図)

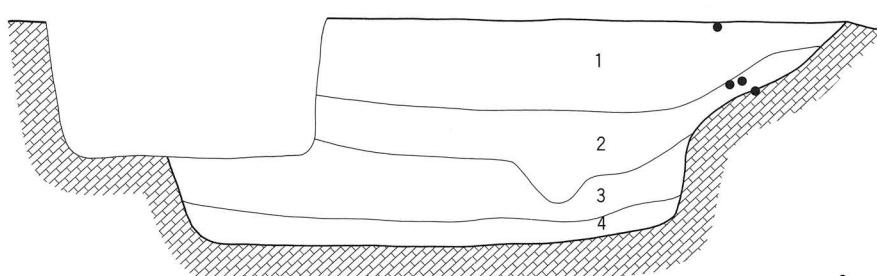
検出場所 2003年度調査3-2区 Loc.G1・γⅡ E14・F14グリッド



W
L=4,700m



S
L=4,700m

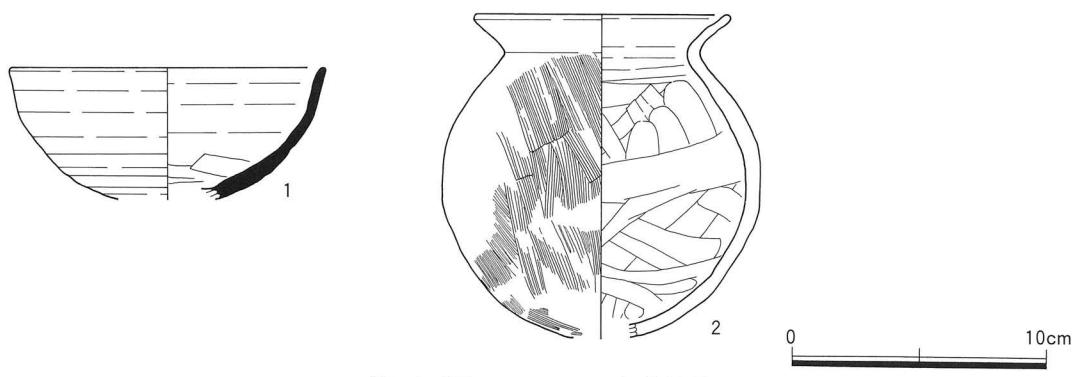


N

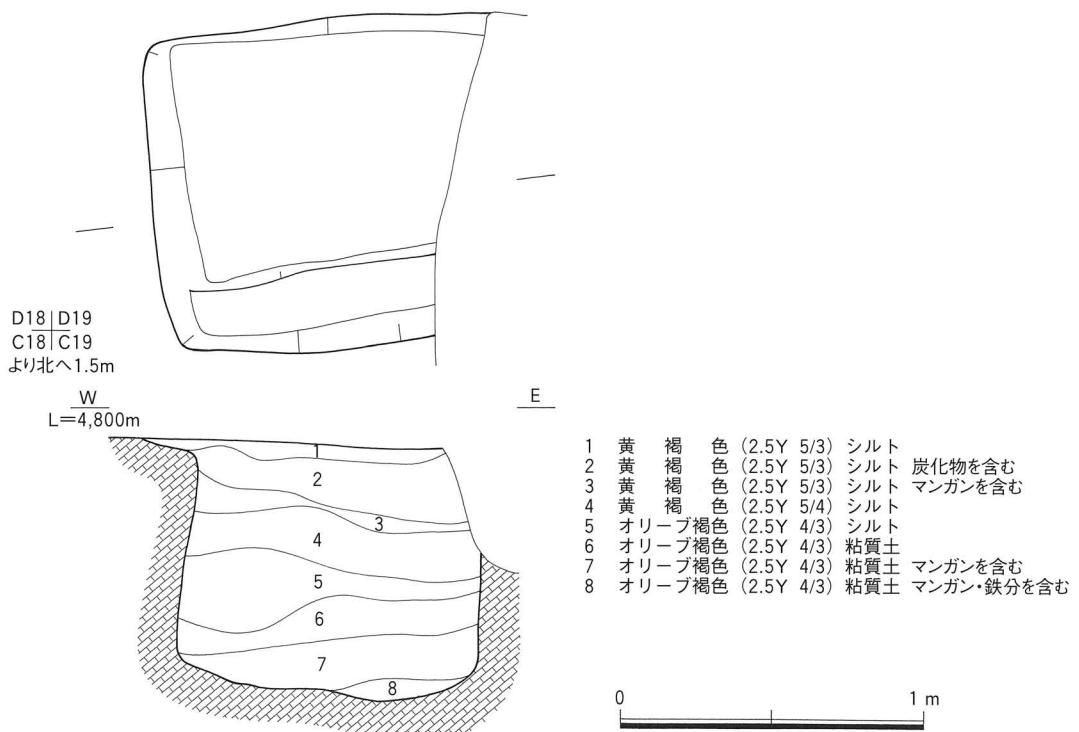
- 1 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3)
粘質土
- 2 暗オリーブ褐色 (2.5Y 3/3)
粘質土
- 3 黄褐色 (2.5Y 5/3)
粘質土
- 4 にい黄褐色 (2.5Y 6/4)
粘質土
- 5 暗灰黄色 (2.5Y 5/2)
粘質土
- 6 オリーブ褐色 (2.5Y 4/6)
粘質土

0 1 m

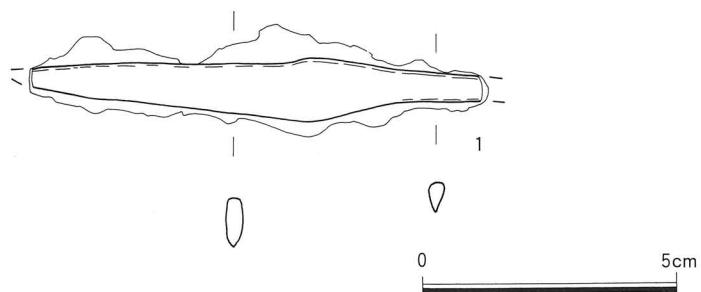
第704図 SK3071 平断面図



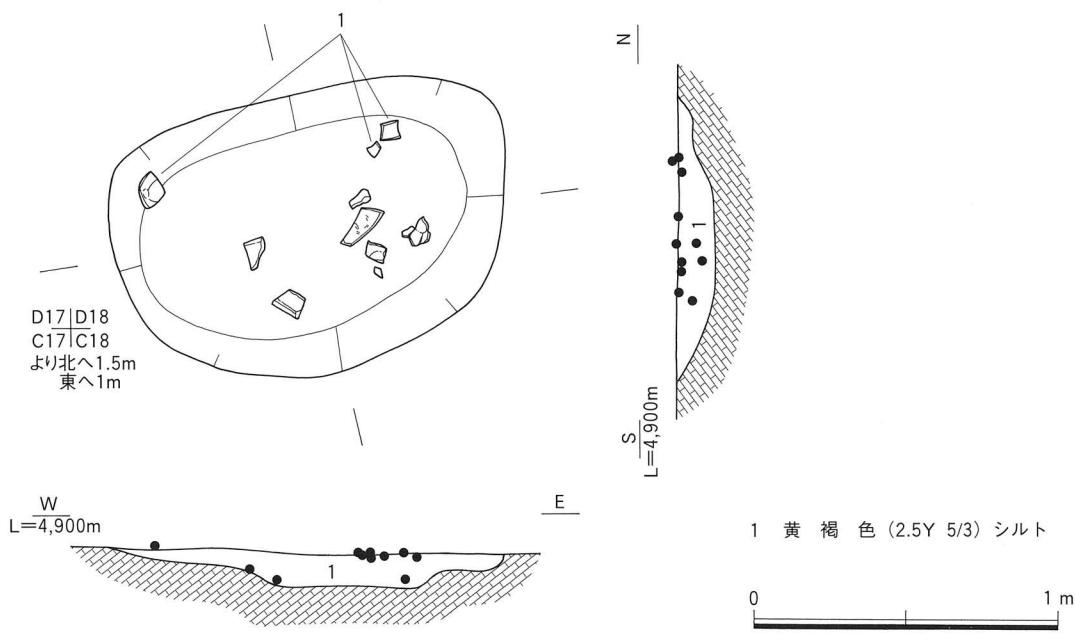
第705図 SK3071 出土遺物



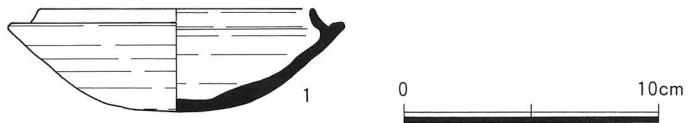
第706図 SK3073 平断面図



第707図 SK3073 出土遺物



第708図 SK3074 平断面図



第709図 SK3074 出土遺物

形態・規模 北側は調査区外に延びている。長軸3.65m（残存値）、短軸2.10m、深さ0.50mを測り、平面形状は長楕円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 7層に分層される。

遺物出土状況 検出面および1～4層を中心として検出されている。

出土遺物 1～11は須恵器の杯蓋である。12～25は須恵器の杯身である。26～28は須恵器の高杯である。29は須恵器の椀である。30、32は須恵器の壺である。31は須恵器の甕である。33～46は土師器の甕である。47は土師器の甕である。48は竈の可能性が考えられる。49・50は土錘である。51、52は棒状の鉄器である。53は鉄鏃の可能性が考えられる。

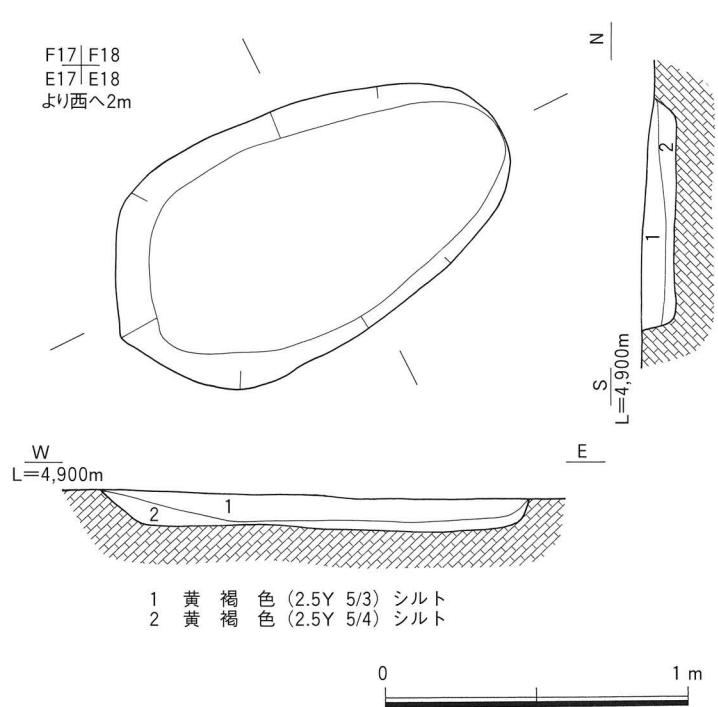
時期 出土した遺物から古墳時代後期（6世紀第4四半期・TK43並行期）と考えられる。

83号土坑（SK3083）（第722・723図）

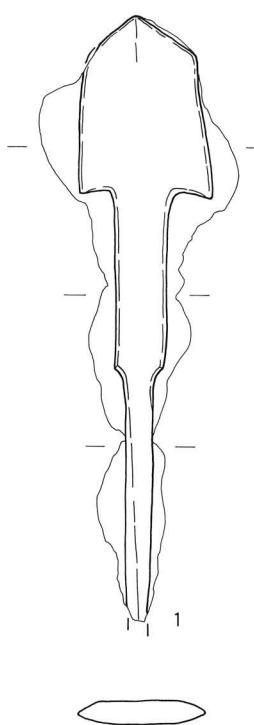
検出場所 1998年度調査8区 Loc.G 1・βⅢ S 4・5 グリッド

形態・規模 長軸1.05m、短軸0.32m（残存値）、深さ0.36mを測り、平面形状は長楕円形を呈すると考えられる。断面形状は逆台形である。

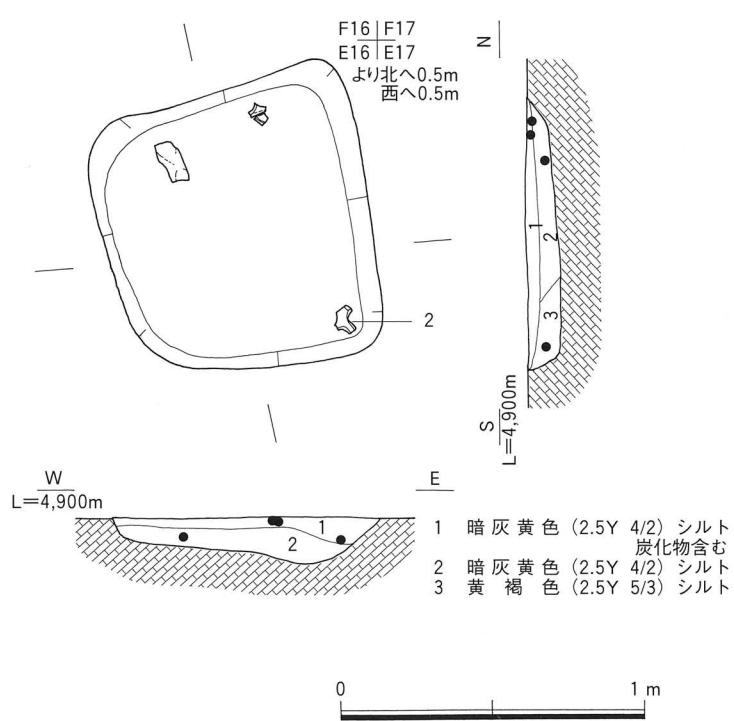
土層 2層に分層される。



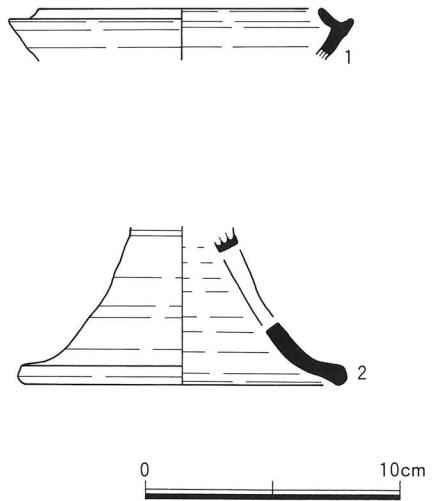
第710図 SK3076 平断面図



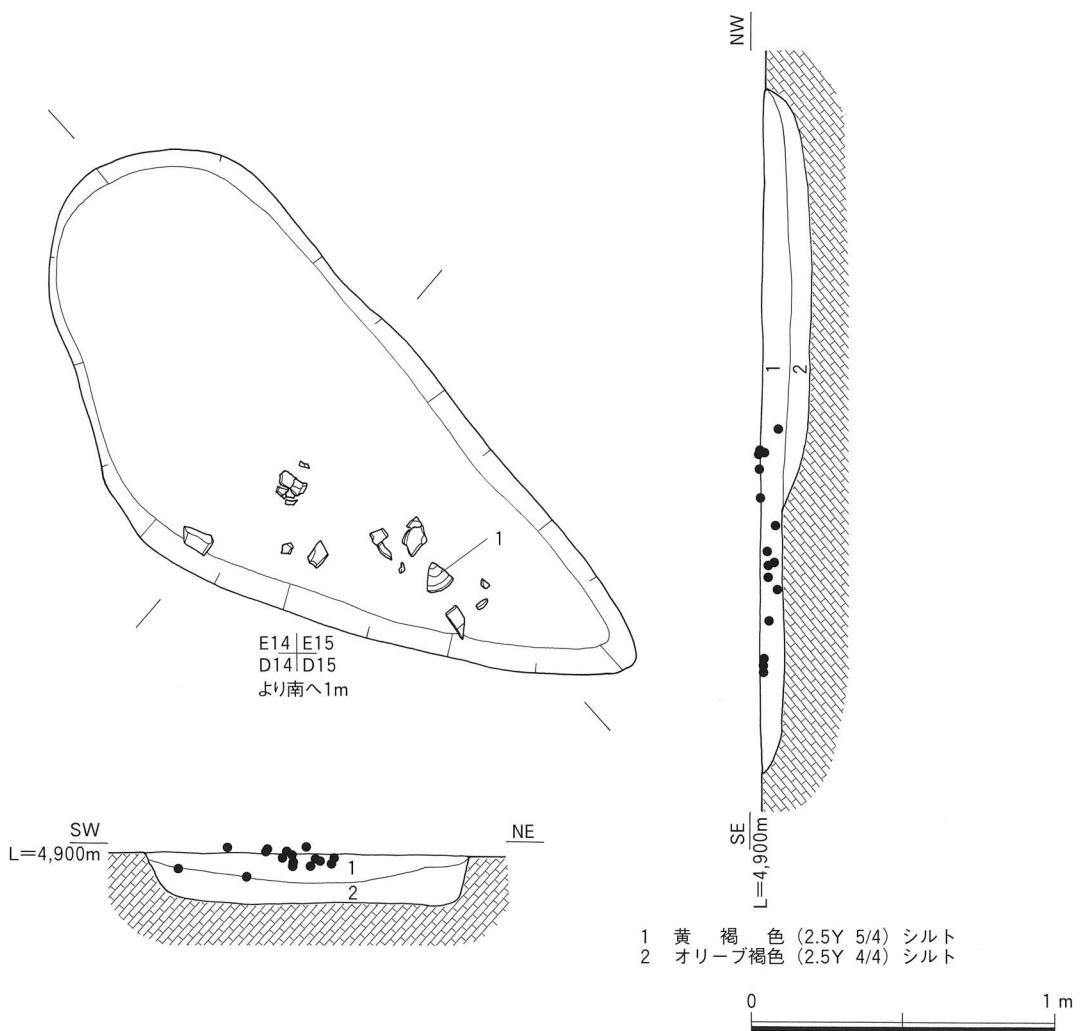
第711図 SK3076 出土遺物



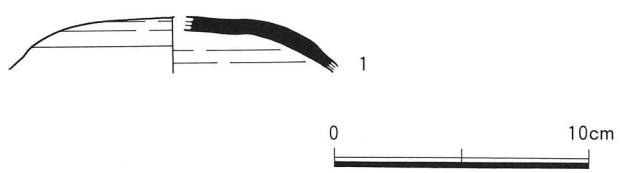
第712図 SK3078 平断面図



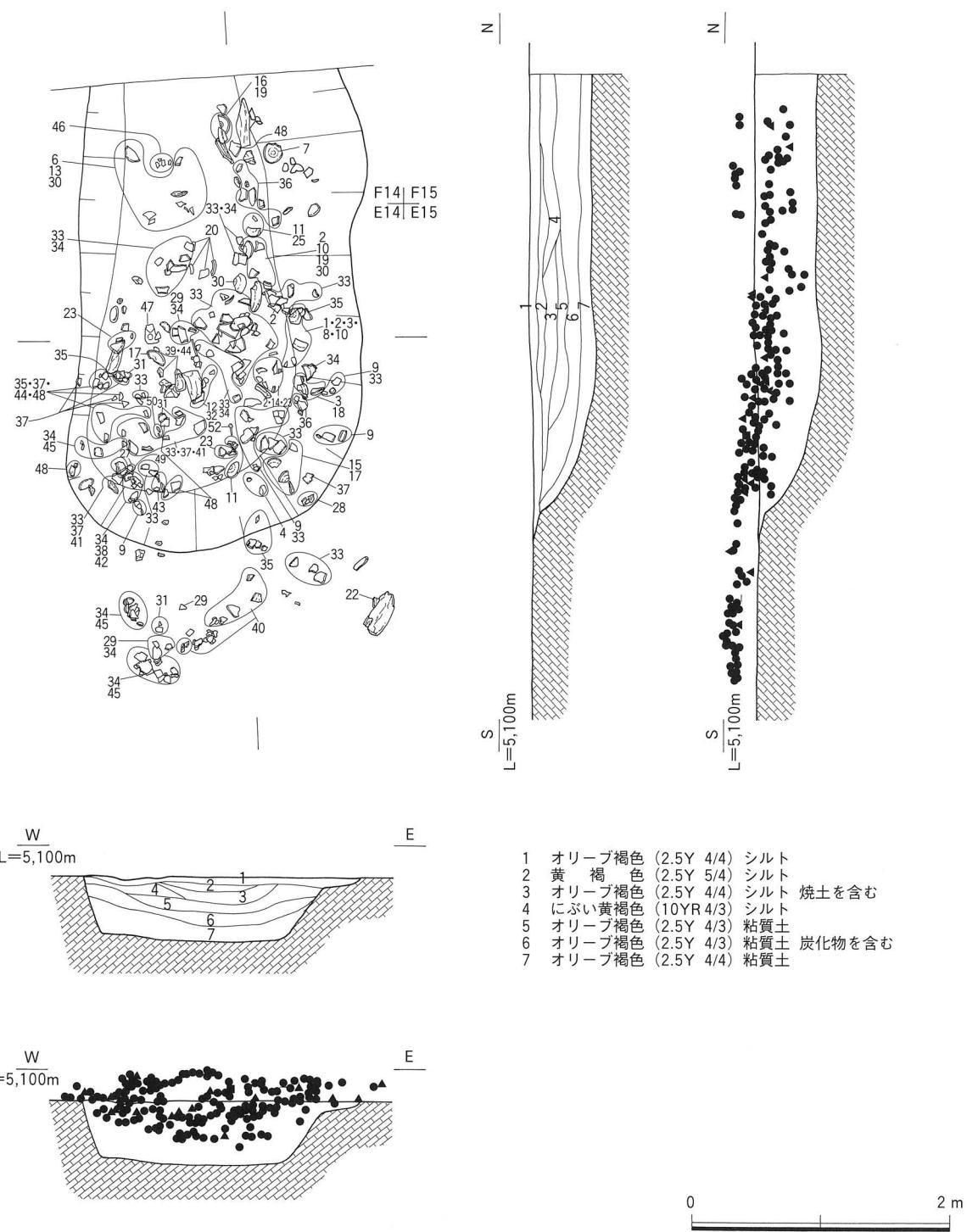
第713図 SK3078 出土遺物



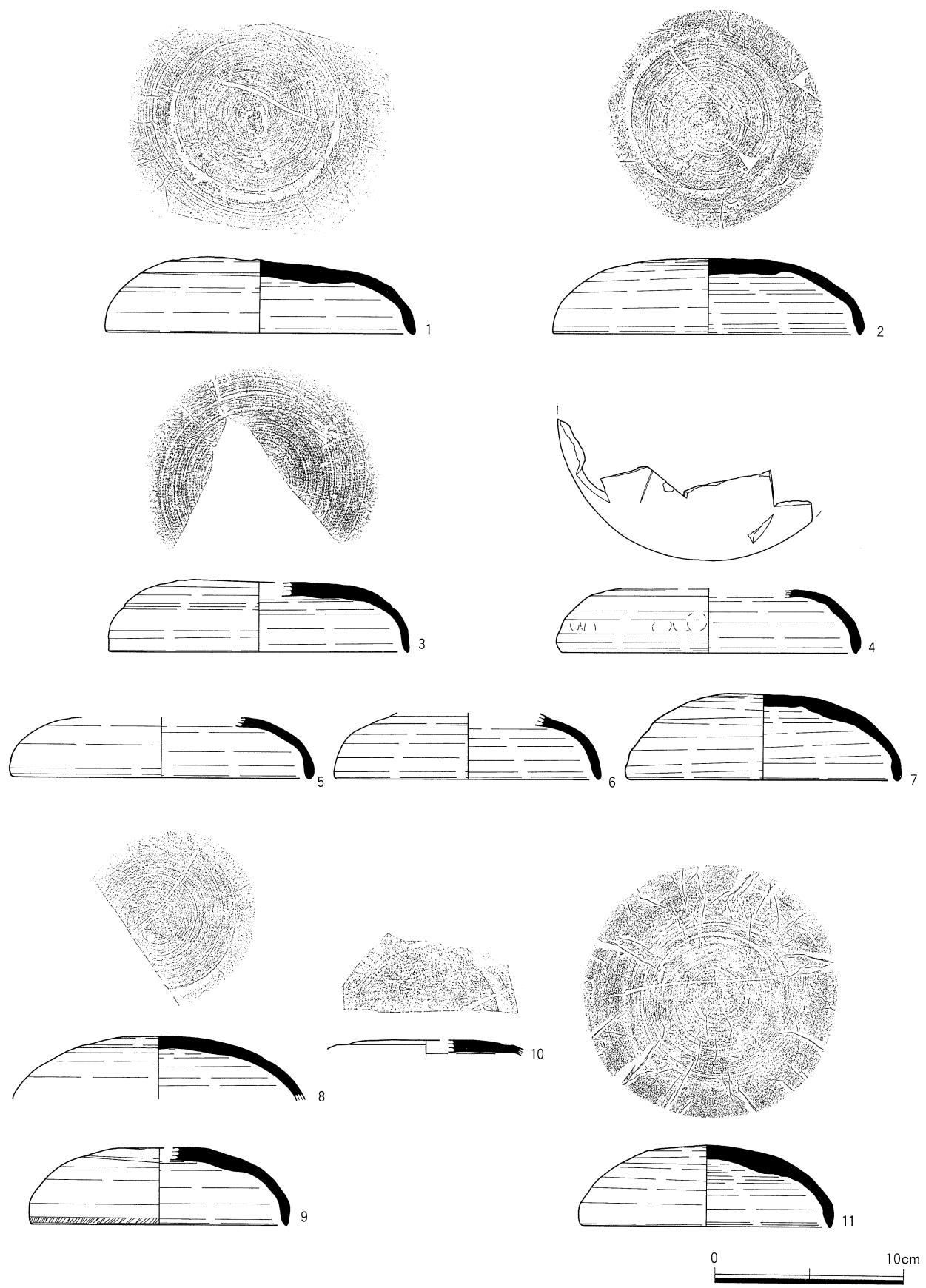
第714図 SK3081 平断面図



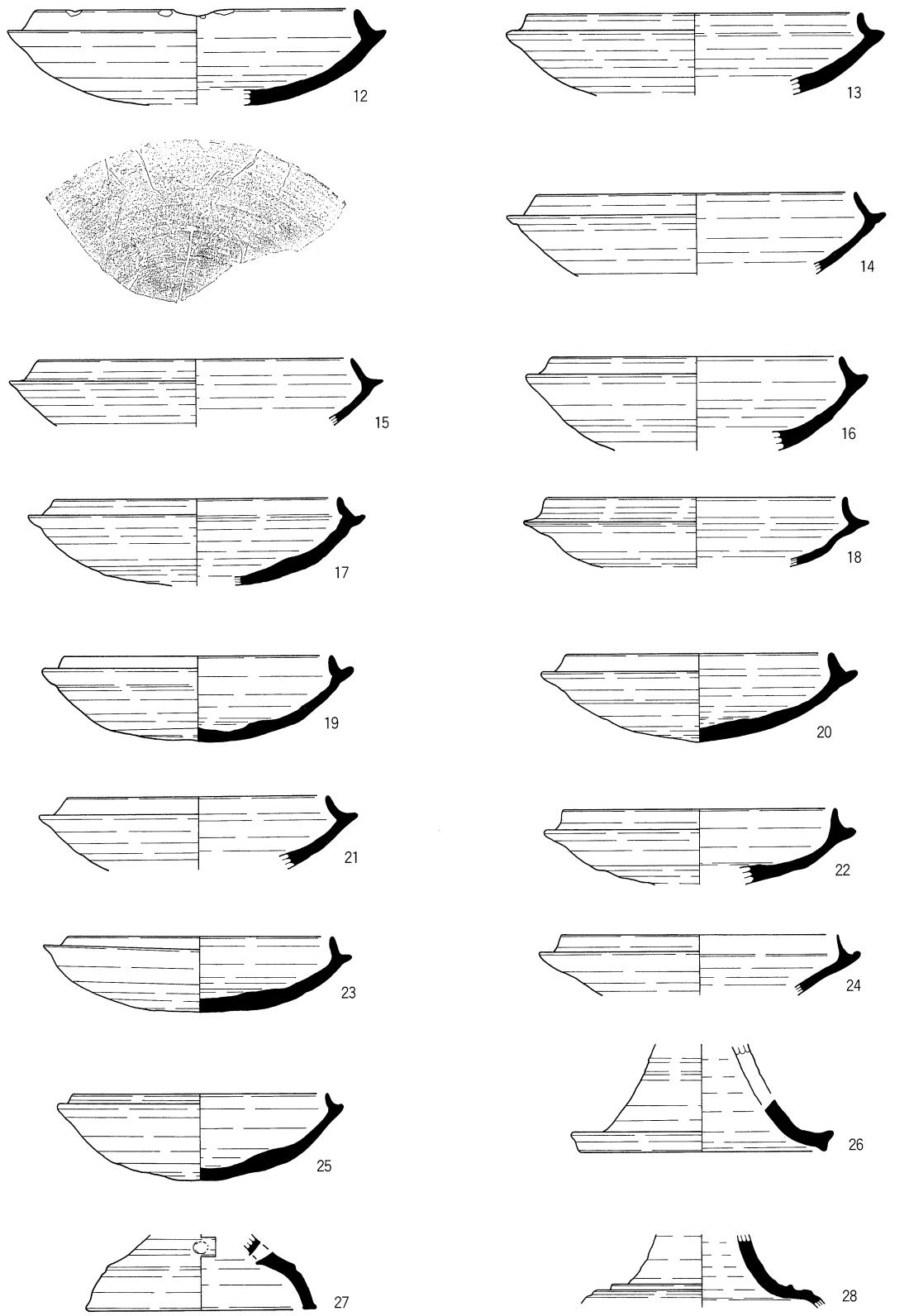
第715図 SK3081 出土遺物



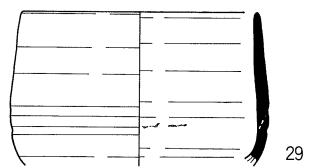
第716図 SK3082 平断面図



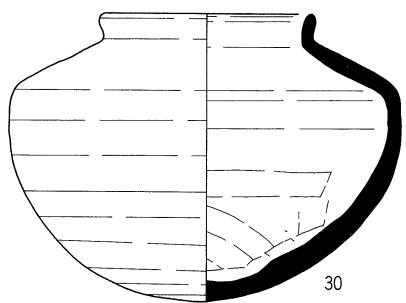
第717図 SK3082 出土遺物 (1)



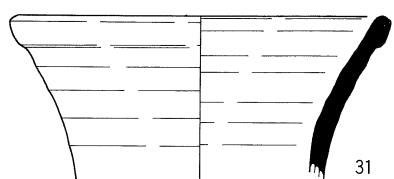
第718図 SK3082 出土遺物（2）



29



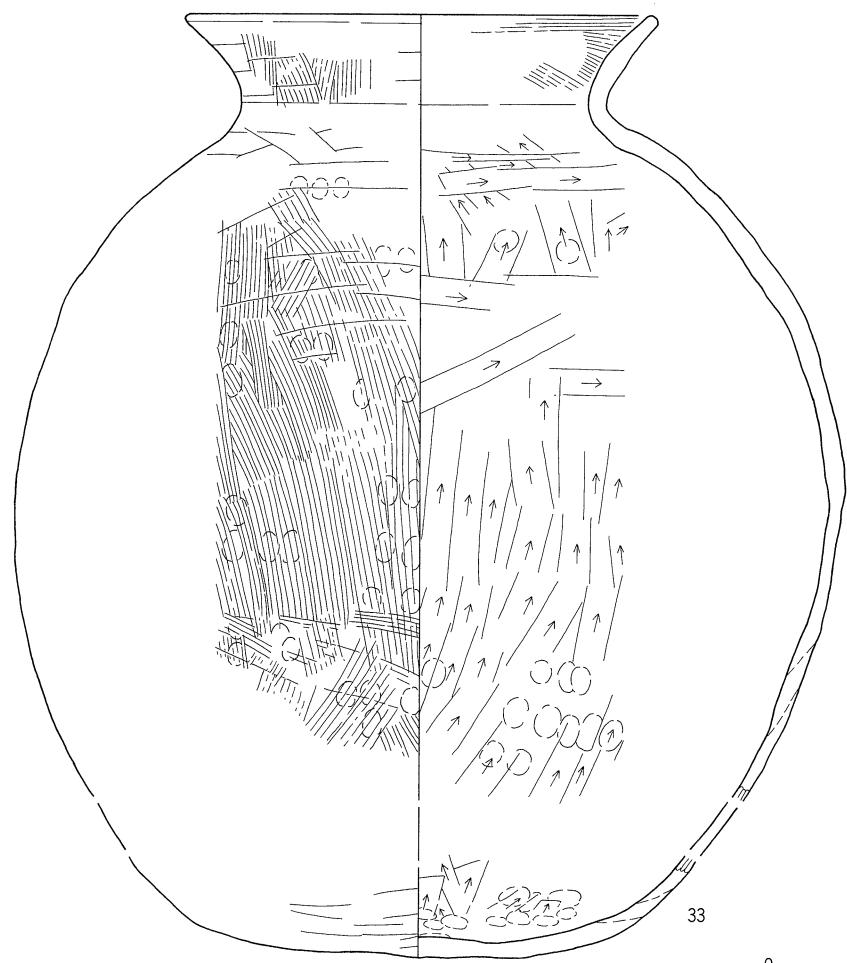
30



31



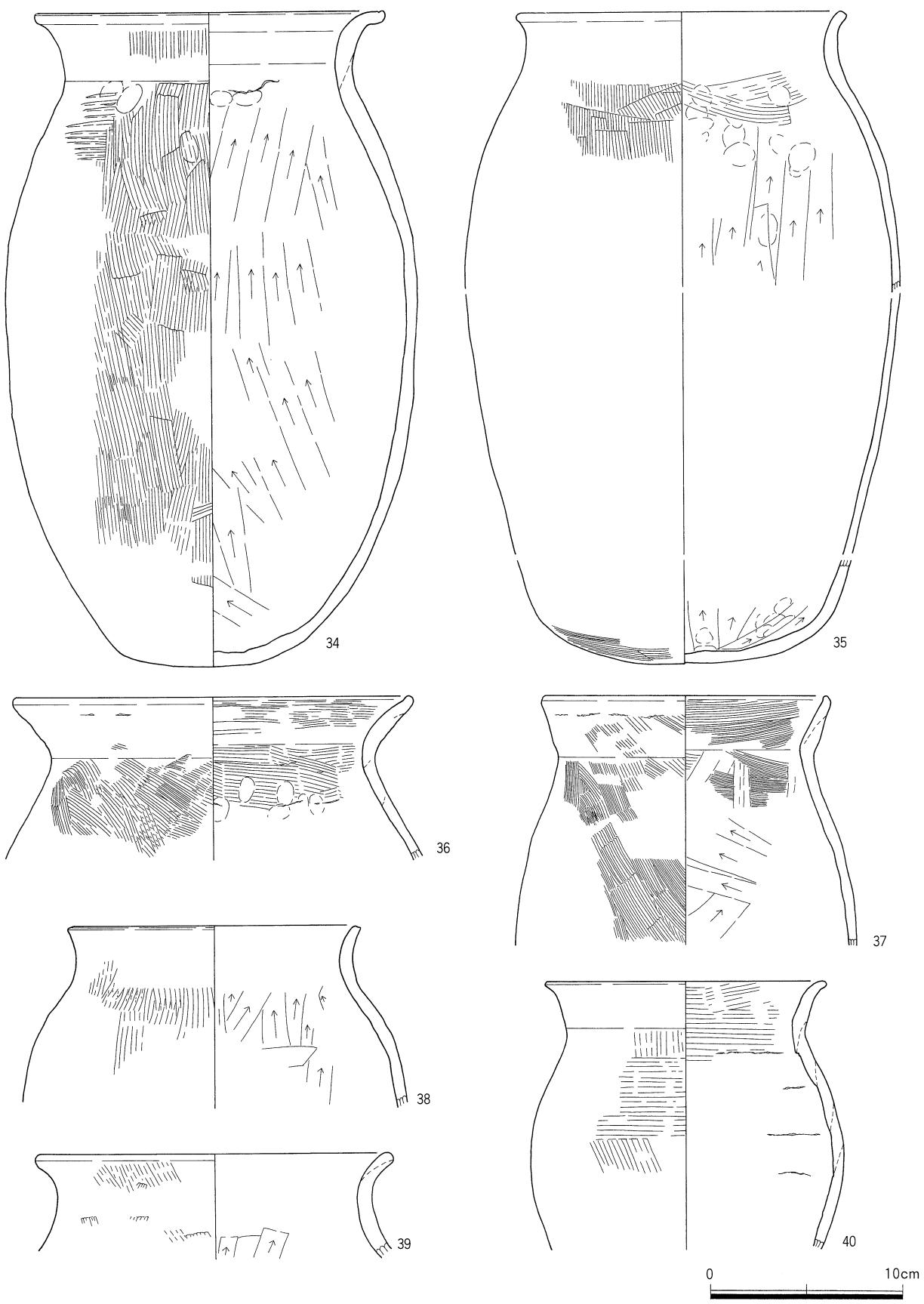
32



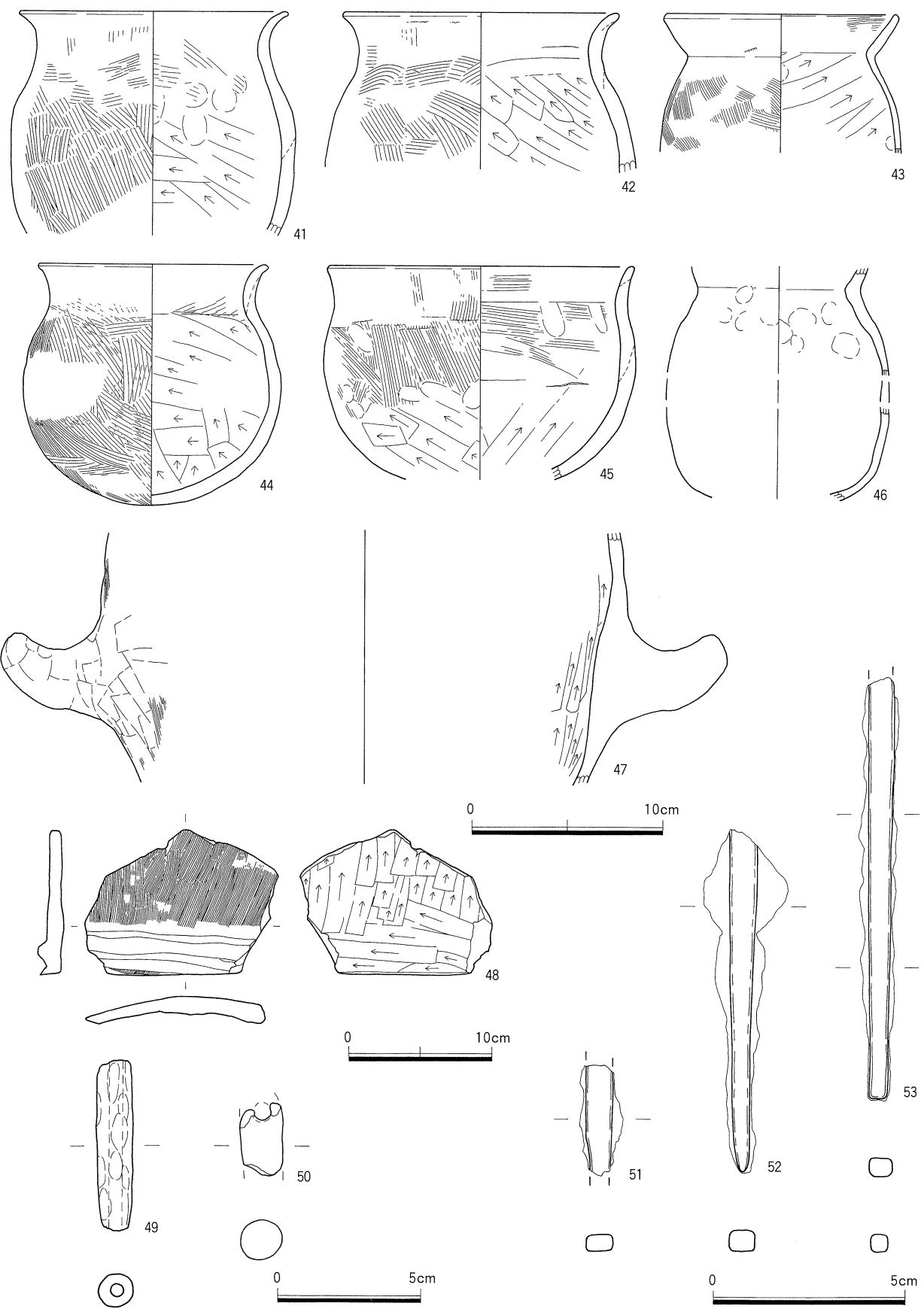
33

0 10cm

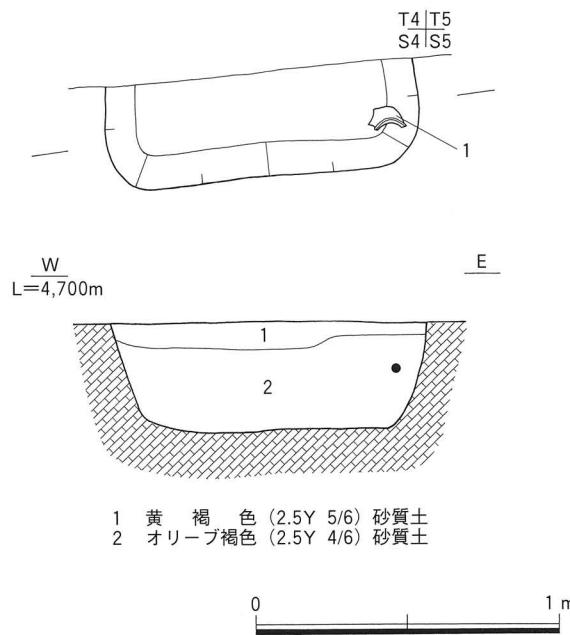
第719図 SK3082 出土遺物 (3)



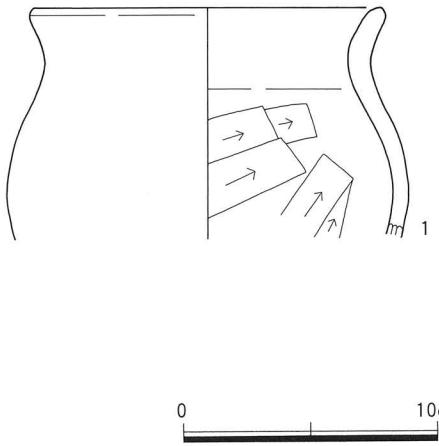
第720図 SK3082 出土遺物 (4)



第721図 SK3082 出土遺物 (5)



第722図 SK3083 平断面図



第723図 SK3083 出土遺物

遺物出土状況 南西隅より検出されている。

出土遺物 1は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

138号土坑 (SK3138) (第724・725図)

検出場所 2003年度調査4-4区 Loc.G1・εⅡB17・C17グリッド

形態・規模 長軸4.20m、短軸3.50m、深さ0.55mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈すると考えられる。断面形状はやや不整形な皿形である。

土層 19層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面より出土している。

出土遺物 1は須恵器の高杯である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

158号土坑 (SK3158) (第726・727図)

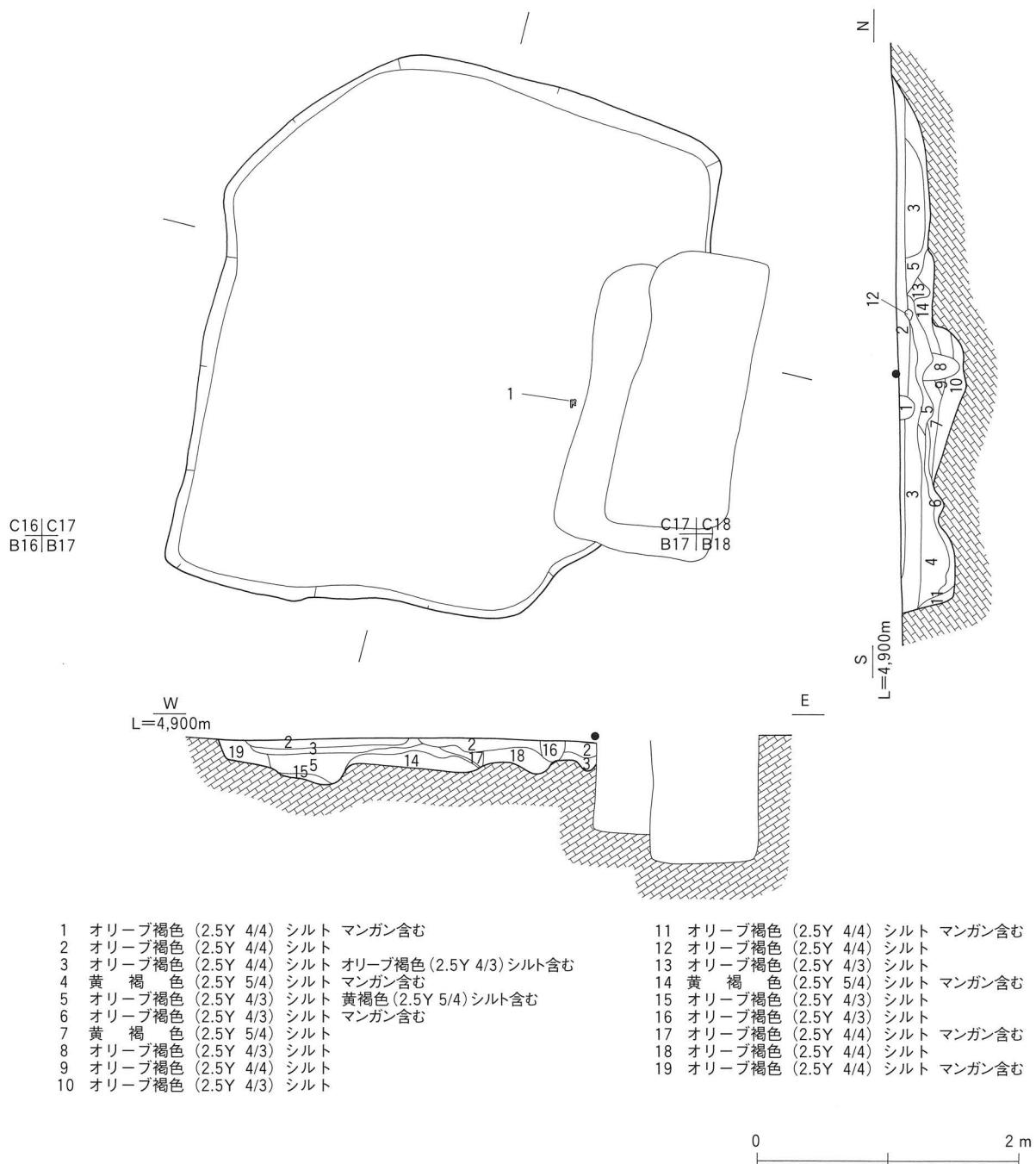
検出場所 1999年度調査4区 Loc.G1・βⅢE6・F6グリッド

形態・規模 長軸4.70m、短軸1.60m（残存値）、深さ0.20mを測り、平面形状は長楕円形を呈すると考えられる。断面形状は皿形である。中央部に焼土を含む層が拡がっている。

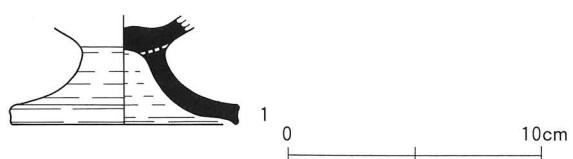
土層 2層に分層される。

遺物出土状況 北半部を中心に検出されている。

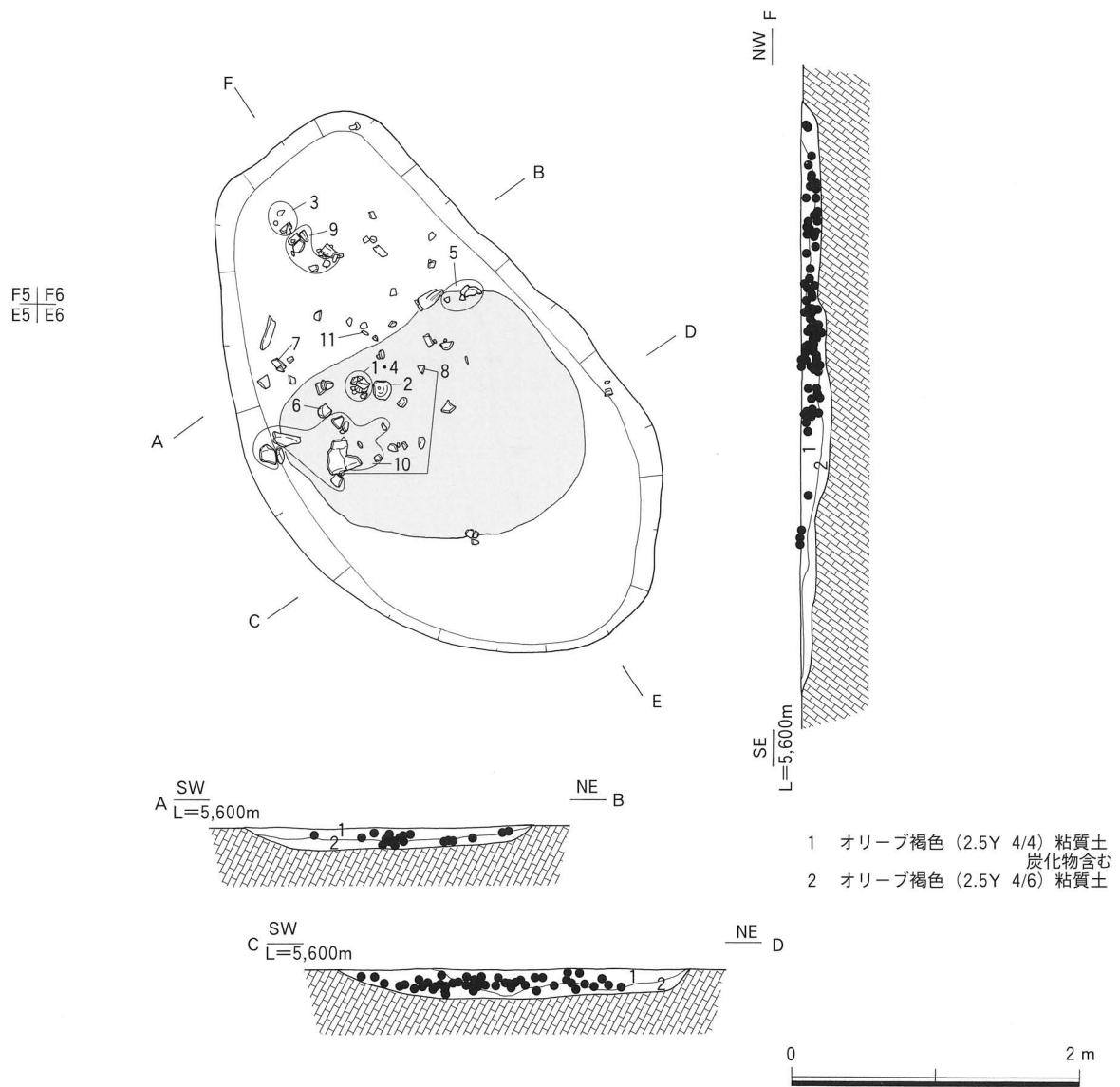
出土遺物 1、2は須恵器の杯である。3～8は土師器の杯である。9、10は土師器の甕である。11は土錘である。



第724図 SK3138 平断面図



第725図 SK3138 出土遺物



第726図 SK3158 平断面図

時期 出土した遺物から奈良時代と考えられる。

⑥ 土壙墓

6号土壙墓 (ST3006) (第728・729図)

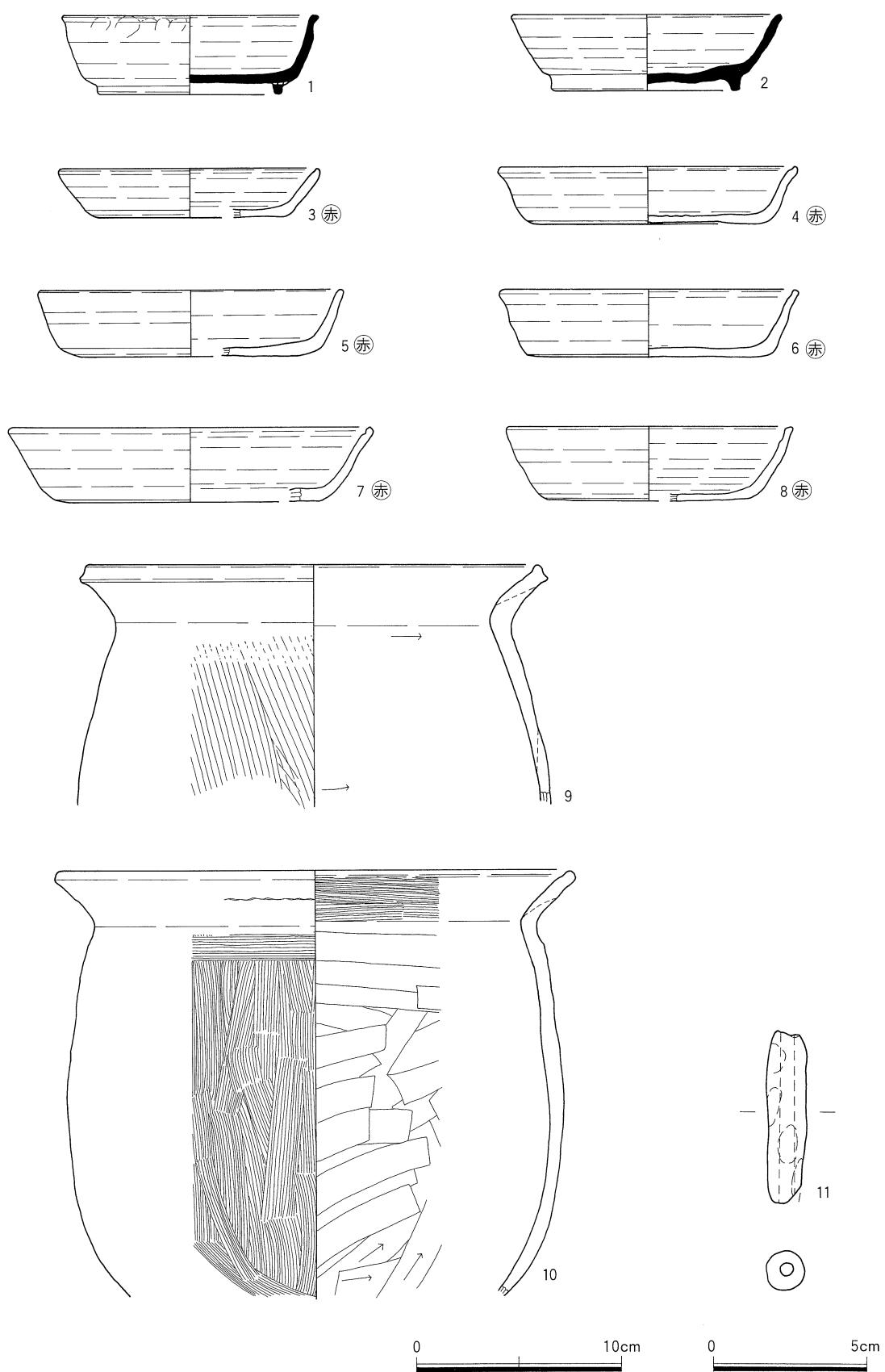
検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αIII L10・11・M11グリッド

形態・規模 長軸1.92m、短軸0.86m、深さ0.56mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

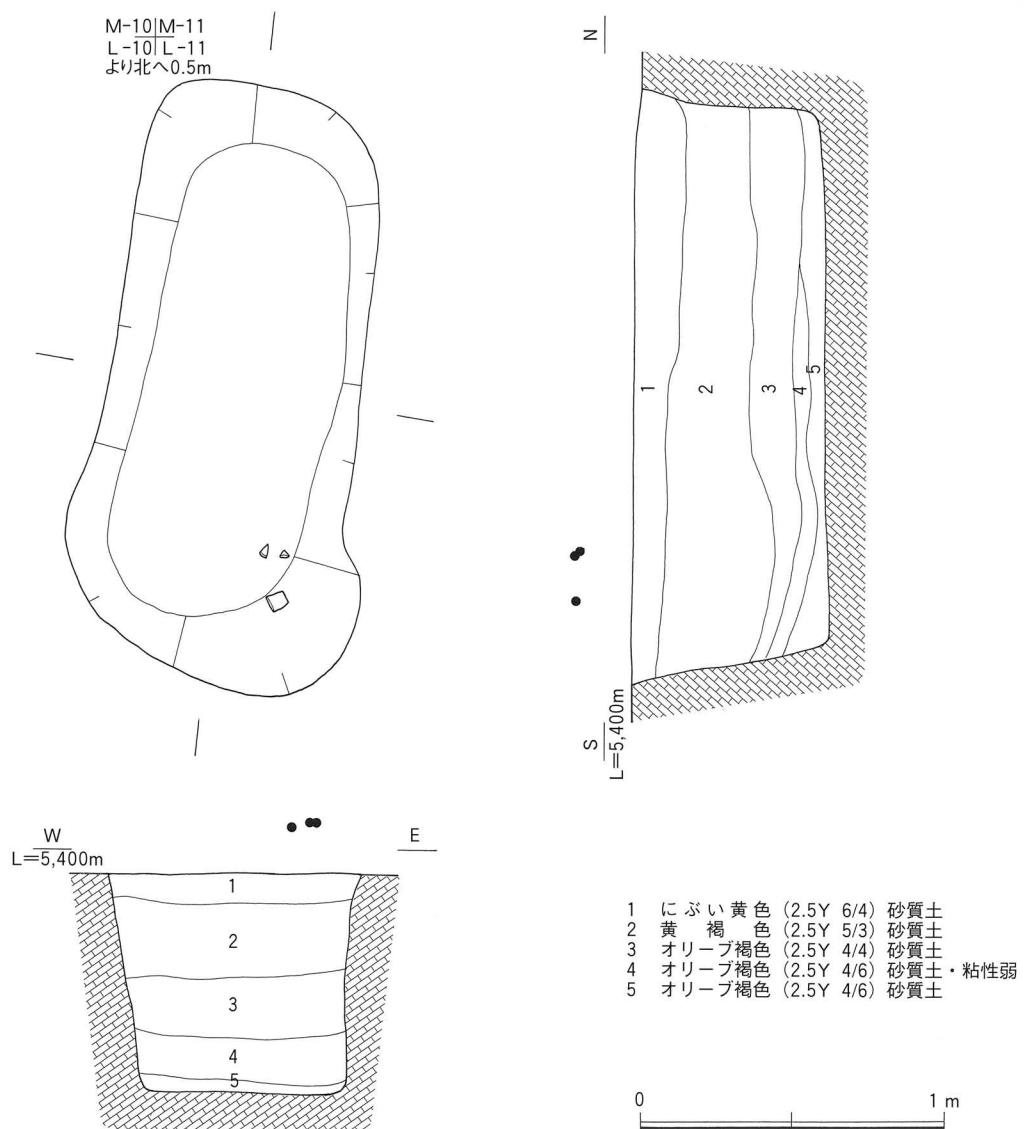
土層 5層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面上面から出土している。

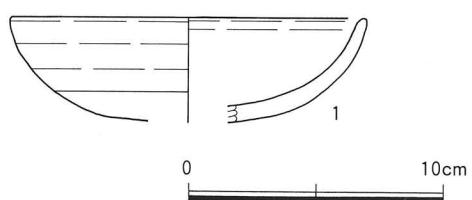
出土遺物 1は土師器の杯である。



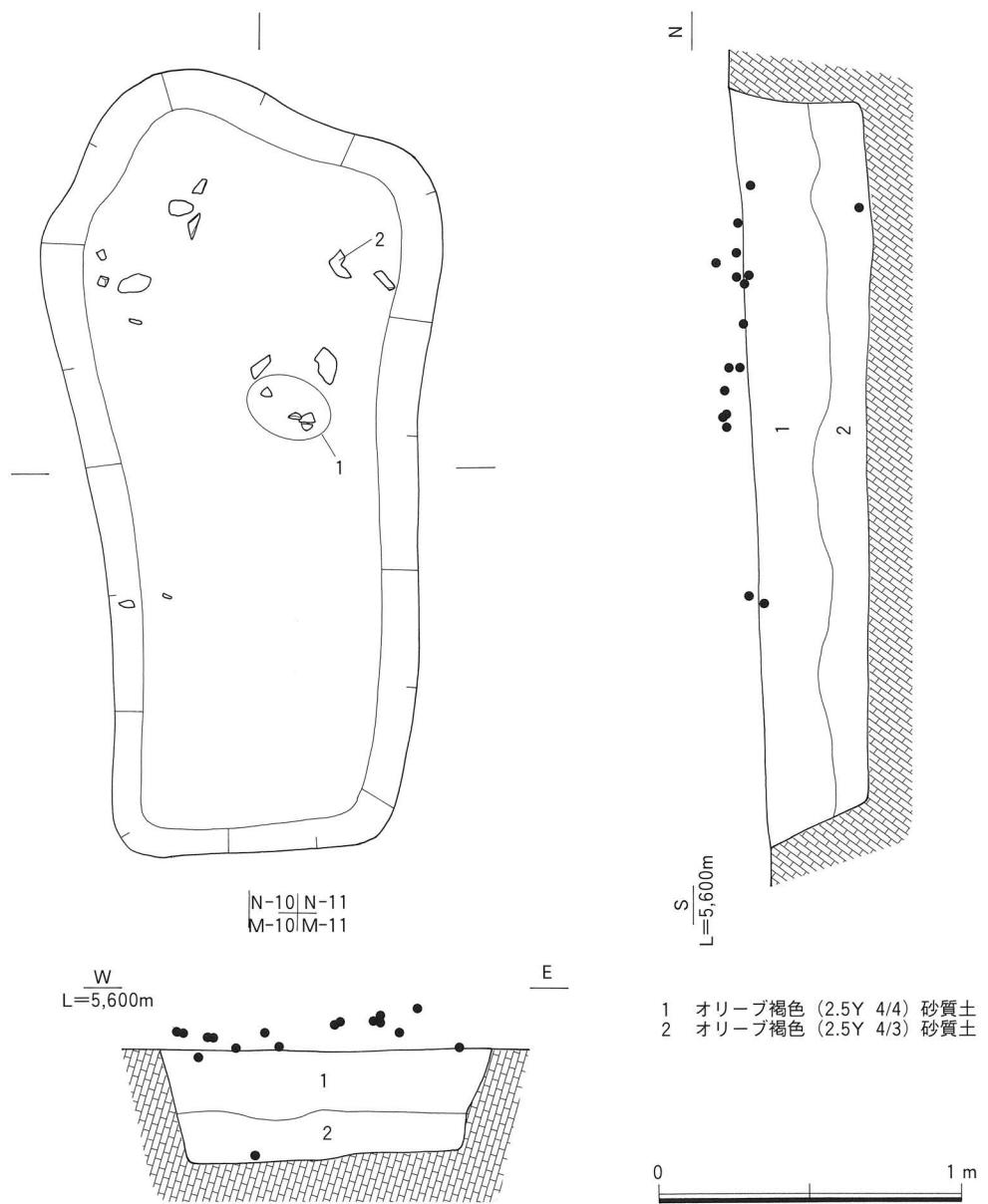
第727図 SK3158 出土遺物



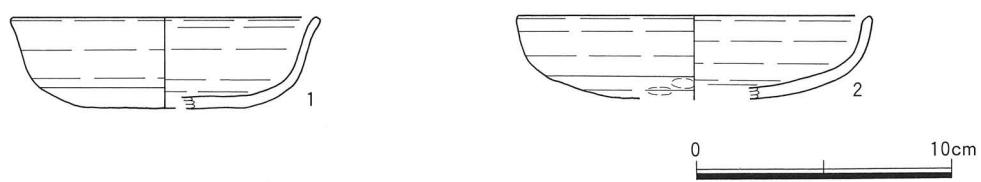
第728図 ST3006 平断面図



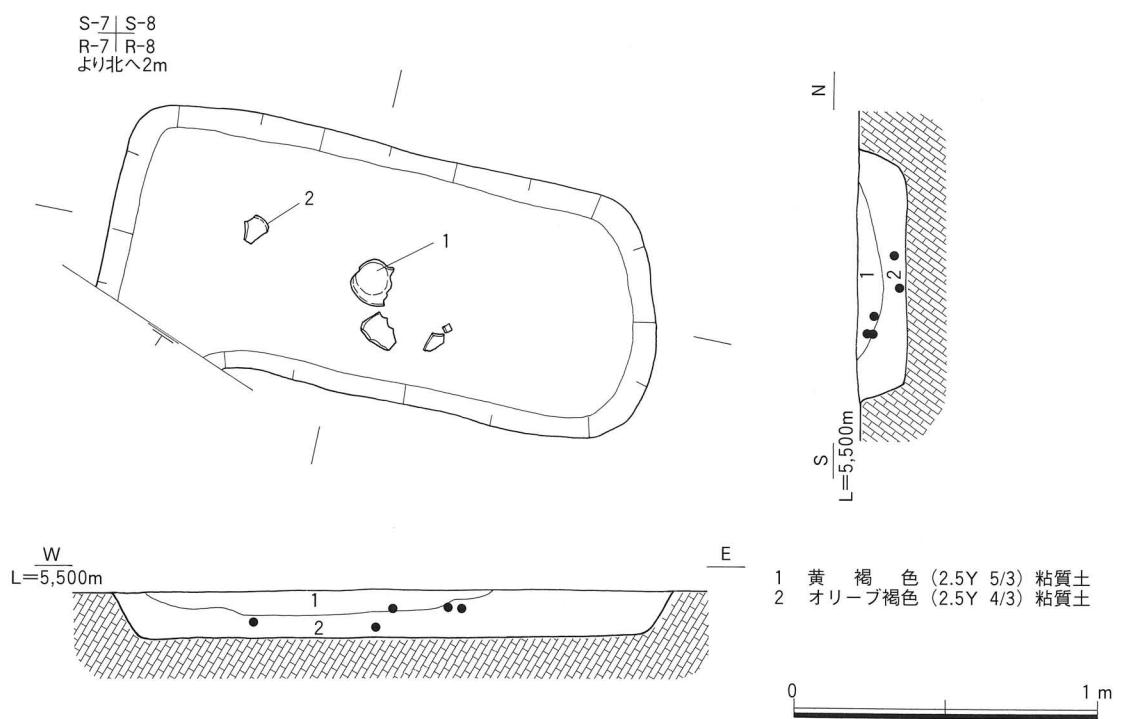
第729図 ST3006 出土遺物



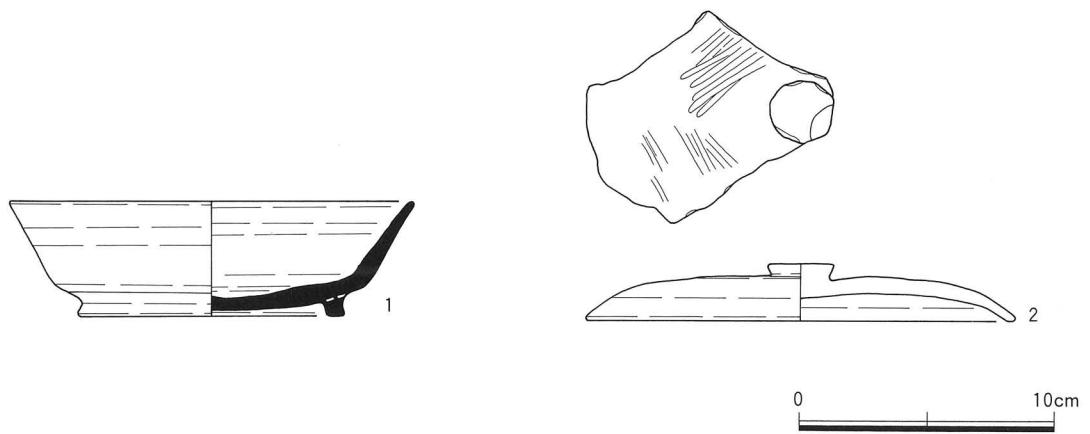
第730図 ST3008 平断面図



第731図 ST3008 出土遺物



第732図 ST3016 平断面図



第733図 ST3016 出土遺物

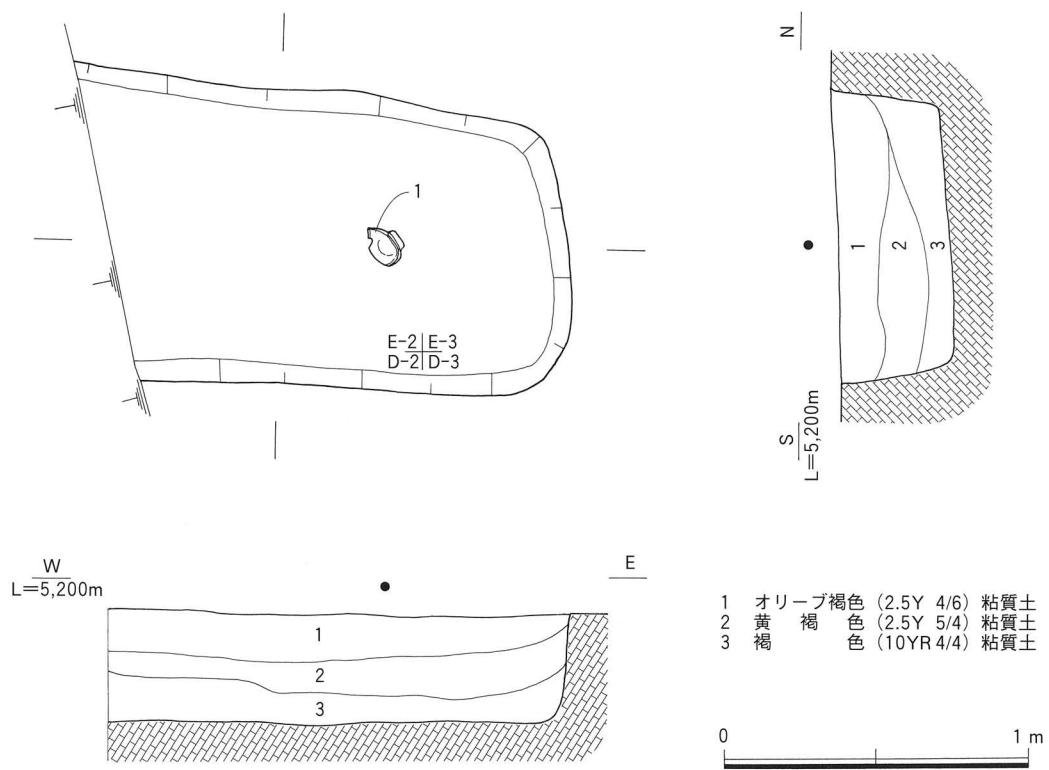
時期 出土した遺物から古墳時代以降と考えられる。

8号土壙墓 (ST3008) (第730・731図)

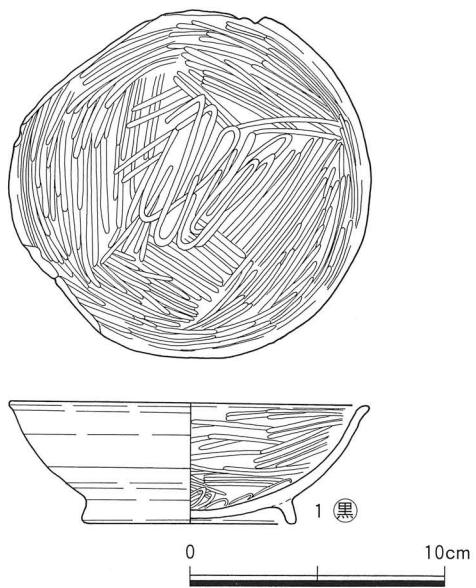
検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αIII N10・11グリッド

形態・規模 長軸2.52m、短軸1.06m、深さ0.36mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

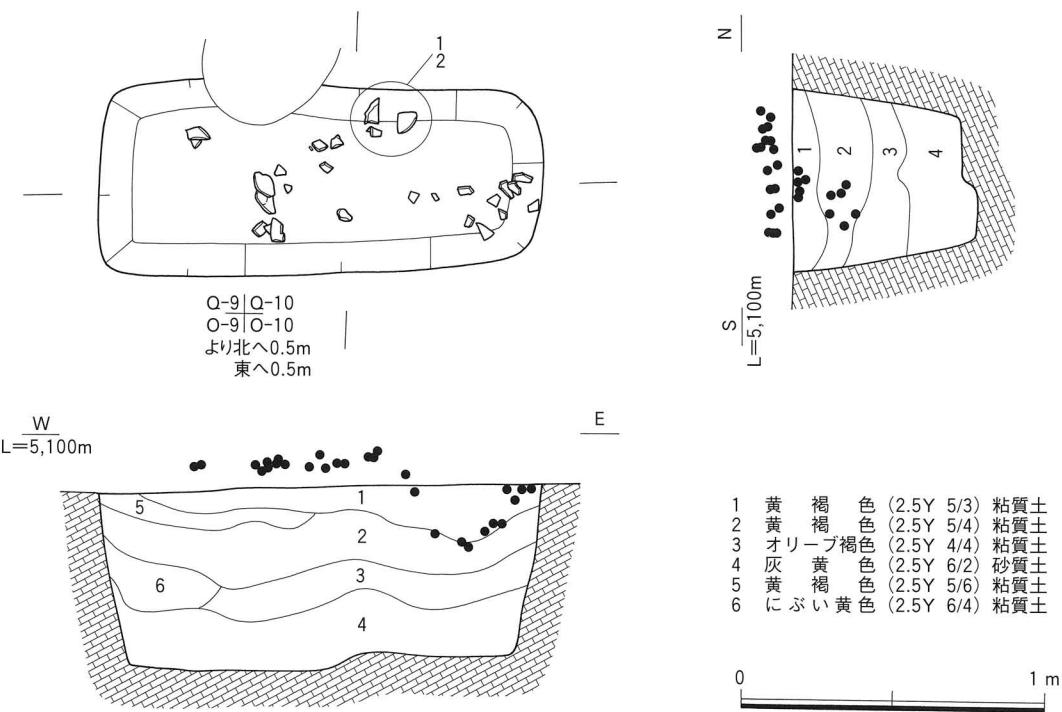
土層 2層に分層される。



第734図 ST3034 平断面図



第735図 ST3034 出土遺物



第736図 ST3083 平断面図



第737図 ST3083 出土遺物

遺物出土状況 遺構検出面上で北半部を中心に出土している。

出土遺物 1、2は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から奈良時代以降と考えられる。

16号土壙墓（ST3016）（第732・733図）

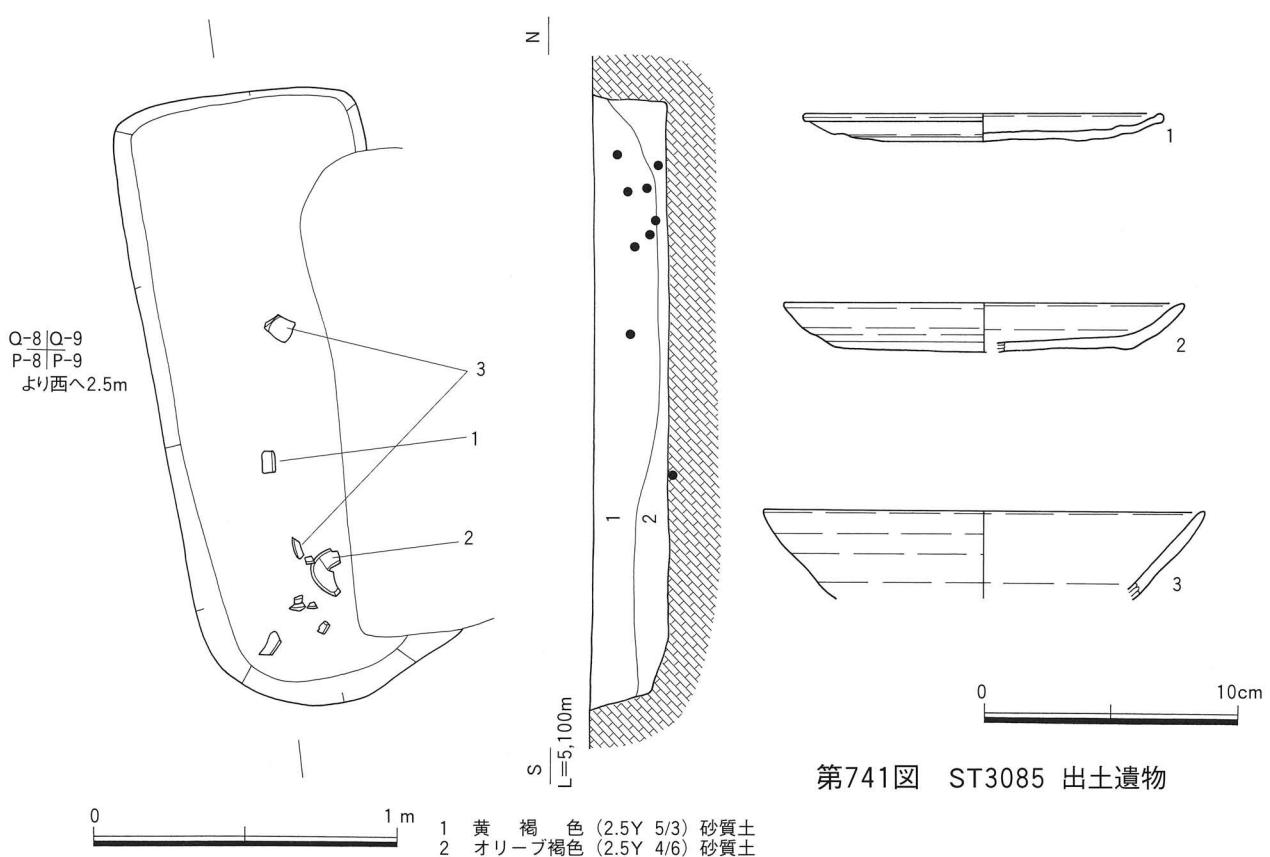
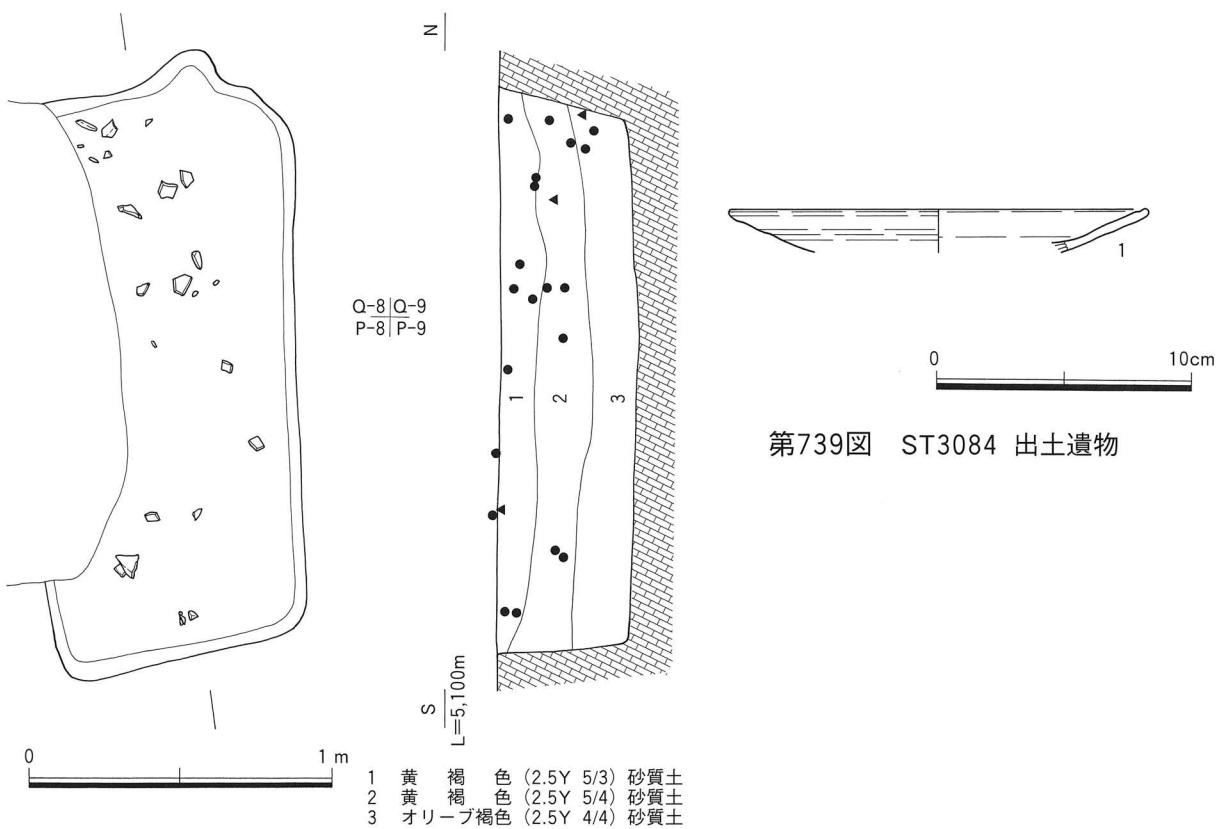
検出場所 1999年度調査4区 Loc.G1・αIII S8 グリッド

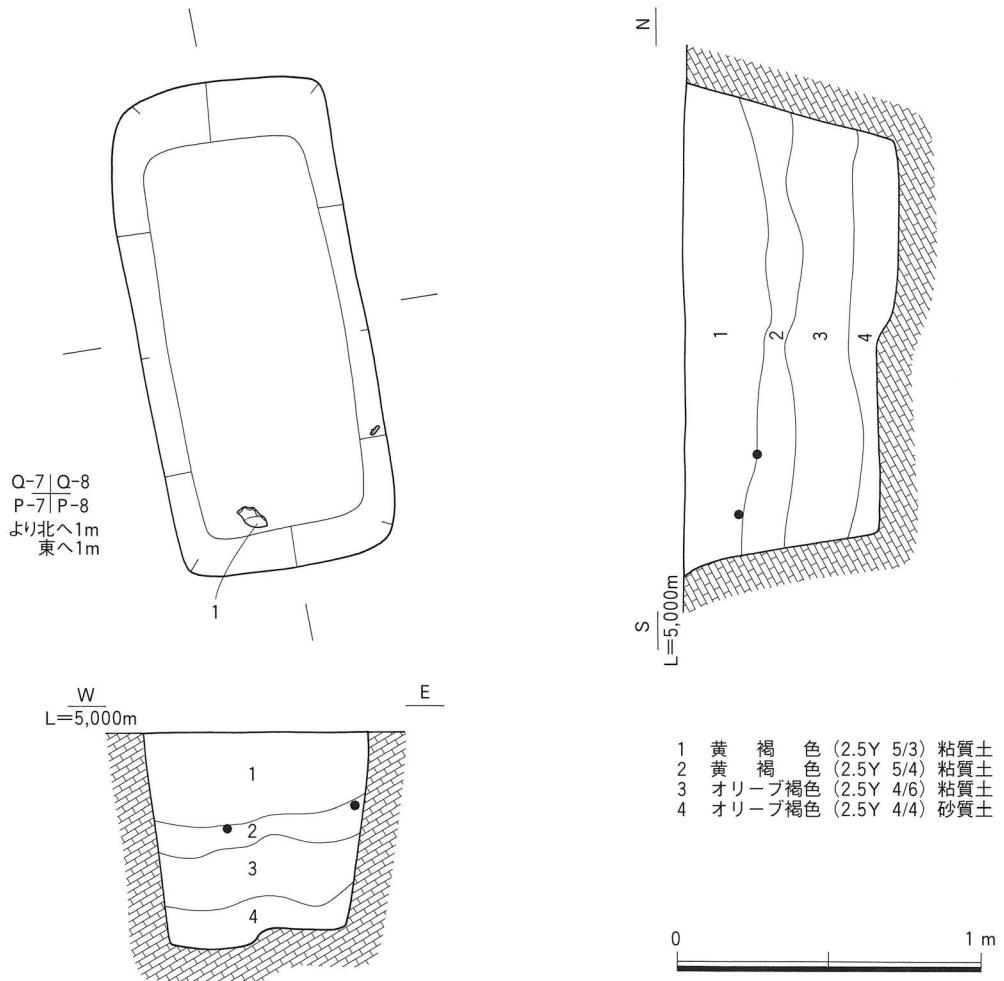
形態・規模 長軸1.82m、短軸0.80m、深さ0.16mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 2層に分層される。

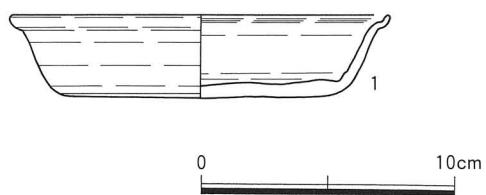
遺物出土状況 中央部を中心に検出された。

出土遺物 1は須恵器の杯である。2は土師器の蓋である。





第742図 ST3086 平断面図



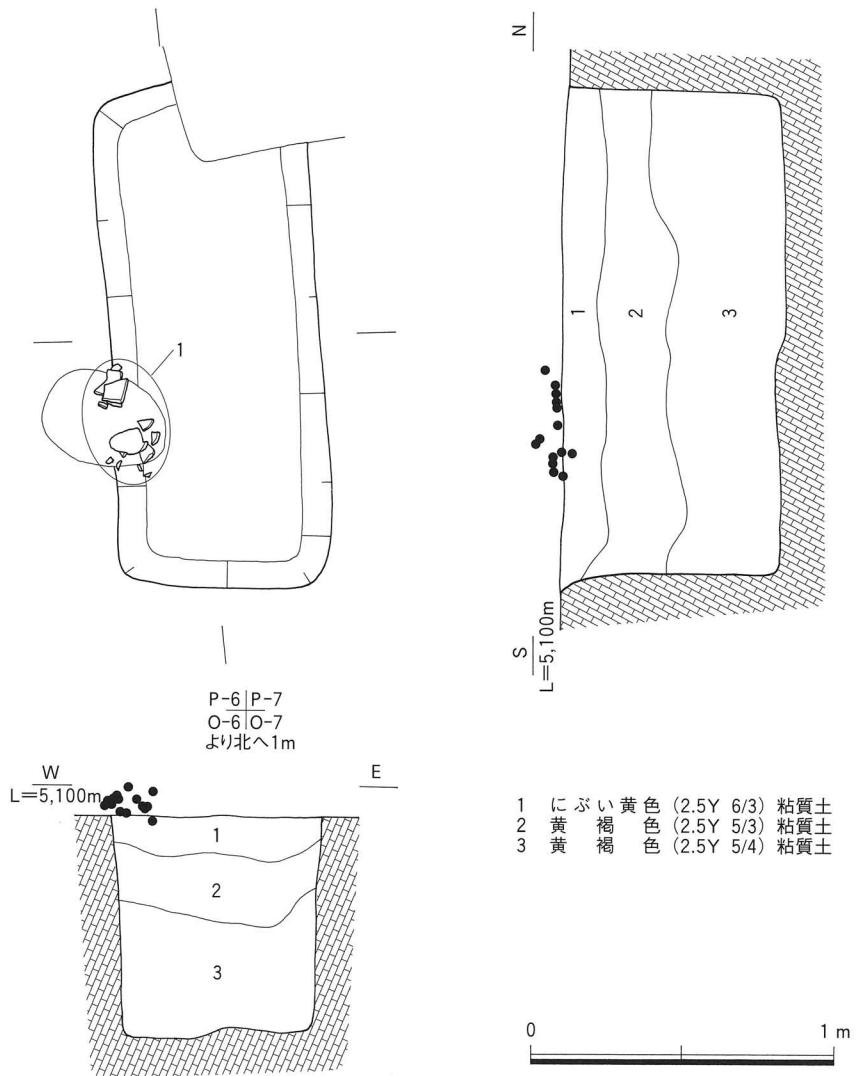
第743図 ST3086 出土遺物

時期 出土した遺物から奈良時代と考えられる。

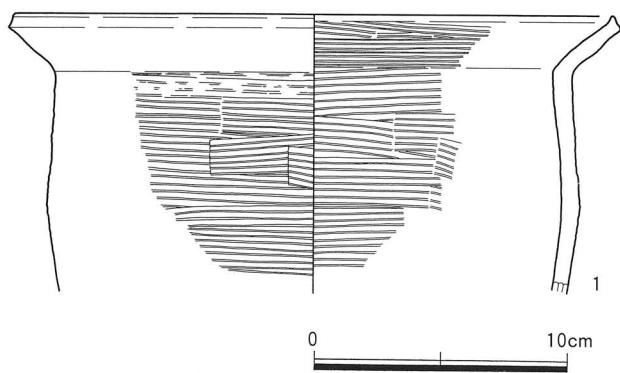
34号土壙墓 (ST3034) (第734・735図)

検出場所 1999年度調査4区 Loc.G1・βIII D2・3・E2・3 グリッド

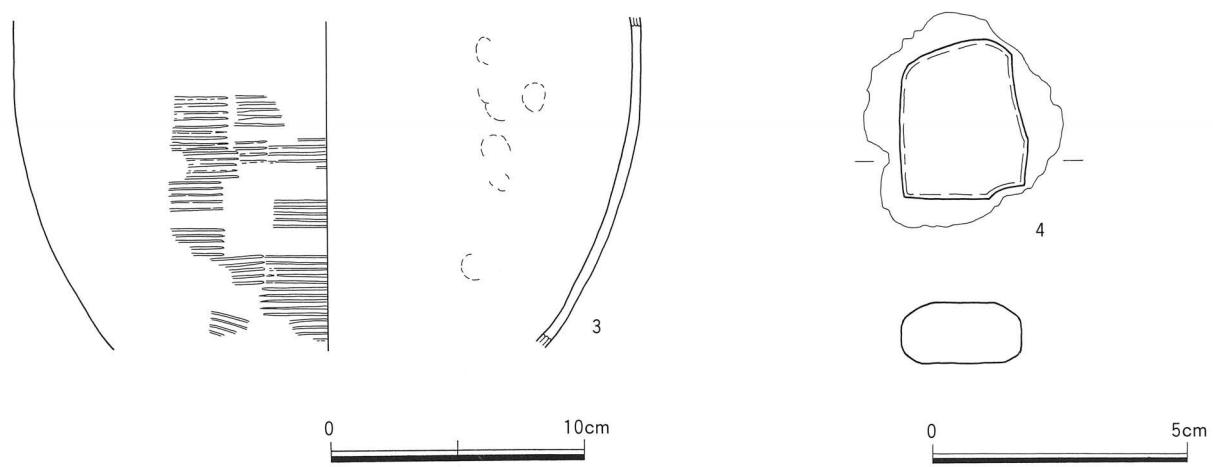
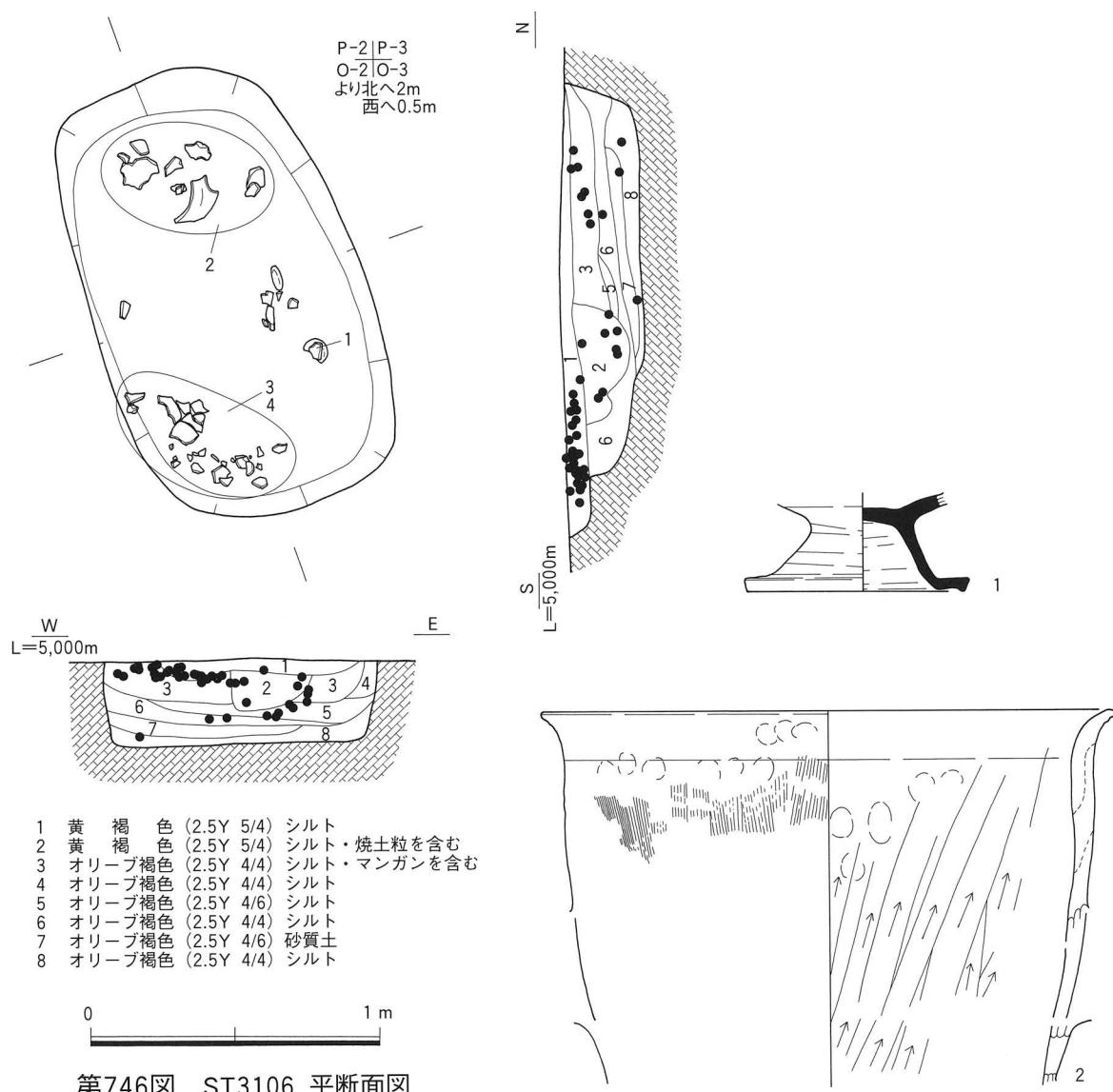
形態・規模 長軸1.50m、短軸1.00m、深さ0.36mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。西側は調査区外に延びている。断面形状は逆台形である。



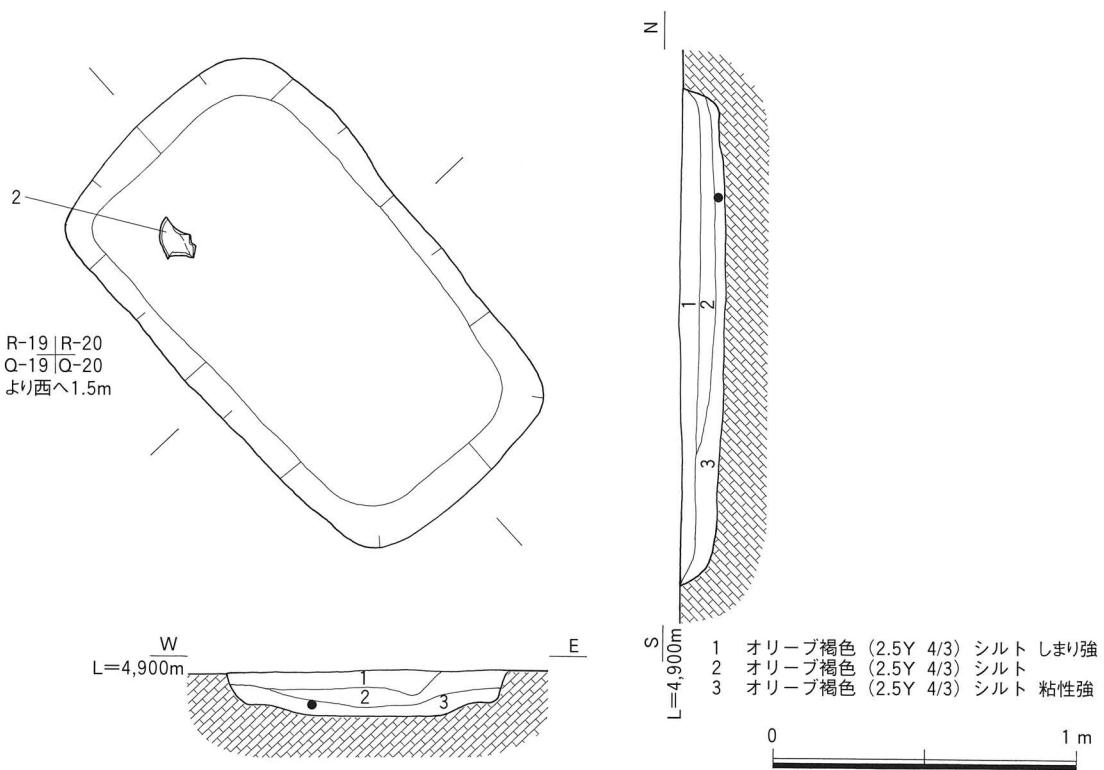
第744図 ST3089 平断面図



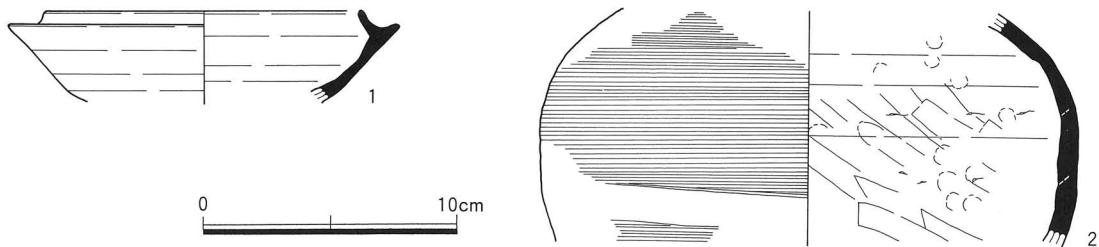
第745図 ST3089 出土遺物



第747図 ST3106 出土遺物



第748図 ST3113 平断面図



第749図 ST3113 出土遺物

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面上から出土している。

出土遺物 1は黒色土器の椀である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

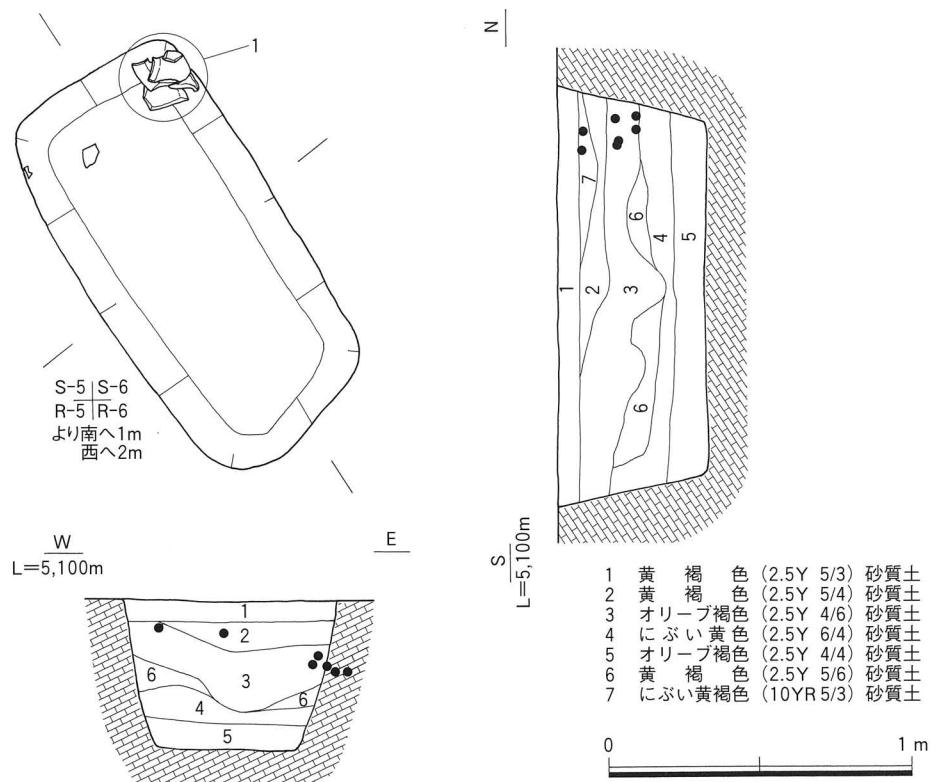
83号土壙墓（ST3083）（第736・737図）

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βIIIQ9グリッド

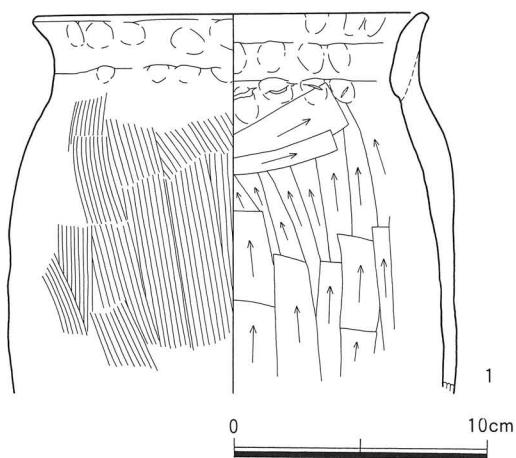
形態・規模 長軸1.40m、短軸0.58m、深さ0.61mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 6層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面から1層にかけて出土している。



第750図 ST3131 平断面図



第751図 ST3131 出土遺物

出土遺物 1、2は土師器の皿である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

84号土壙墓（ST3084）（第738・739図）

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βIII P8・Q8 グリッド

形態・規模 長軸1.86m、短軸0.87m、深さ0.46mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状

は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 1～2層にかけて出土している。

出土遺物 1は土師器の皿である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

85号土壙墓（ST3085）（第740・741図）

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢP8・Q8 グリッド

形態・規模 長軸2.03m、短軸0.59m、深さ0.25mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 中央から南を中心に検出された。

出土遺物 1、2は土師器の皿である。3は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

86号土壙墓（ST3086）（第742・743図）

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢQ8 グリッド

形態・規模 長軸1.59m、短軸0.72m、深さ0.70mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 4層に分層される。

遺物出土状況 南半部の2層上面を中心に検出された。

出土遺物 1は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から奈良時代と考えられる。

89号土壙墓（ST3089）（第744・745図）

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢP6・7 グリッド

形態・規模 長軸1.62m、短軸0.69m、深さ0.59mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面上より出土した。

出土遺物 1は土師器の甕である。

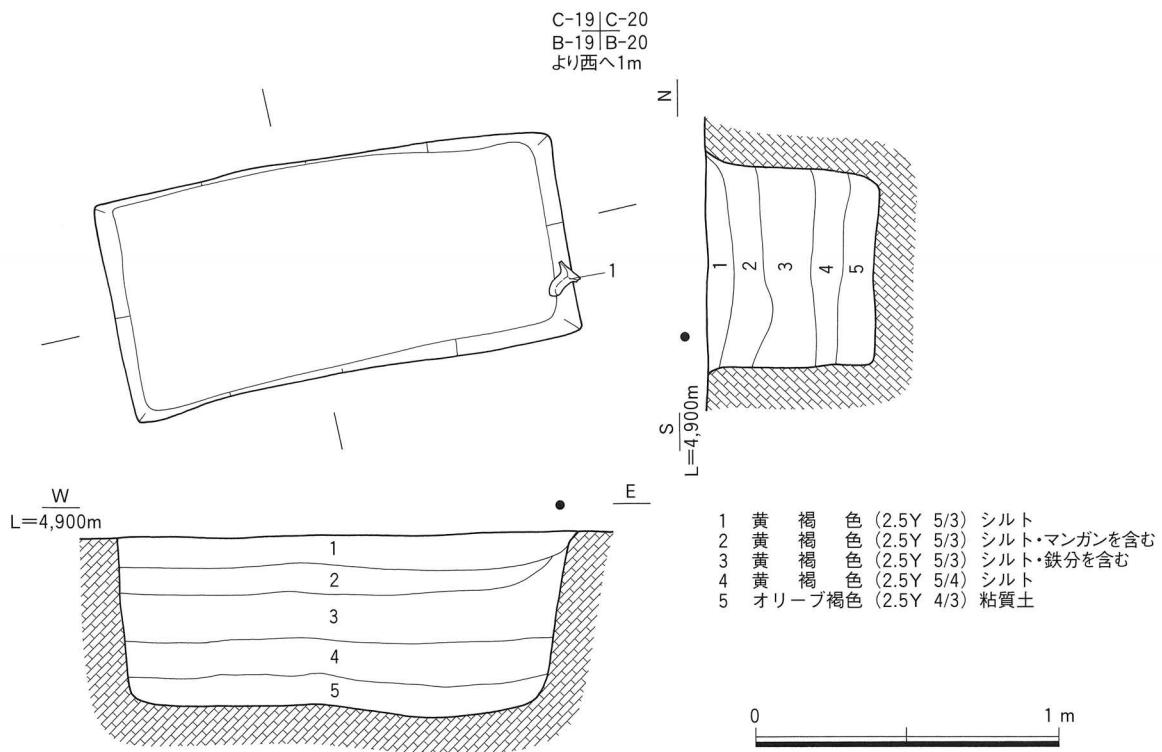
時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

106号土壙墓（ST3106）（第746・747図）

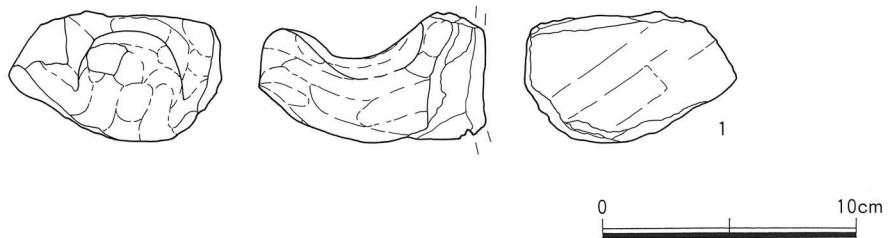
検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・βⅡP2 グリッド

形態・規模 長軸1.59m、短軸0.94m、深さ0.30mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 8層に分層される。



第752図 ST3173 平断面図



第753図 ST3173 出土遺物

遺物出土状況 1～3層を中心として検出された。

出土遺物 1は須恵器の高杯である。2は土師器の甌である。3は土師器の甌である。4は用途不明の鉄片である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

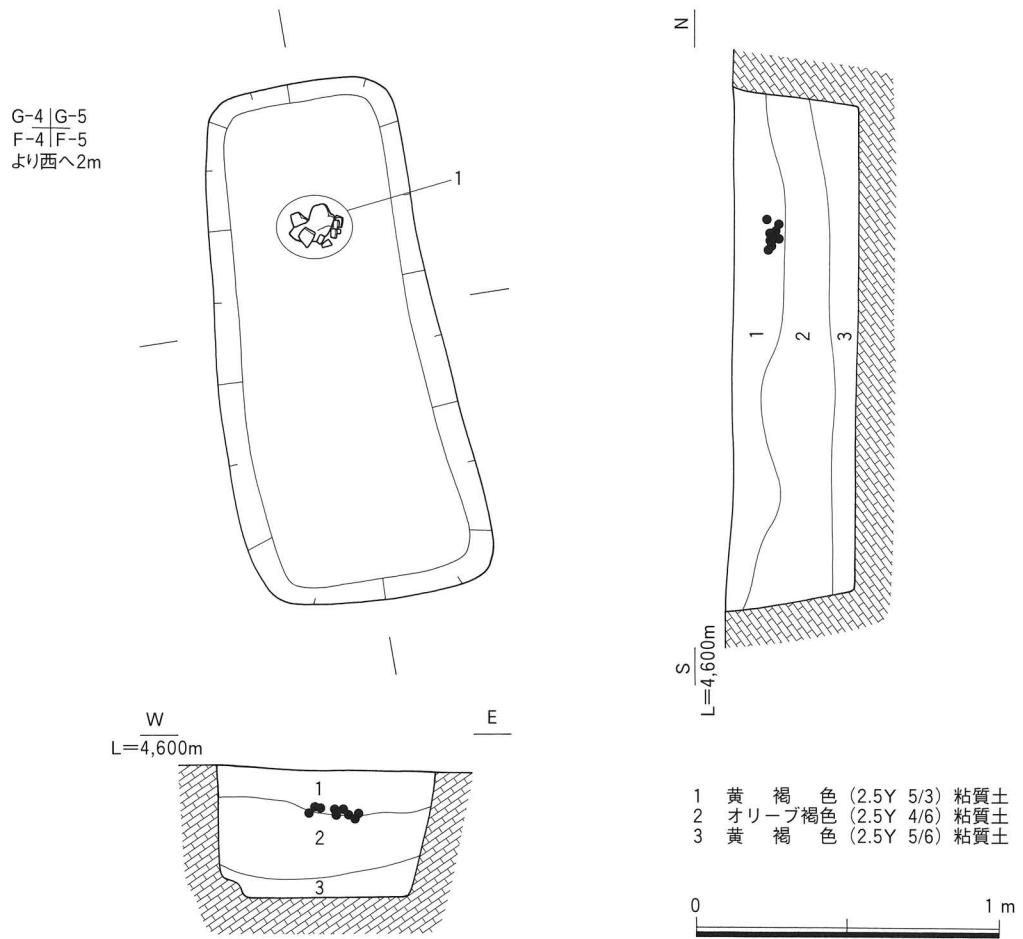
113号土壙墓（ST3113）（第748・749図）

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・βII Q19・20・R19・20グリッド

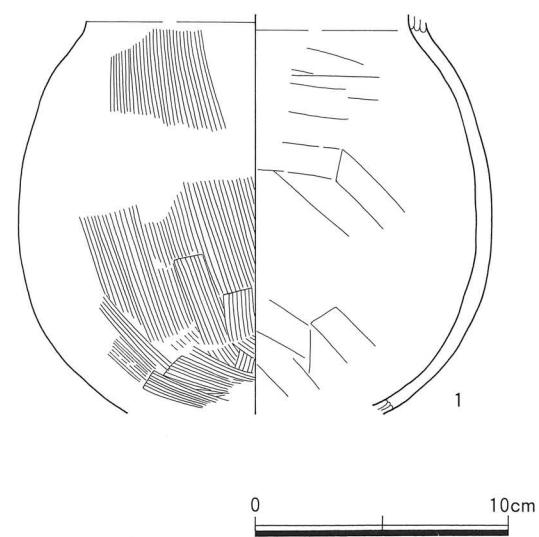
形態・規模 長軸1.62m、短軸0.92m、深さ0.16mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 3層に分層される。

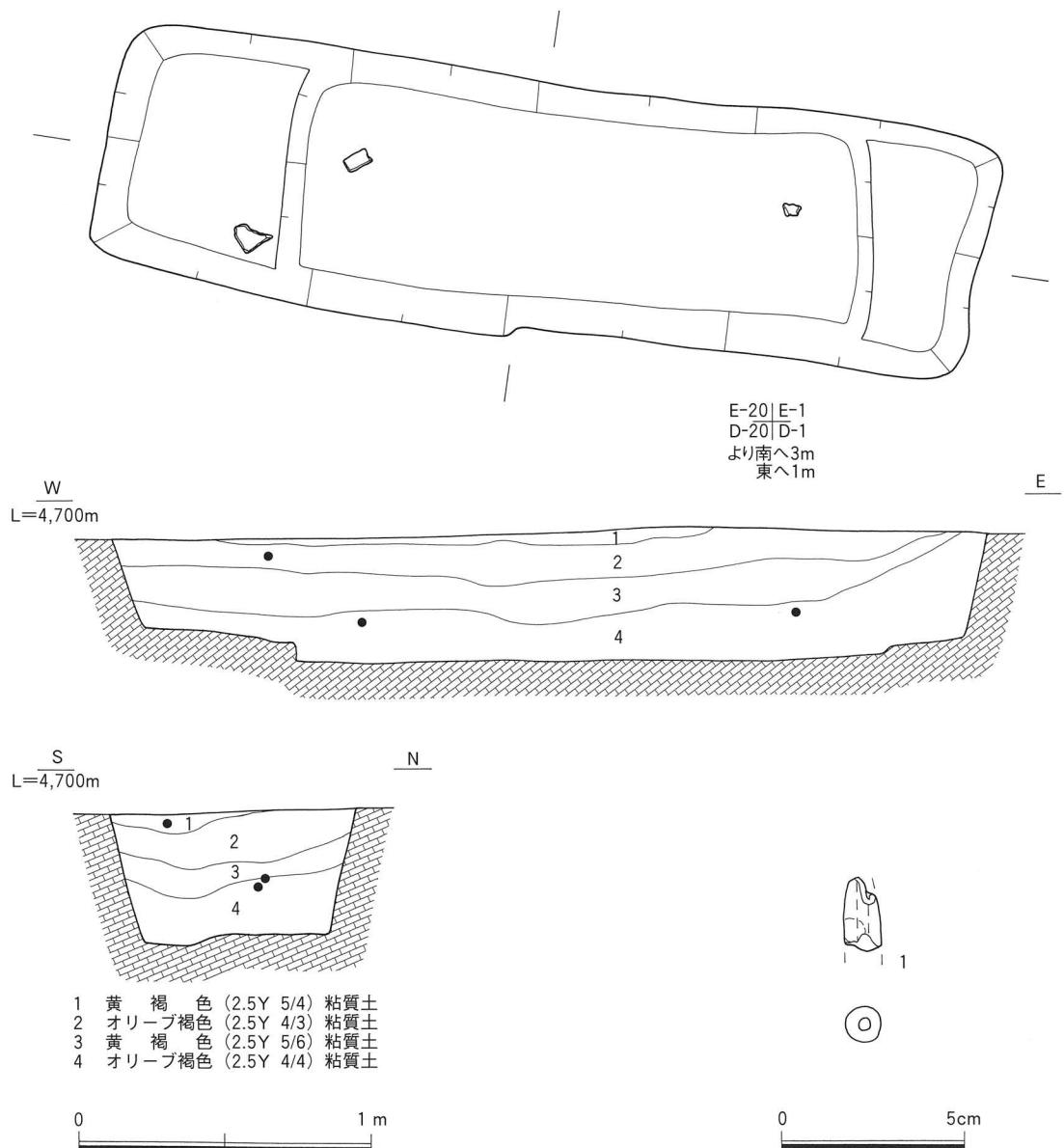
遺物出土状況 北寄りで検出された。



第754図 ST3240 平断面図



第755図 ST3240 出土遺物



第756図 ST3259 平断面図

第757図 ST3259 出土遺物

出土遺物 1は須恵器の杯身である。2は須恵器の壺である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

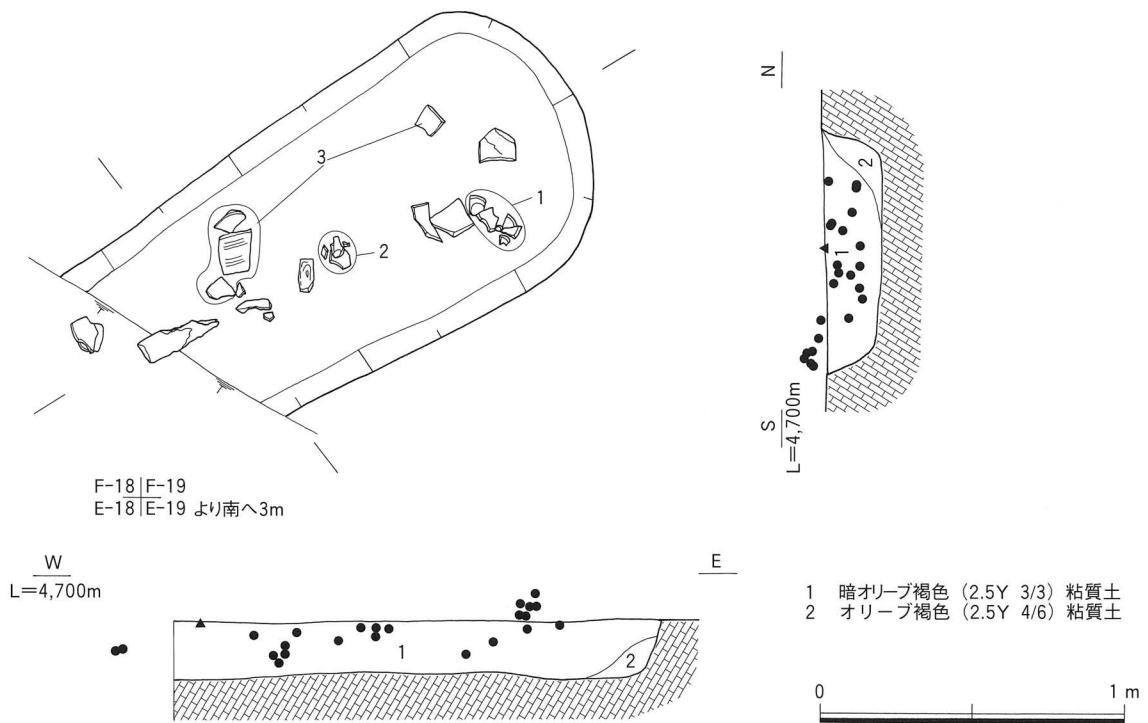
131号土壙墓 (ST3131) (第750・751図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢR5・S5グリッド

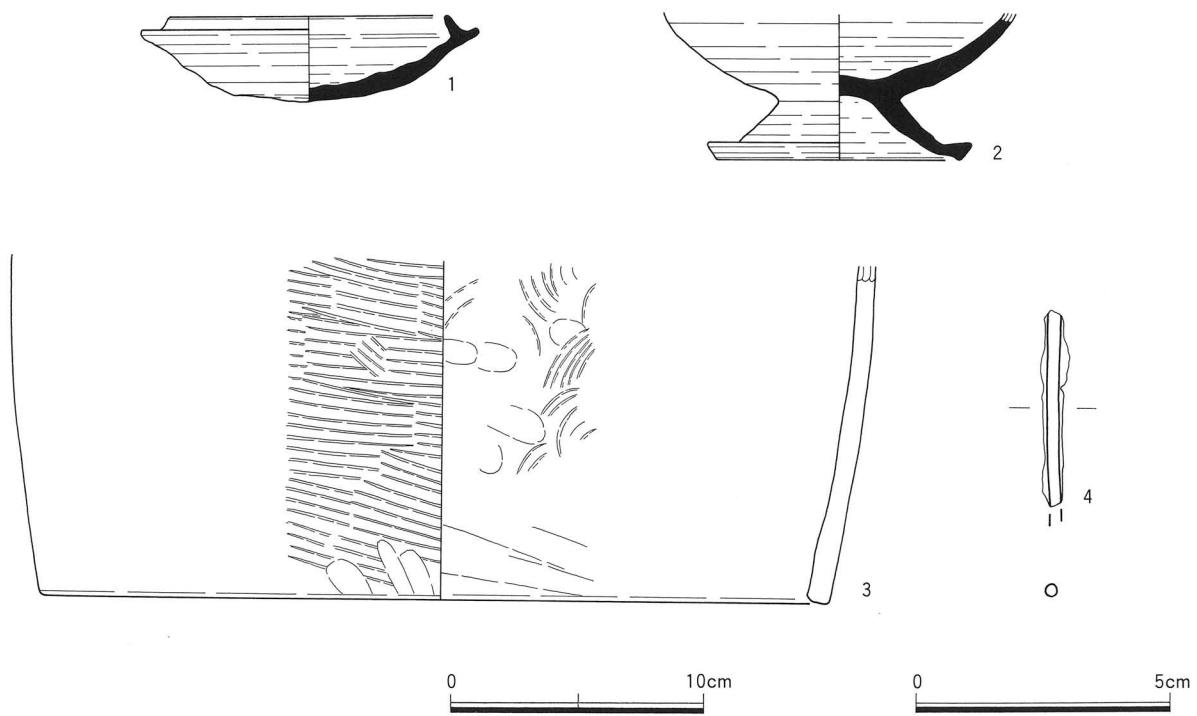
形態・規模 長軸1.38m、短軸0.70m、深さ0.49mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 7層に分層される。

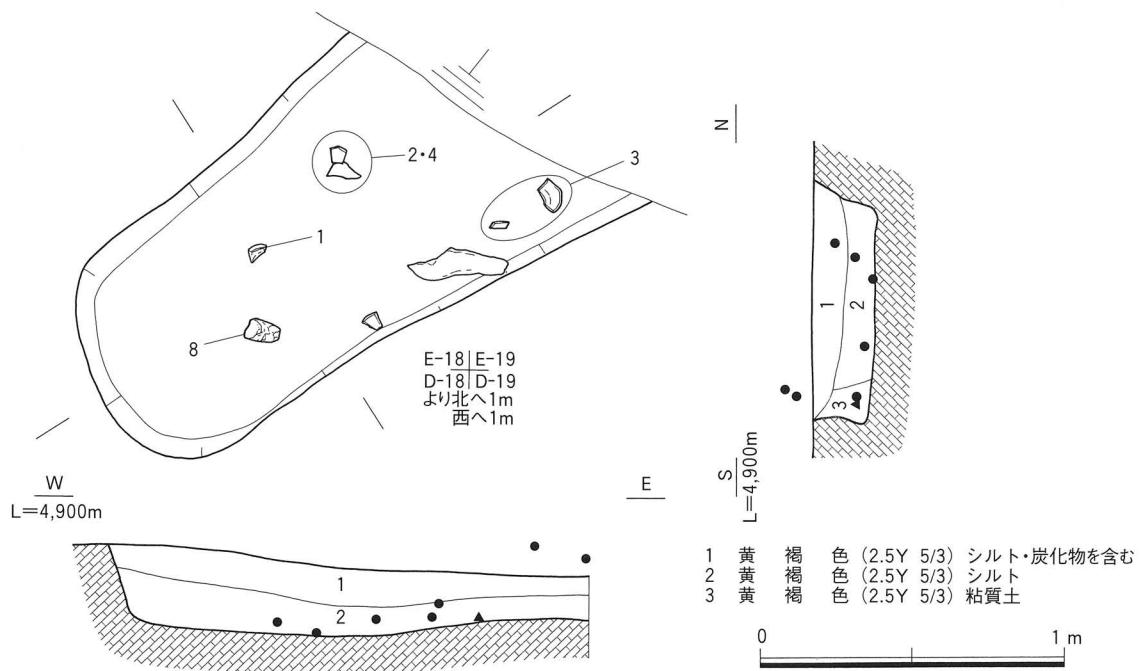
遺物出土状況 北東隅より検出された。



第758図 ST3268 平断面図



第759図 ST3268 出土遺物



第760図 ST3270 平断面図

出土遺物 1は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から古墳時代以降と考えられる。

173号土壙墓（ST3173）（第752・753図）

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・βII B19グリッド

形態・規模 長軸1.50m、短軸0.70m、深さ0.60mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 5層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面上面から出土した。

出土遺物 1は土師器の甕の把手部である。

時期 出土した遺物から古墳時代以降と考えられる。

240号土壙墓（ST3240）（第754・755図）

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・βIII F4・G4グリッド

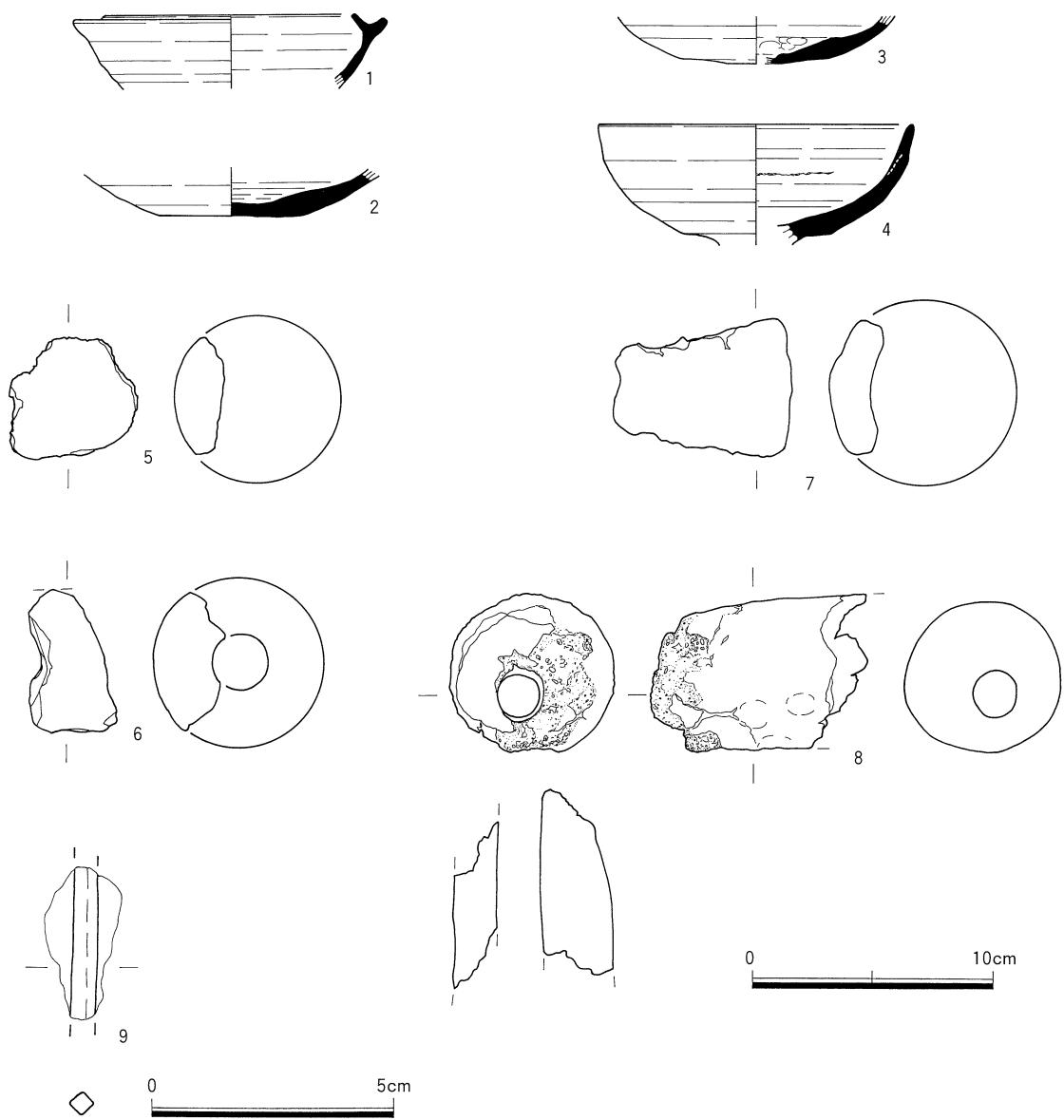
形態・規模 長軸1.74m、短軸0.76m、深さ0.44mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 北寄りの2層上面から検出された。

出土遺物 1は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から古墳時代以降と考えられる。



第761図 ST3270 出土遺物

259号土壙墓（ST3259）（第756・757図）

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・β II D20グリッド

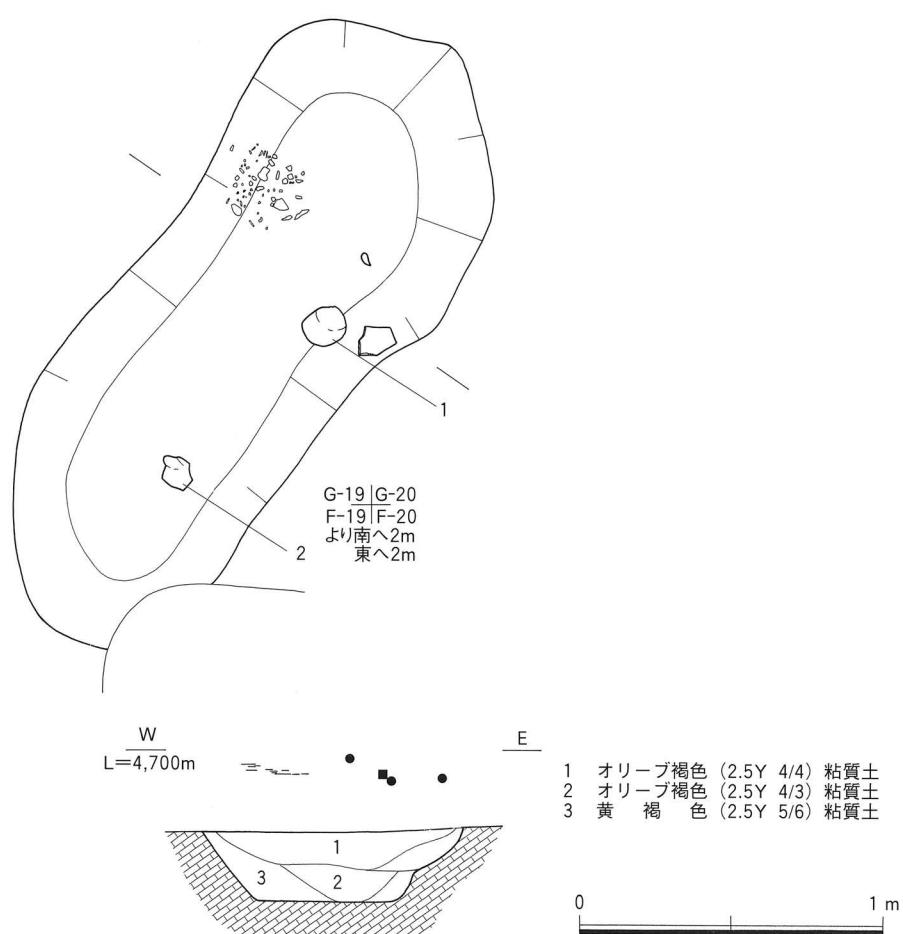
形態・規模 長軸 3.00m、短軸0.83m、深さ0.46mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は東西方向が二段形で、南北方向は逆台形である。

土層 4層に分層される。

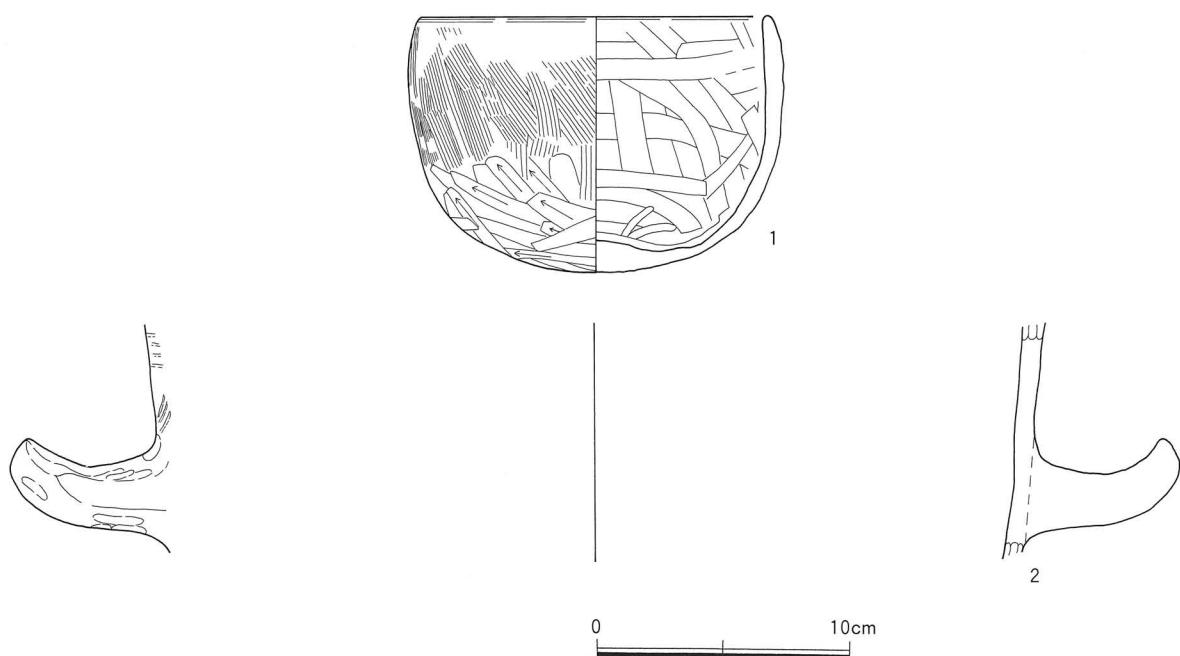
遺物出土状況 西側と東側に散漫に分布している。

出土遺物 1は土錘である。

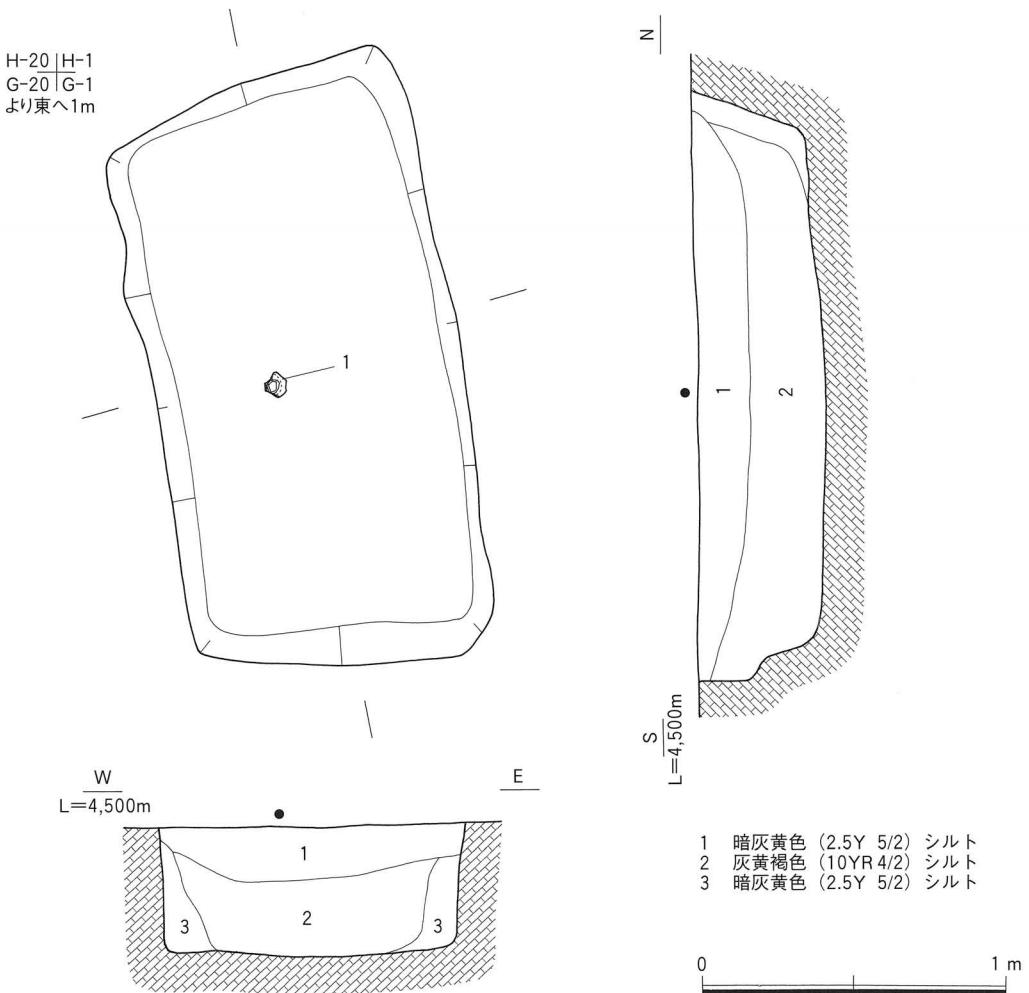
時期 周辺の遺構の時期から古墳時代以降と考えられる。



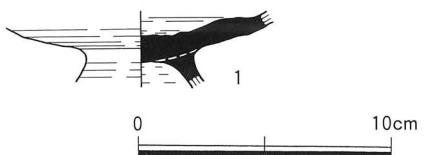
第762図 ST3277 平断面図



第763図 ST3277 出土遺物



第764図 ST3278 平断面図



第765図 ST3278 出土遺物

268号土壙墓（ST3268）（第758・759図）

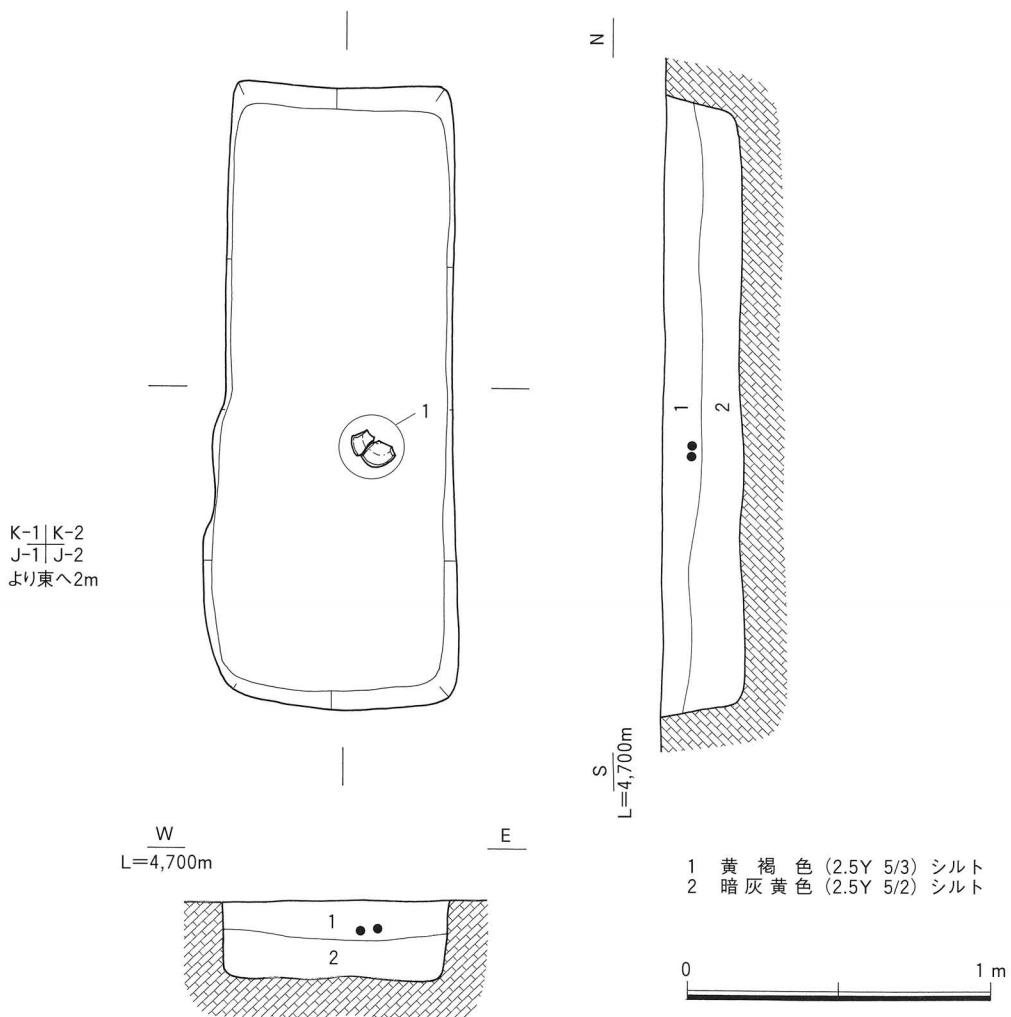
検出場所 1999年度調査5区 Loc.G 1・β II E18・19グリッド

形態・規模 長軸1.50m、短軸0.89m、深さ0.20mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈すると考えられる。西側は調査区外に延びている。断面形状は皿形である。

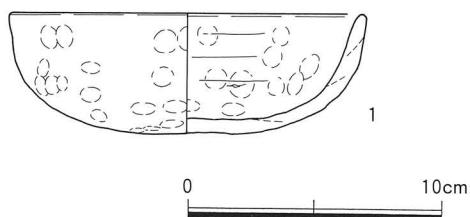
土層 2層に分層される。

遺物出土状況 ほぼ全域から検出された。

出土遺物 1は須恵器の杯身である。2は須恵器の高杯である。3は土師器の甌である。4は棒状の鉄



第766図 ST3490 平断面図



第767図 ST3490 出土遺物

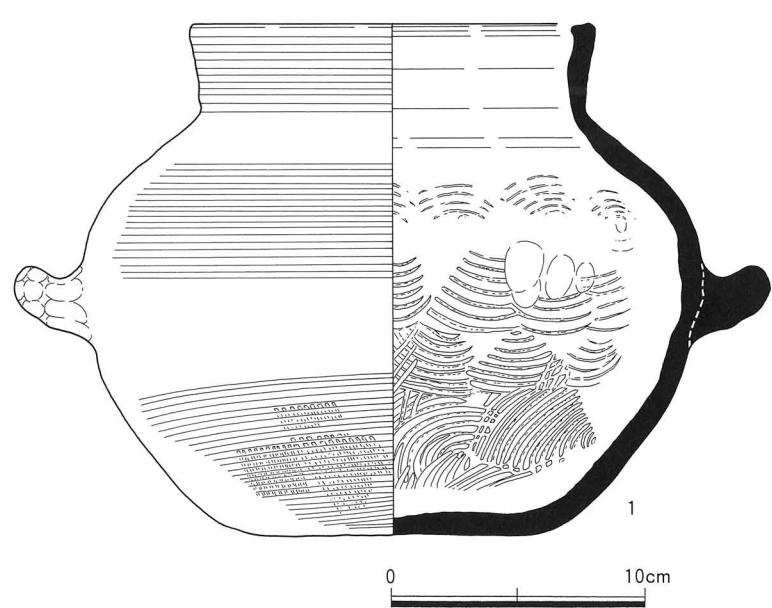
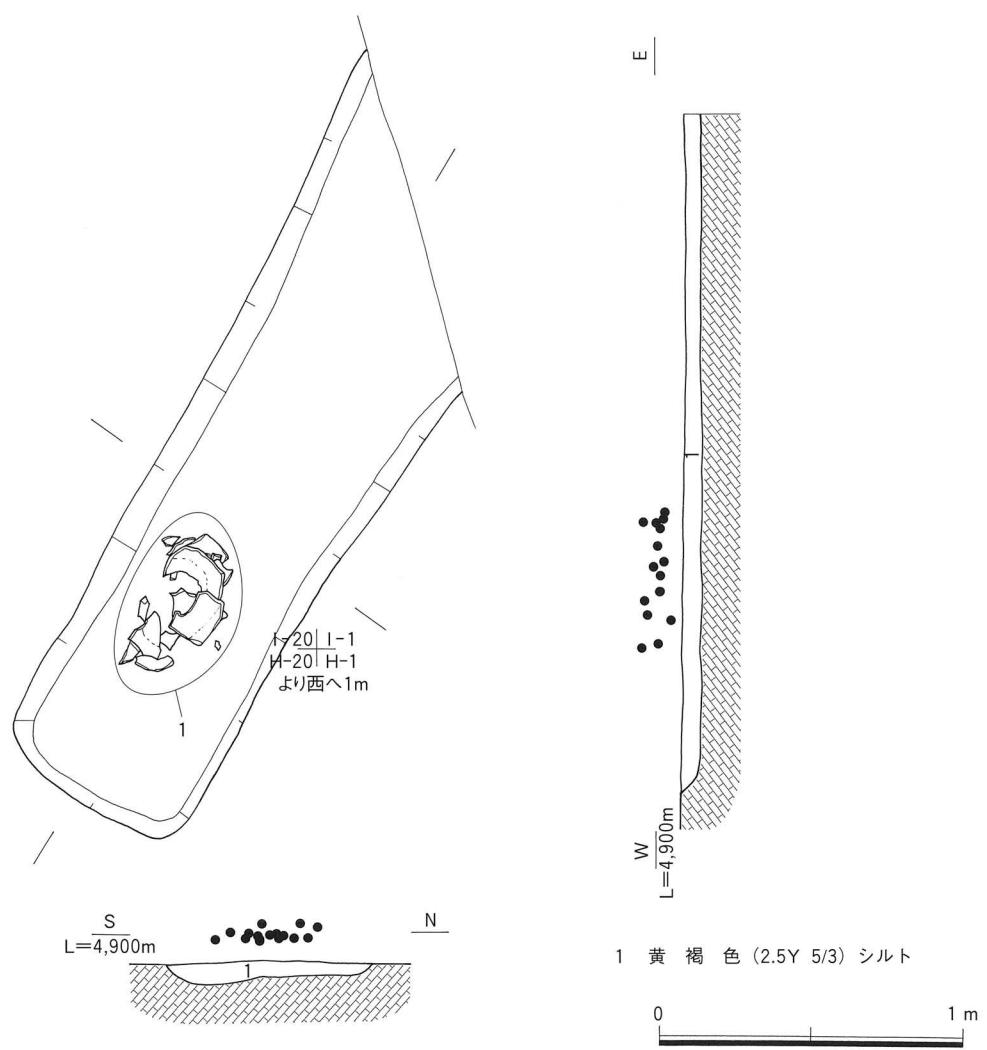
器である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

270号土壙墓（ST3270）（第760・761図）

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・βII E18グリッド

形態・規模 長軸1.50m、短軸0.90m、深さ0.25mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈すると考えられ



第769図 ST3644 出土遺物

る。東側は調査区外に延びている。断面形状は皿形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 ほぼ全域から検出された。

出土遺物 1～3は須恵器の杯身である。4は須恵器の高杯である。5～8は轍の羽口である。9は釘である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

備考 ST3268と規模や位置関係からみて同一遺構の可能性がある。

277号土壙墓（ST3277）（第762・763図）

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・βII F20グリッド

形態・規模 長軸2.29m、短軸0.80m、深さ0.27mを測り、平面形状は長楕円形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面より上方から出土している。南半部には炭化物の集中もみられた。

出土遺物 1は土師器の椀である。2は土師器の甌である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

278号土壙墓（ST3278）（第764・765図）

検出場所 2006年度調査2区 Loc.G1・δIII G1グリッド

形態・規模 長軸2.00m、短軸1.06m、深さ0.42mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面から出土している。

出土遺物 1は須恵器の高杯である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

490号土壙墓（ST3490）（第766・767図）

検出場所 2006年度調査2区 Loc.G1・δIII J2・K2グリッド

形態・規模 長軸2.10m、短軸0.73m、深さ0.26mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 中央部1層中より検出された。

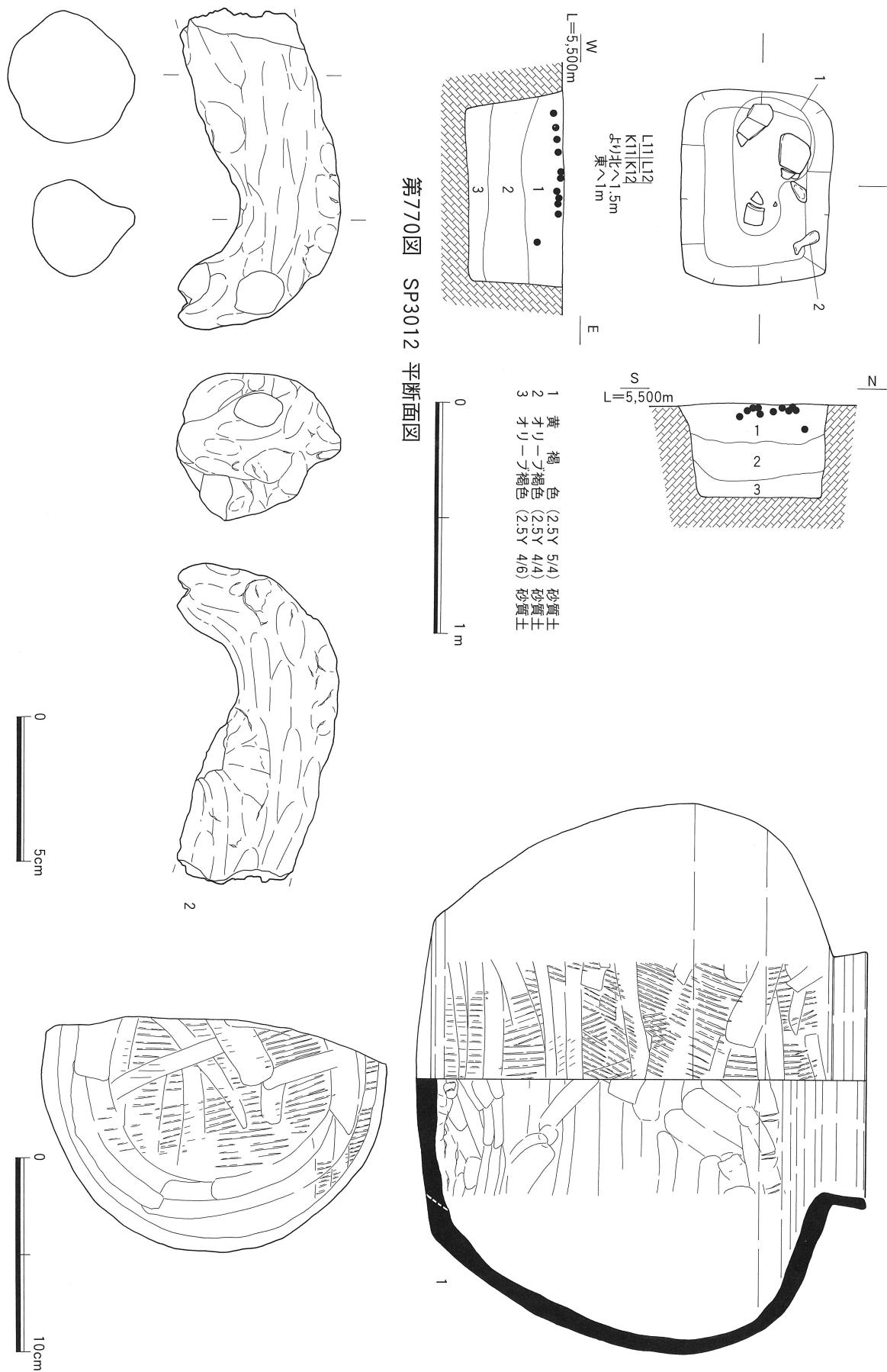
出土遺物 1は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

644号土壙墓（ST3644）（第768・769図）

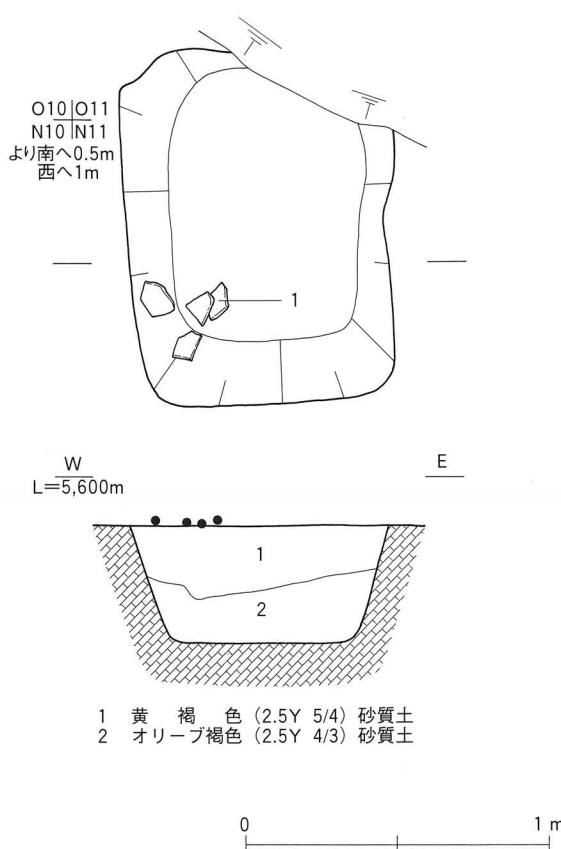
検出場所 2003年度調査4-3区 Loc.G1・εII H20・I20グリッド

形態・規模 長軸2.56m、短軸0.78m、深さ0.07mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈すると考えられ

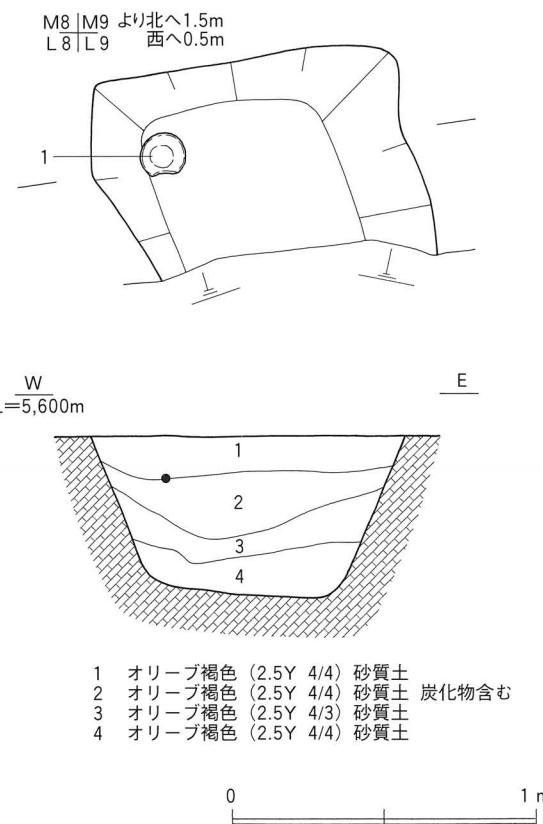


第770図 SP3012 平断面図

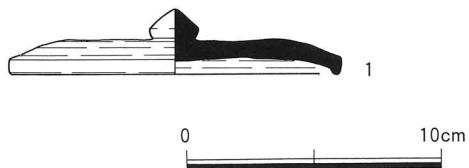
第771図 SP3012 出土遺物



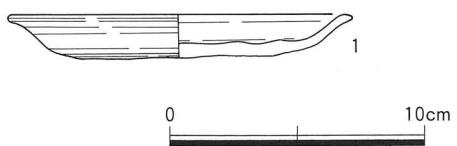
第772図 SP3020 平断面図



第774図 SP3045 平断面図



第773図 SP3020 出土遺物



第775図 SP3045 出土遺物

る。北東部は調査区外に延びている。断面形状は皿形である。

土層 1層である。

遺物出土状況 遺構検出面上方の南半部からまとまって出土している。

出土遺物 1は須恵器の把手付き壺である。

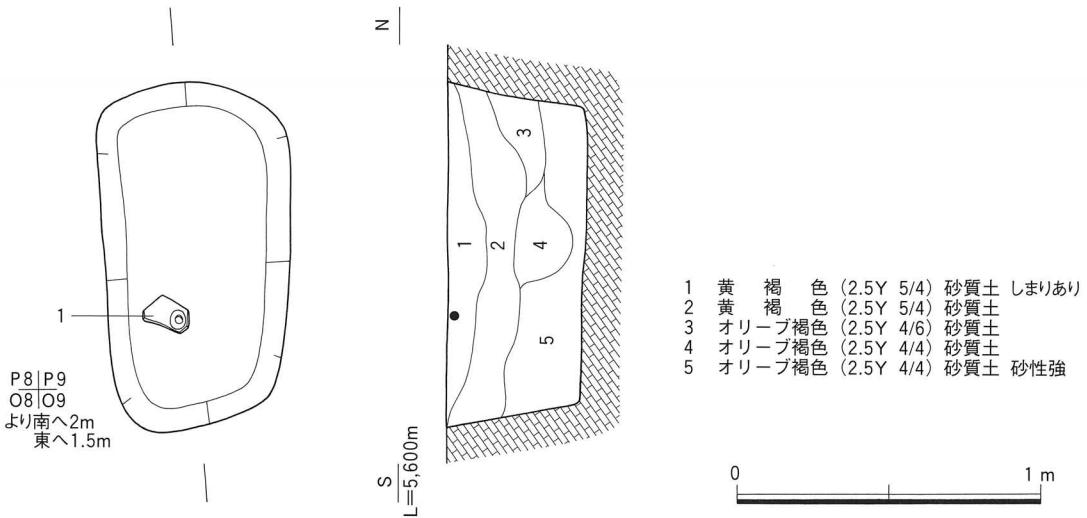
時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる

⑦ 小穴

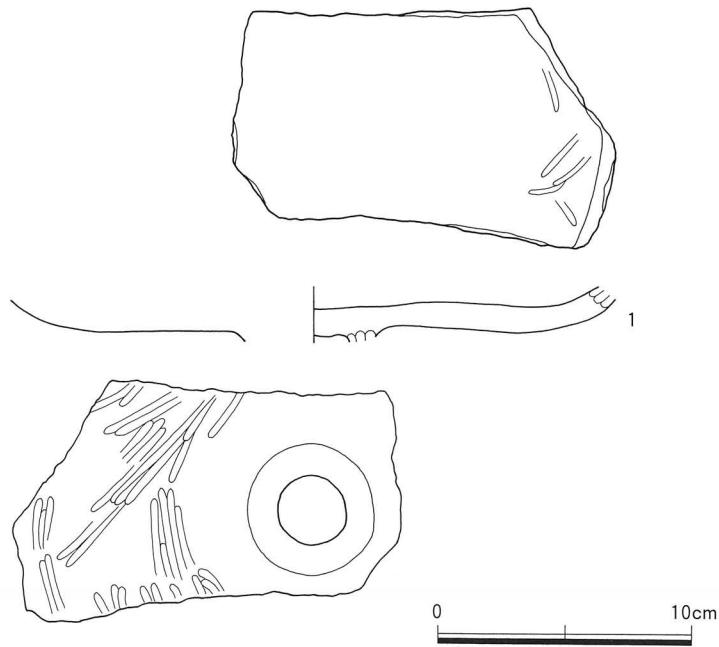
12号小穴 (SP3012) (第770・771図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αIII L12グリッド

形態・規模 長軸0.80m、短軸0.62m、深さ0.41mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状



第776図 SP3073 平断面図



第777図 SP3073 出土遺物

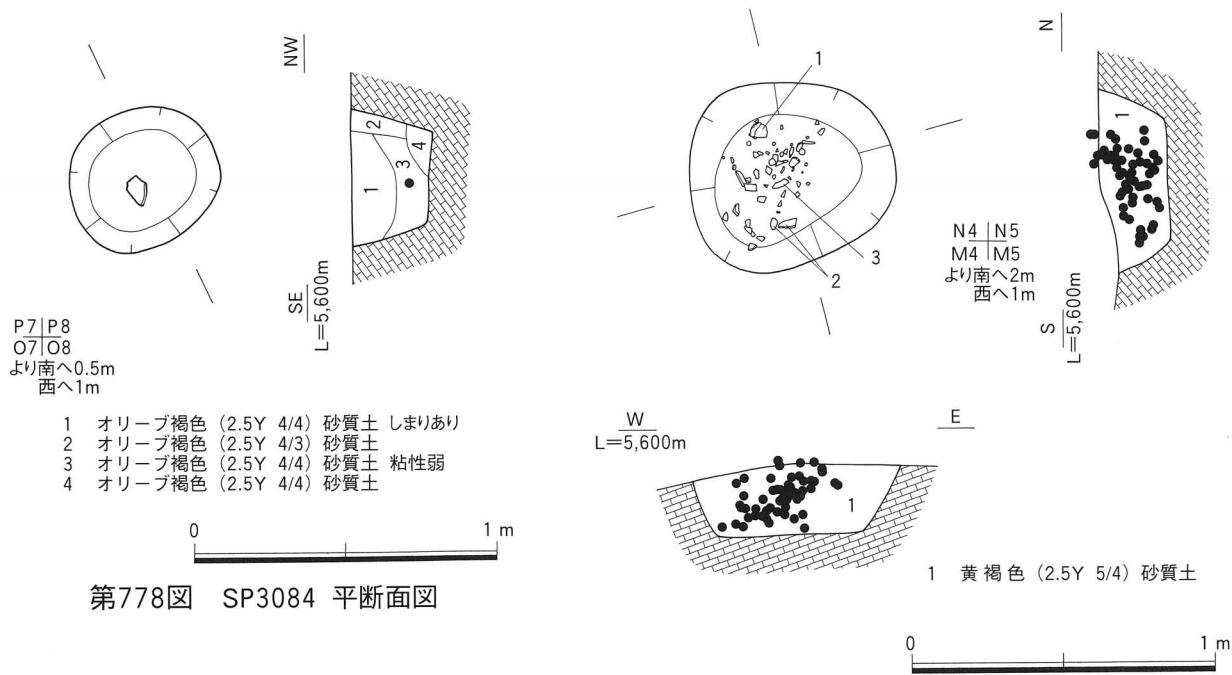
は逆台形である。

土層 3層に分層される。

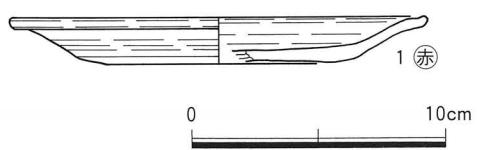
遺物出土状況 遺構検出面上面～1層にかけて出土した。

出土遺物 1は須恵器の壺である。2は土馬である。

時期 出土した遺物から奈良時代と考えられる。



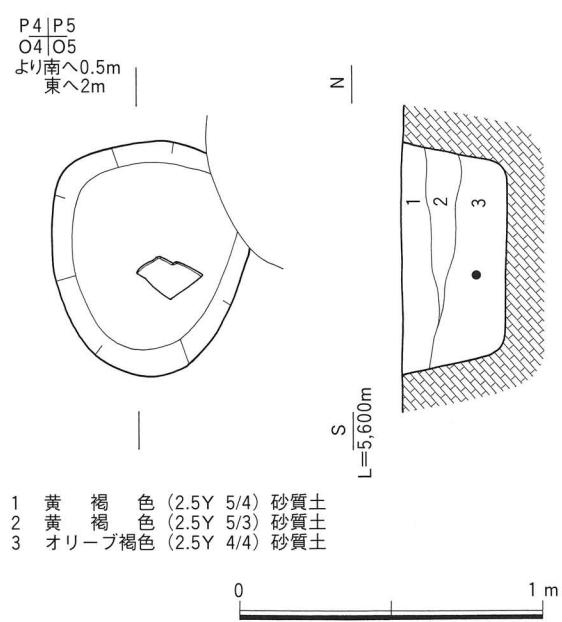
第780図 SP3123 平断面図



第779図 SP3084 出土遺物

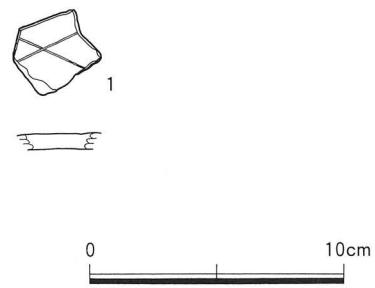


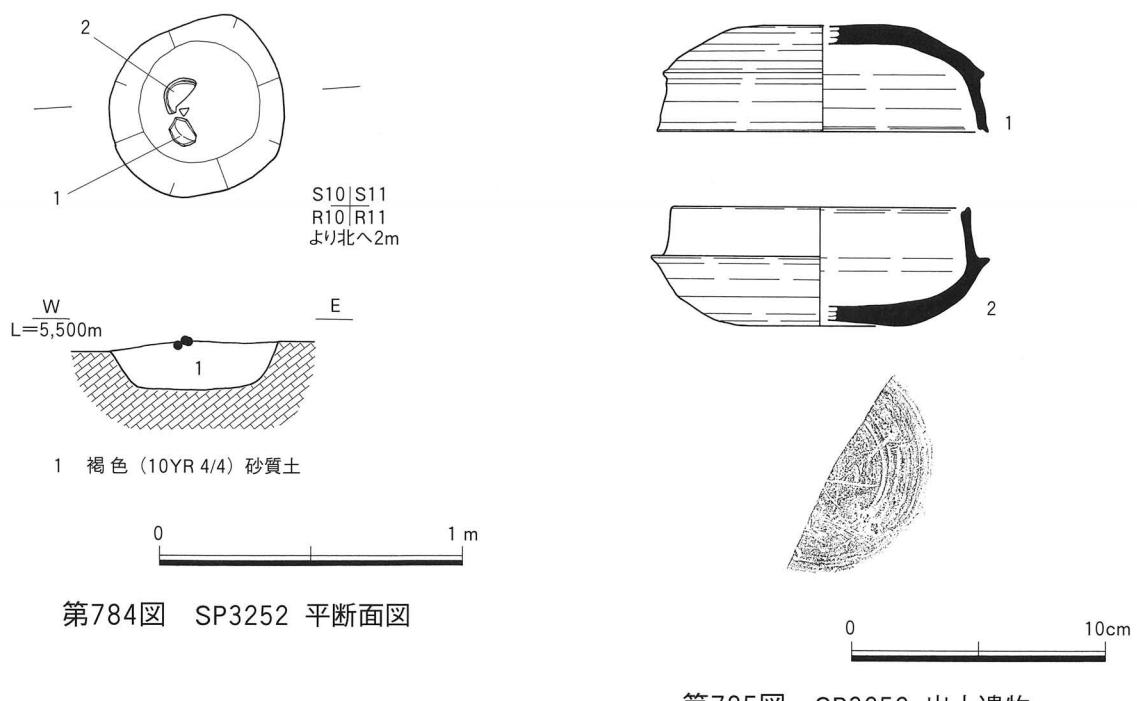
第781図 SP3123 出土遺物



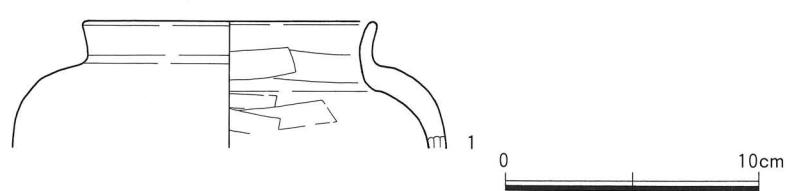
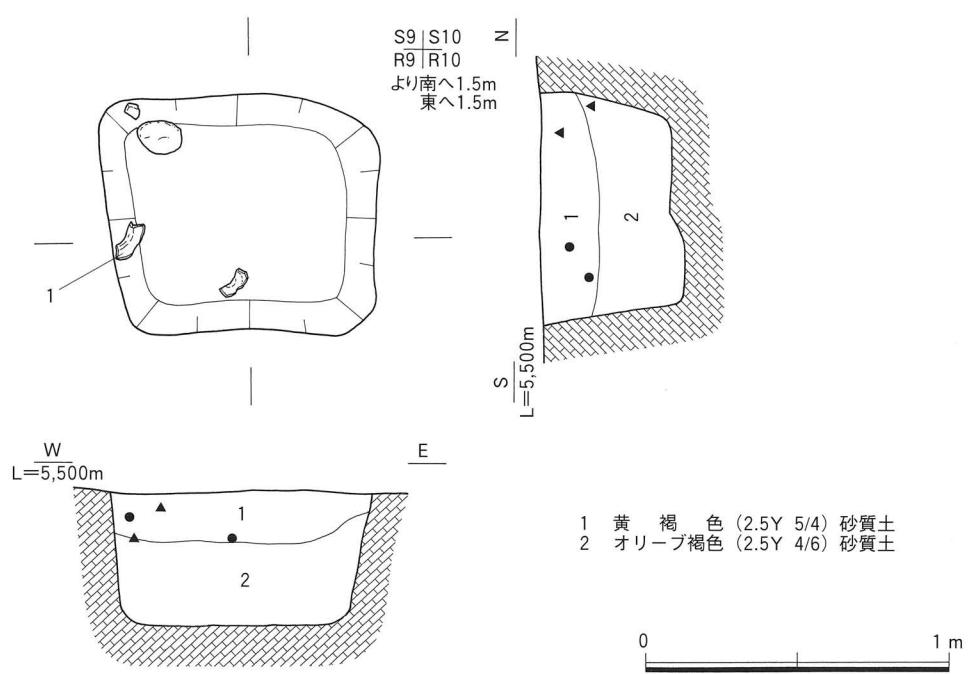
第782図 SP3139 平断面図

第783図 SP3139 出土遺物





第785図 SP3252 出土遺物



第787図 SP3266 出土遺物

20号小穴 (SP3020) (第772・773図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢN10・11グリッド

形態・規模 長軸1.15m、短軸0.82m、深さ0.38mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。北側は調査区外に延びている。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面上面から出土している。

出土遺物 1は須恵器の蓋である。

時期 出土した遺物から奈良時代と考えられる。

45号小穴 (SP3045) (第774・775図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢM9グリッド

形態・規模 長軸1.02m、短軸0.80m(残存値)、深さ0.54mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。南側は調査区外に延びている。断面形状は逆台形である。

土層 4層に分層される。

遺物出土状況 北西隅より検出された。

出土遺物 1は土師器の皿である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

73号小穴 (SP3073) (第776・777図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢO9グリッド

形態・規模 長軸1.13m、短軸0.60m、深さ0.46mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 5層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面付近から出土している。

出土遺物 1は土師器の高杯である。

時期 出土した遺物から奈良時代以降と考えられる。

84号小穴 (SP3084) (第778・779図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αⅢO7・P7グリッド

形態・規模 長軸0.50m、短軸0.46m、深さ0.25mを測り、平面形状は円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 4層に分層される。

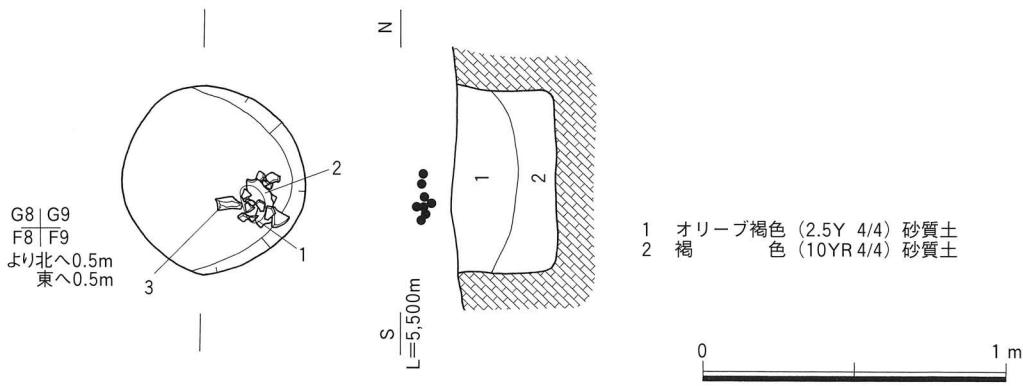
遺物出土状況 2層中より検出された。

出土遺物 1は土師器の皿である。

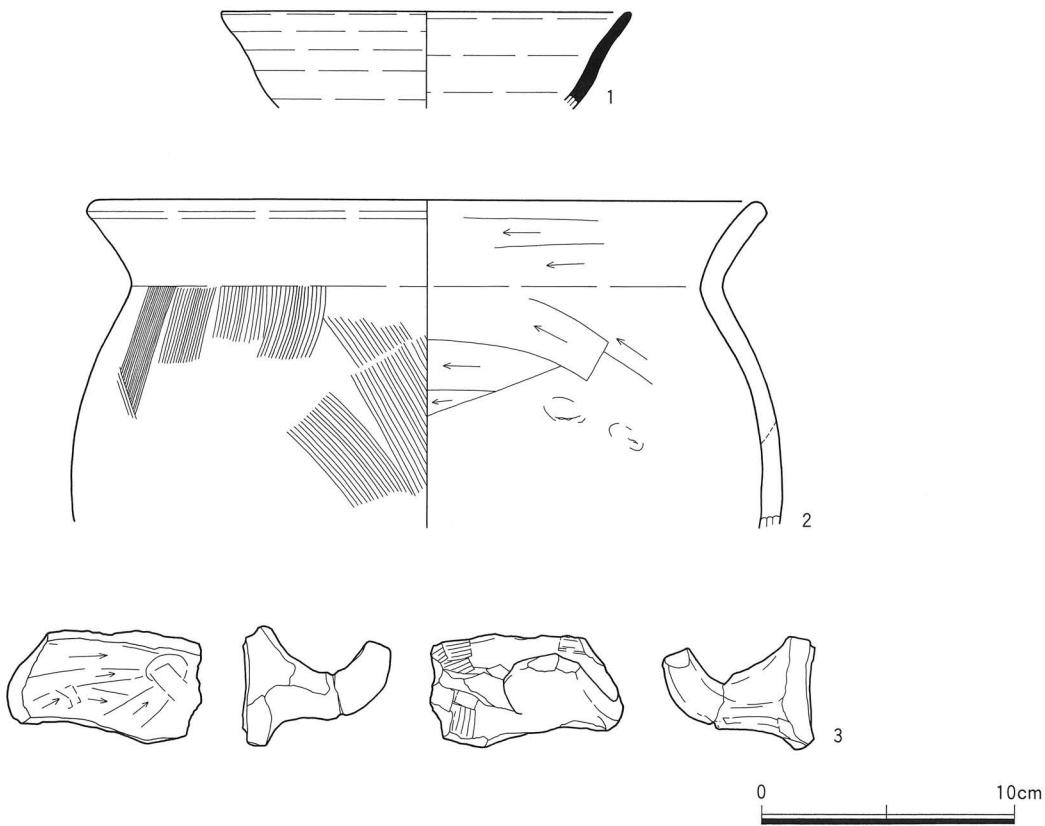
時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

123号小穴 (SP3123) (第780・781図)

検出場所 1999年度調査2-1区 Loc.G1・αⅢM4グリッド



第788図 SP3435 平断面図



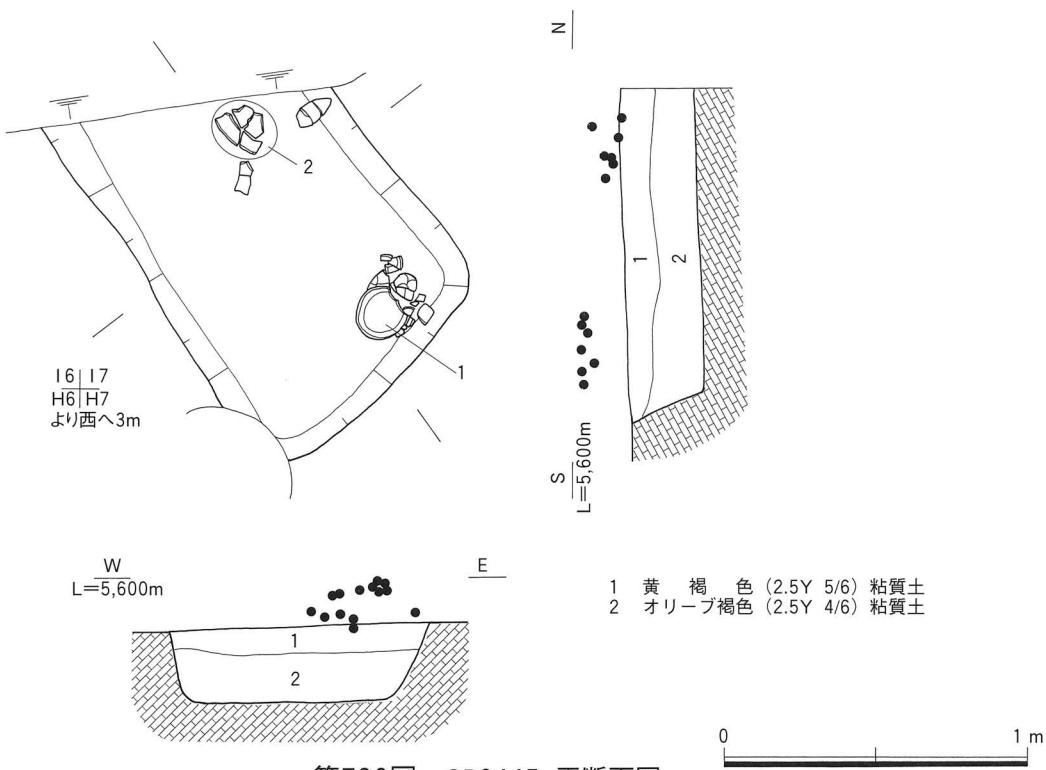
第789図 SP3435 出土遺物

形態・規模 長軸0.71m、短軸0.60m、深さ0.22mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

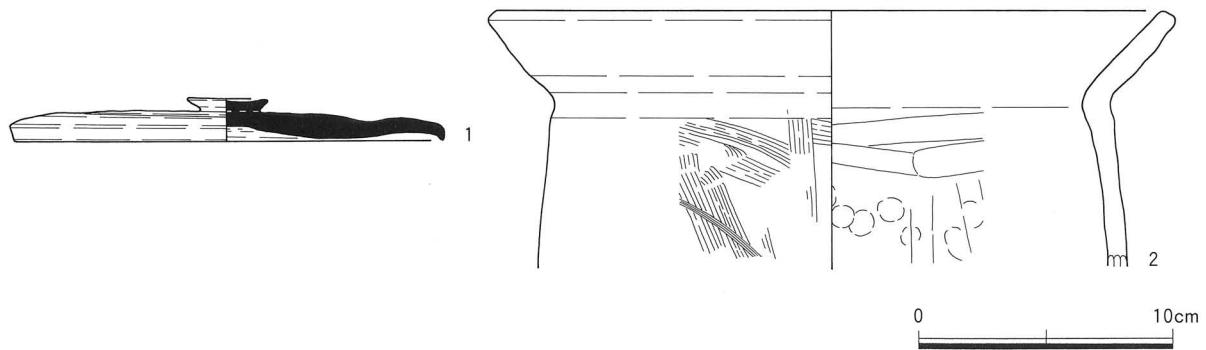
土層 1層である。

遺物出土状況 中央部にまとまって検出されている。

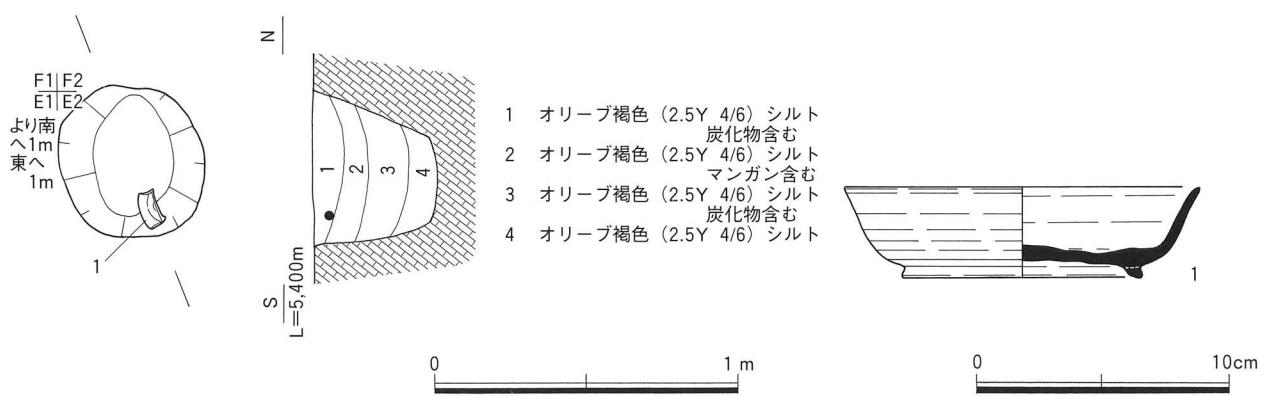
出土遺物 1、2は土師器の小皿である。3は土師器の皿の脚台部である。



第790図 SP3445 平断面図



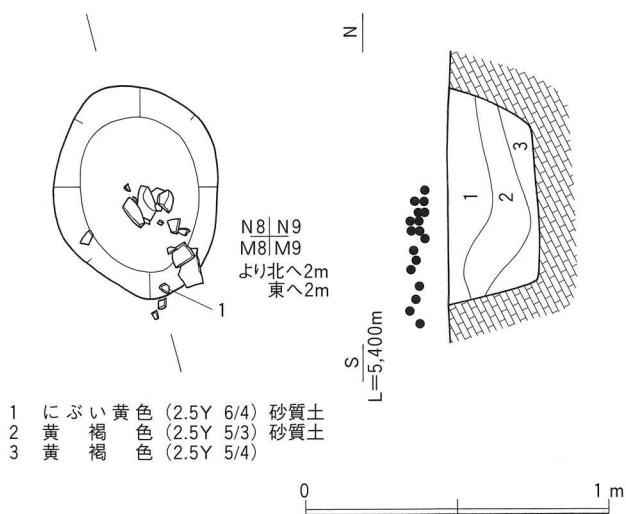
第791図 SP3445 出土遺物



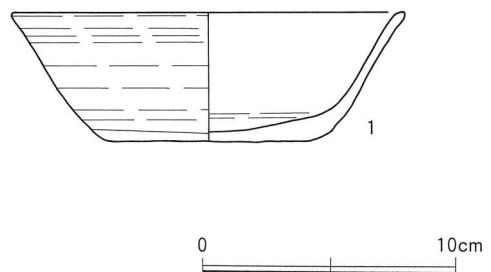
第792図 SP3458 平断面図



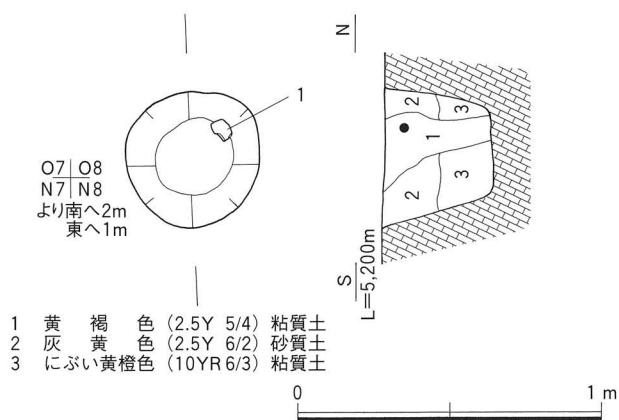
第793図 SP3458 出土遺物



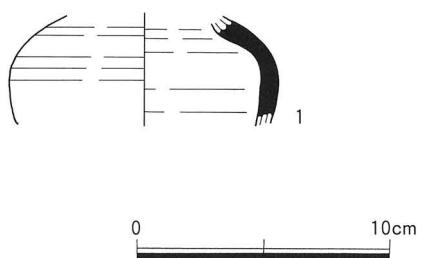
第794図 SP3561 平断面図



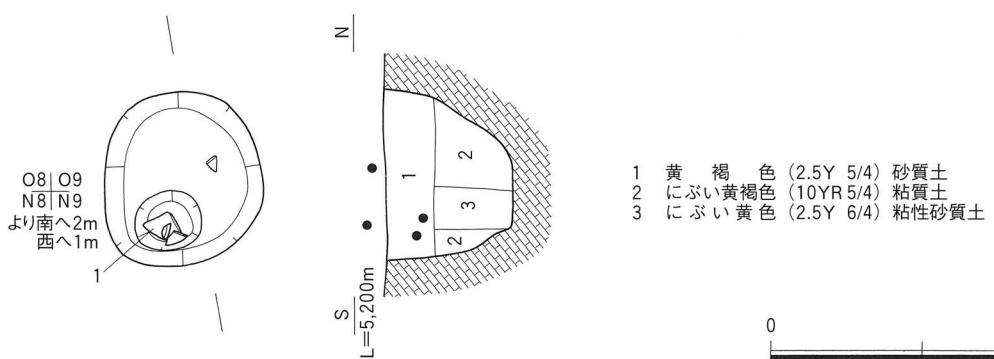
第795図 SP3561 出土遺物



第796図 SP3569 平断面図



第797図 SP3569 出土遺物



第798図 SP3575 平断面図



第799図 SP3575 出土遺物

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

139号小穴 (SP3139) (第782・783図)

検出場所 1999年度調査2-3区 Loc.G1・αIII O5グリッド

形態・規模 長軸0.76m、短軸0.60m、深さ0.34mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 3層中より検出された。

出土遺物 1は刻書を有する土師器である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

252号小穴 (SP3252) (第784・785図)

検出場所 1998年度調査6区 Loc.G1・αIII S10グリッド

形態・規模 長軸0.63m、短軸0.59m、深さ0.16mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 1層である。

遺物出土状況 遺構検出面上から出土した。

出土遺物 1は須恵器の杯蓋である。2は須恵器の杯身である。外面底部にヘラ記号を持つ。

時期 出土した遺物から古墳時代後期初頭（6世紀第4四半期・TK43並行期）と考えられる。

266号小穴 (SP3266) (第786・787図)

検出場所 1998年度調査6区 Loc.G1・αIII R10グリッド

形態・規模 長軸0.88m、短軸0.81m、深さ0.48mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 1層中より検出された。

出土遺物 1は土師器の壺である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

435号小穴 (SP3435) (第788・789図)

検出場所 1998年度調査6区 Loc.G1・βIII G9グリッド

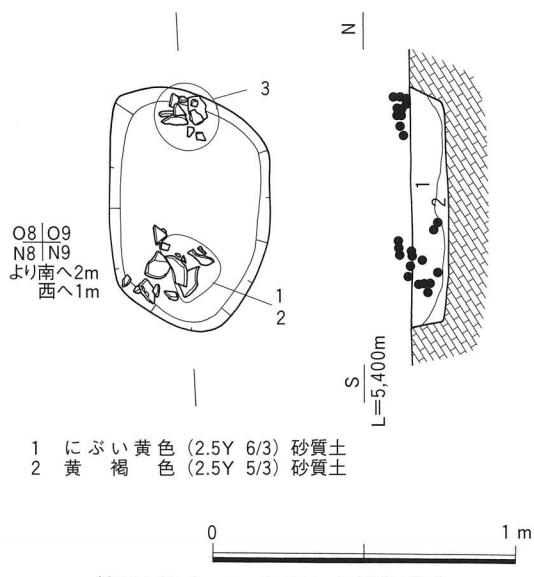
形態・規模 長軸0.61m、短軸0.59m、深さ0.34mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は長方形である。

土層 2層に分層される。

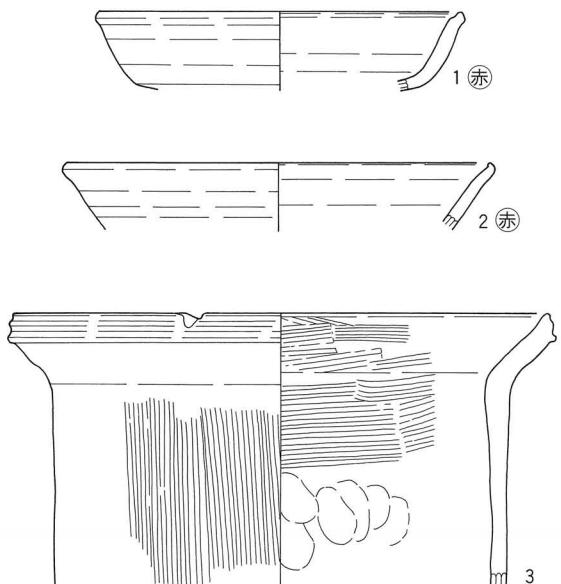
遺物出土状況 遺構検出面上方より出土した。

出土遺物 1は土師器の杯である。2は土師器の甕である。3は把手部である。

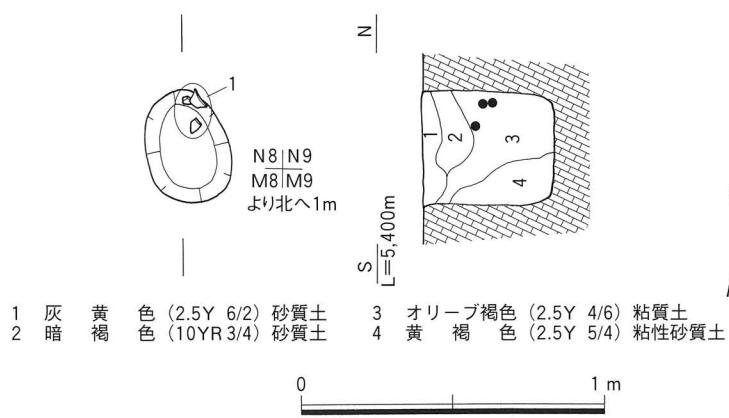
時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。



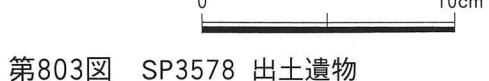
第800図 SP3576 平断面図



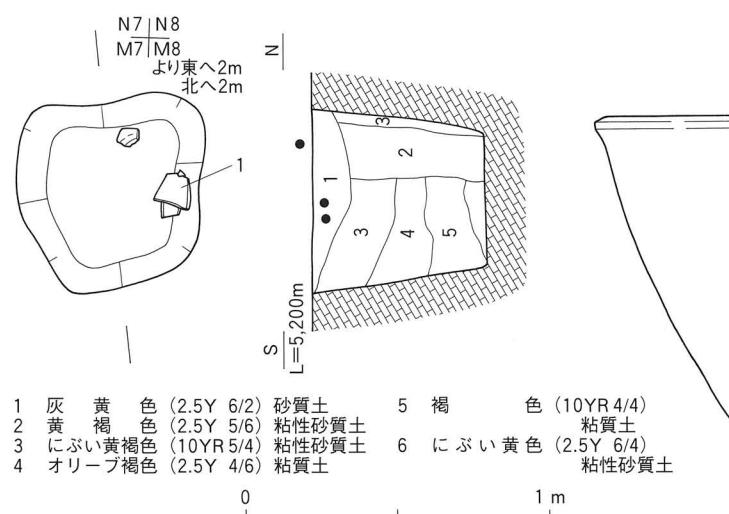
第801図 SP3576 出土遺物



第802図 SP3578 平断面図



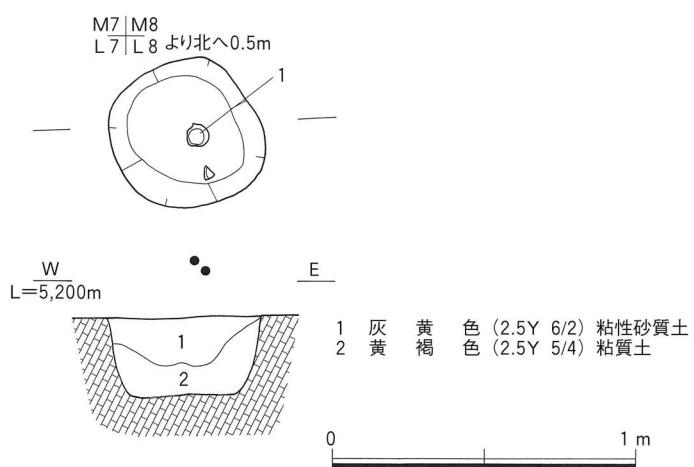
第803図 SP3578 出土遺物



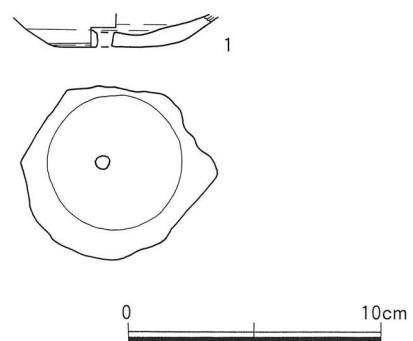
第804図 SP3579 平断面図



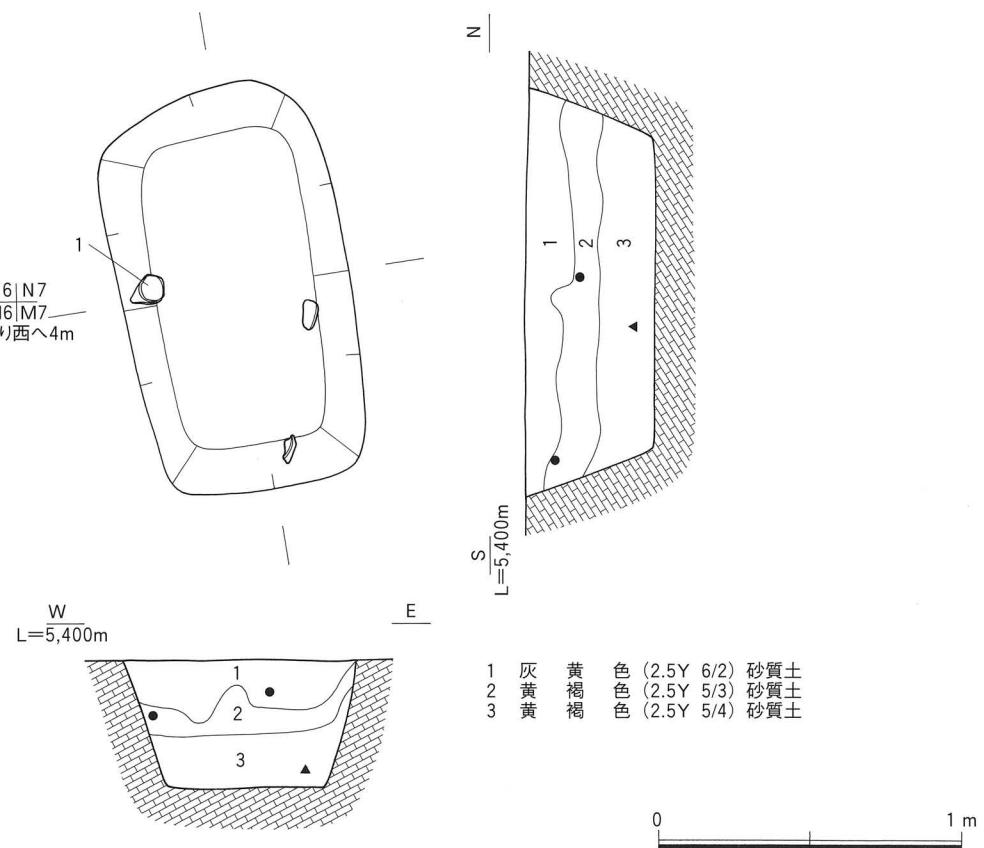
第805図 SP3579 出土遺物



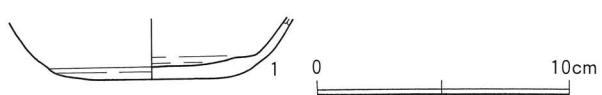
第806図 SP3602 平断面図



第807図 SP3602 出土遺物



第808図 SP3612 平断面図



第809図 SP3612 出土遺物

445号小穴 (SP3445) (第790・791図)

検出場所 1999年度調査4区 Loc.G1・βIII16・H6グリッド

形態・規模 長軸1.36m(残存値)、短軸0.90m、深さ0.22mを測り、平面形状は長方形を呈するとみられる。北側は調査区外に延びている。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面上方より出土した。

出土遺物 1は須恵器の蓋である。2は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

458号小穴 (SP3458) (第792・793図)

検出場所 2003年度調査2-1区 Loc.G1・βIII E2グリッド

形態・規模 長軸0.57m、短軸0.52m、深さ0.42mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 4層に分層される。

遺物出土状況 1層中より検出された。

出土遺物 1は須恵器の杯である。

時期 出土した遺物から奈良時代と考えられる。

561号小穴 (SP3561) (第794・795図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βIII N9グリッド

形態・規模 長軸0.72m、短軸0.55m、深さ0.30mを測り、平面形状は橢円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面上方より出土した。

出土遺物 1は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

569号小穴 (SP3569) (第796・797図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βIII N8グリッド

形態・規模 長軸0.48m、短軸0.48m、深さ0.36mを測り、平面形状は円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

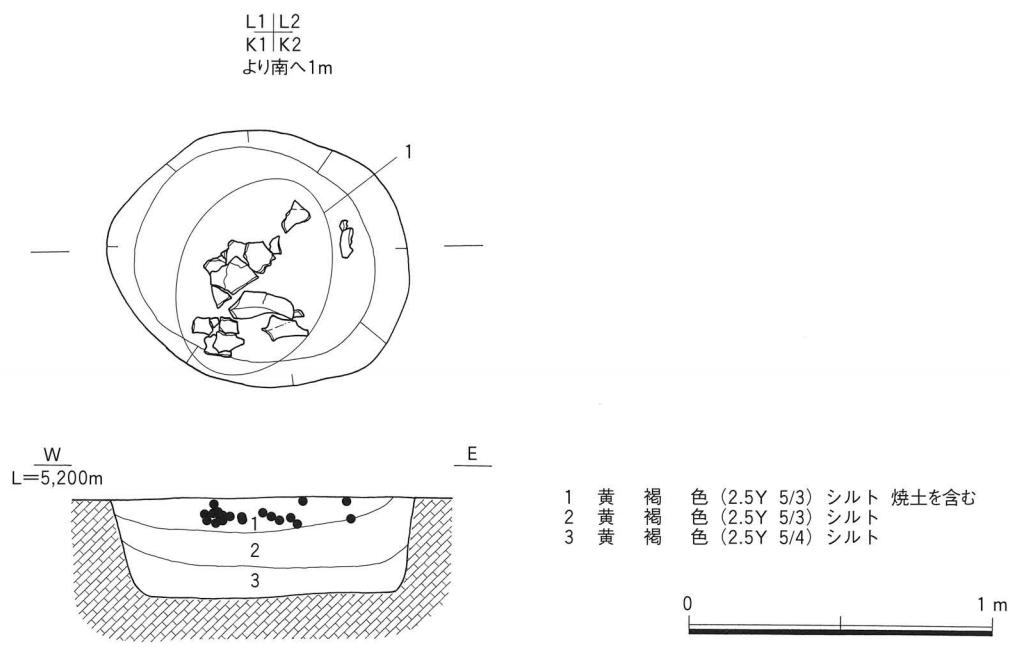
遺物出土状況 1層中より検出された。

出土遺物 1は須恵器の甕である。

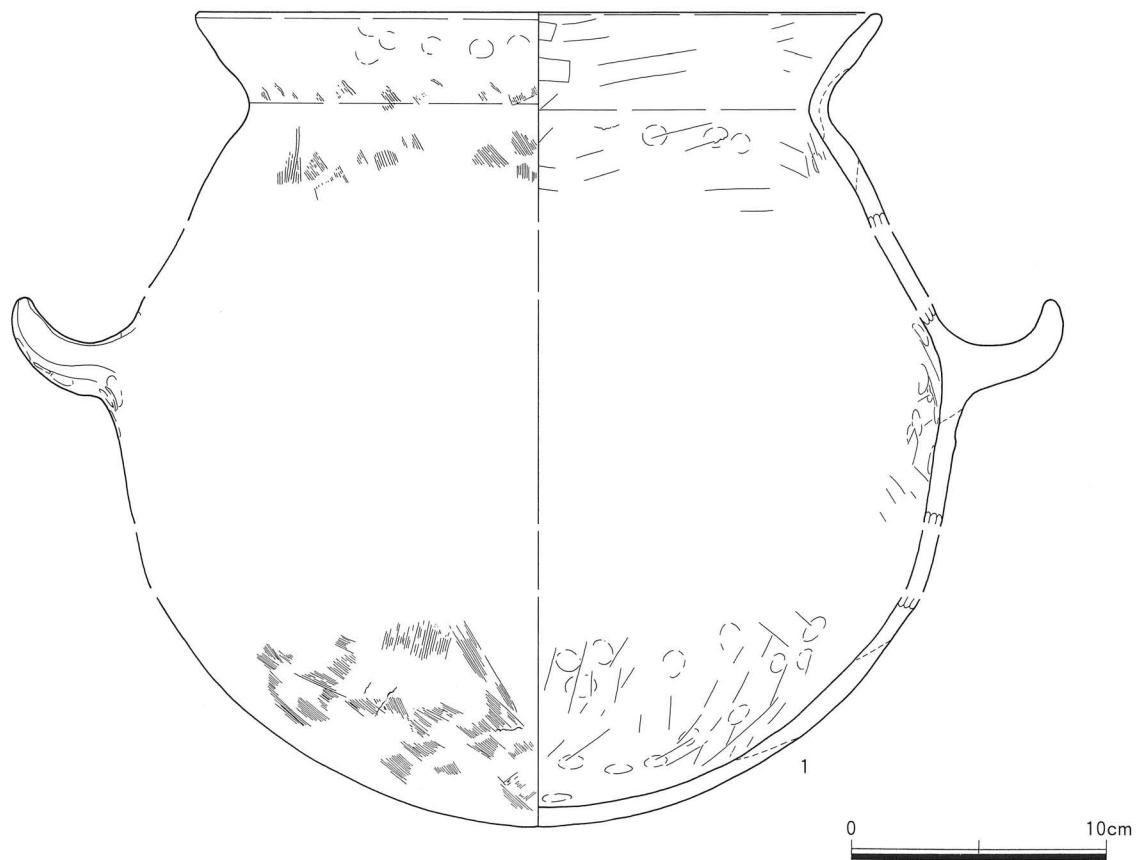
時期 出土した遺物から古墳時代以降と考えられる。

575号小穴 (SP3575) (第798・799図)

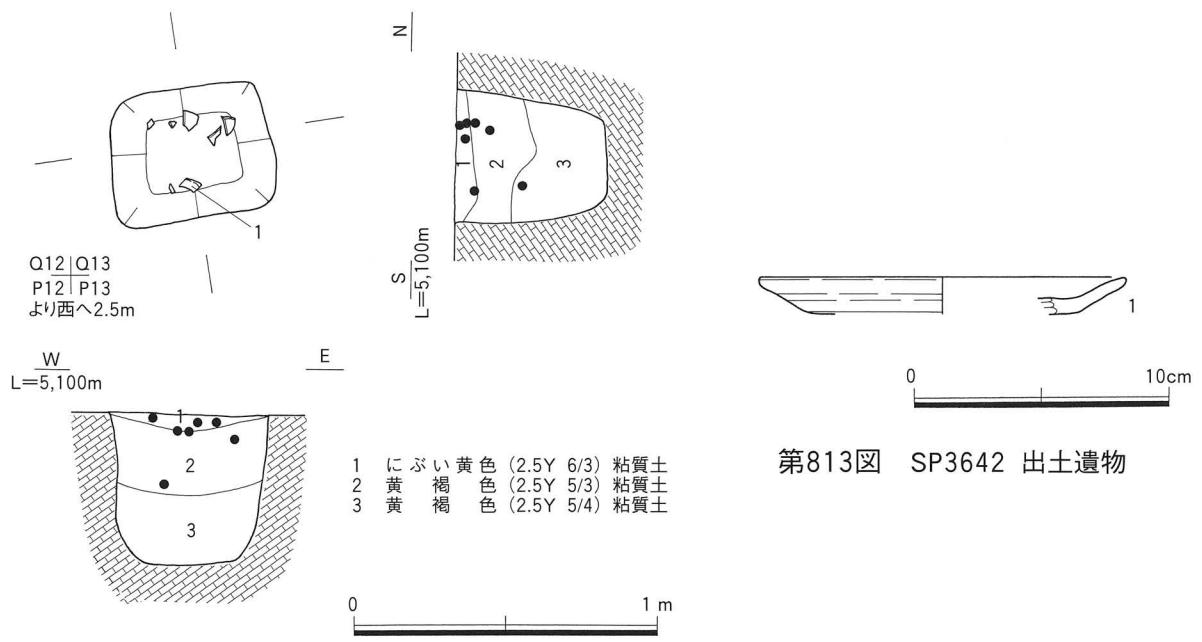
検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βIII N8グリッド



第810図 SP3639 平断面図

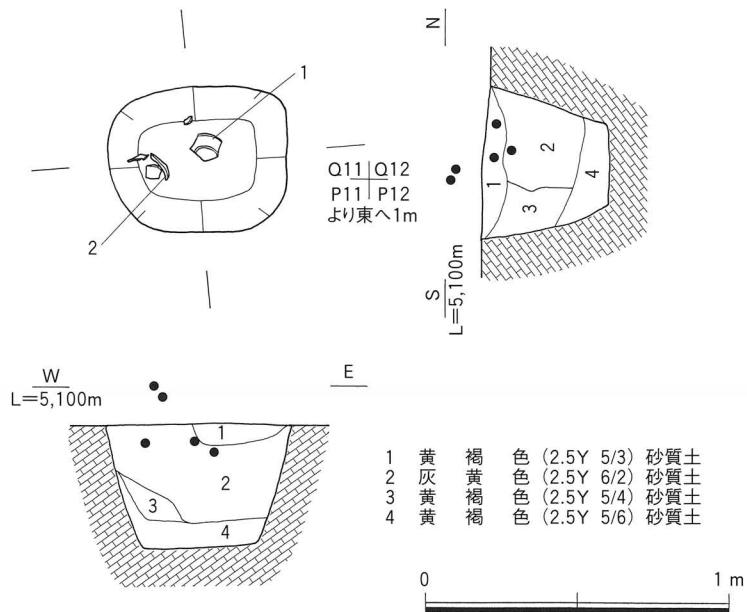


第811図 SP3639 出土遺物

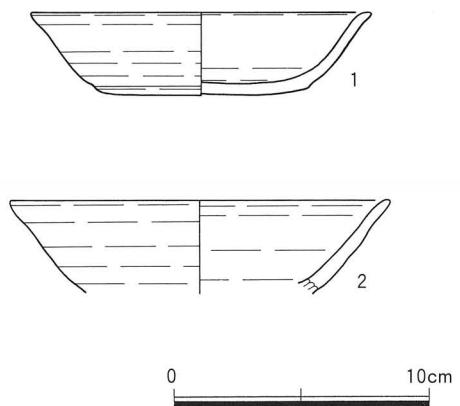


第812図 SP3642 平断面図

第813図 SP3642 出土遺物



第814図 SP3655 平断面図

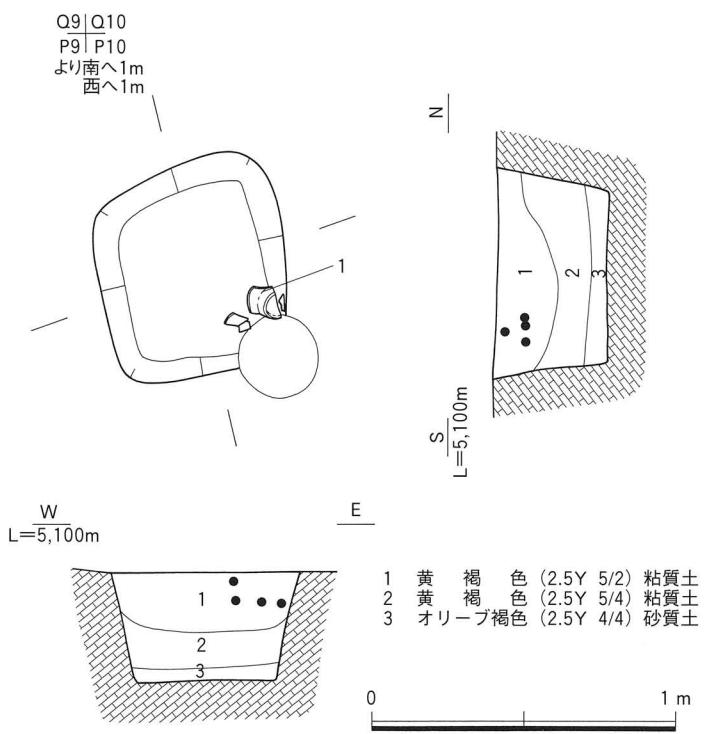


第815図 SP3655 出土遺物

形態・規模 長軸0.58m、短軸0.52m、深さ0.41mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。中央からやや南寄りに柱痕を有する。

土層 3層に分層される。

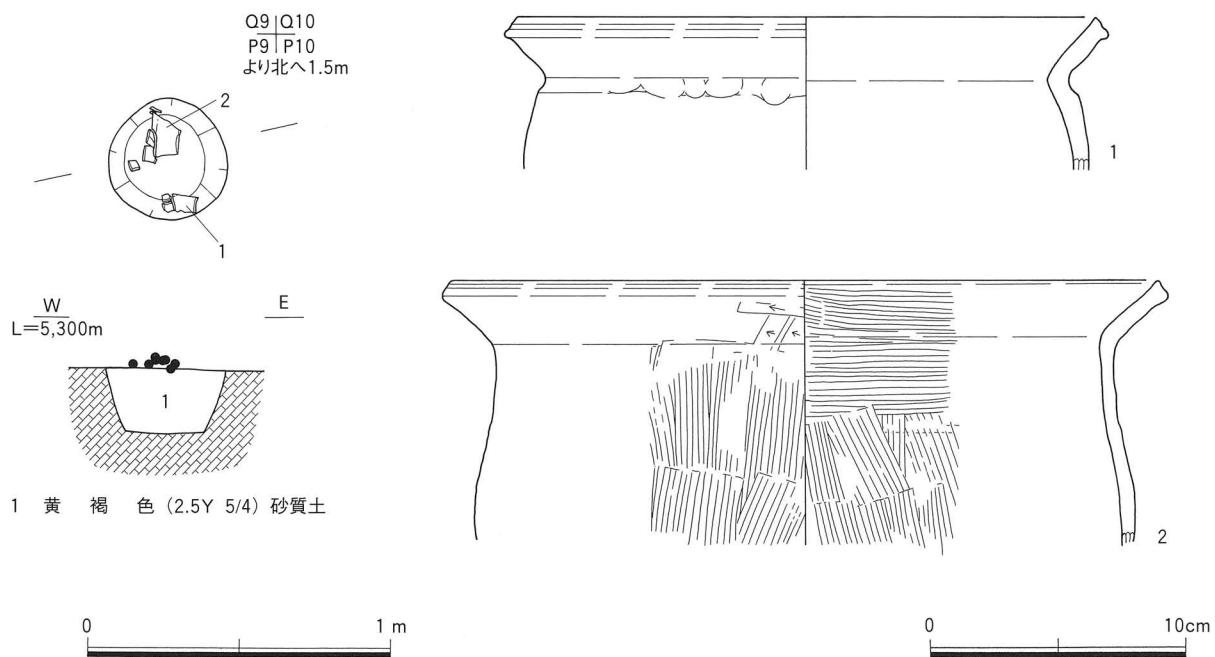
遺物出土状況 1層を中心に検出された。



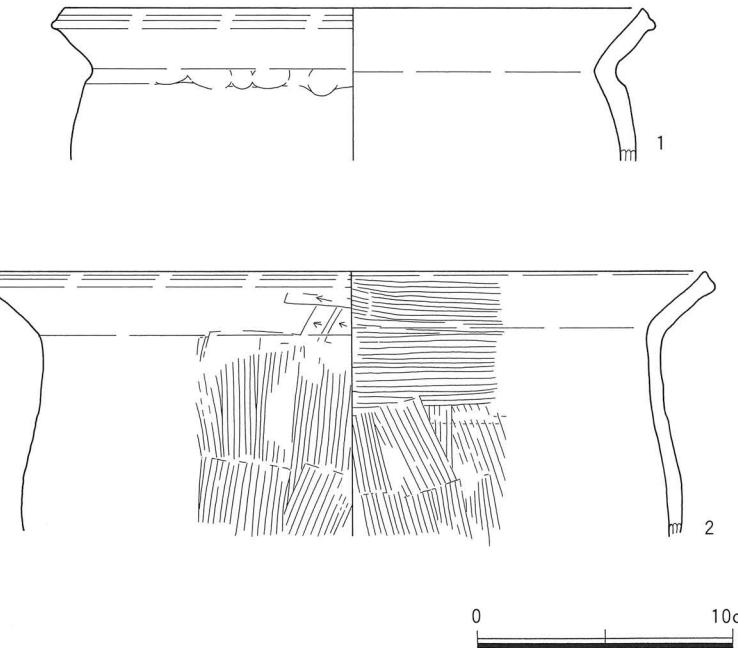
第816図 SP3671 平断面図



第817図 SP3671 出土遺物



第818図 SP3674 平断面図



第819図 SP3674 出土遺物

出土遺物 1は土師器の盤である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

576号小穴 (SP3576) (第800・801図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βⅢN8グリッド

形態・規模 長軸0.85m、短軸0.56m、深さ0.11mを測り、平面形状は橢円形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 南北2ヶ所に分かれて検出された。

出土遺物 1、2は土師器の杯である。3は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から奈良～平安時代と考えられる。

578号小穴 (SP3578) (第802・803図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βⅢN8グリッド

形態・規模 長軸0.43m、短軸0.34m、深さ0.42mを測り、平面形状は橢円形を呈する。断面形状は長方形である。

土層 4層に分層される。

遺物出土状況 3層中より検出された。

出土遺物 1は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

579号小穴 (SP3579) (第804・805図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βⅢN8グリッド

形態・規模 長軸0.64m、短軸0.61m、深さ0.58mを測り、平面形状はやや不整な隅丸方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 6層に分層される。

遺物出土状況 1層中より検出された。

出土遺物 1は土師器の鉢である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

602号小穴 (SP3602) (第806・807図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βⅢM7・8グリッド

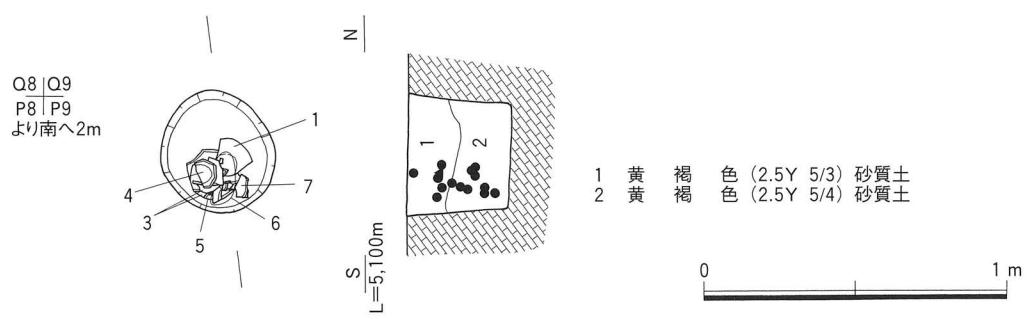
形態・規模 長軸0.51m、短軸0.46m、深さ0.26mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

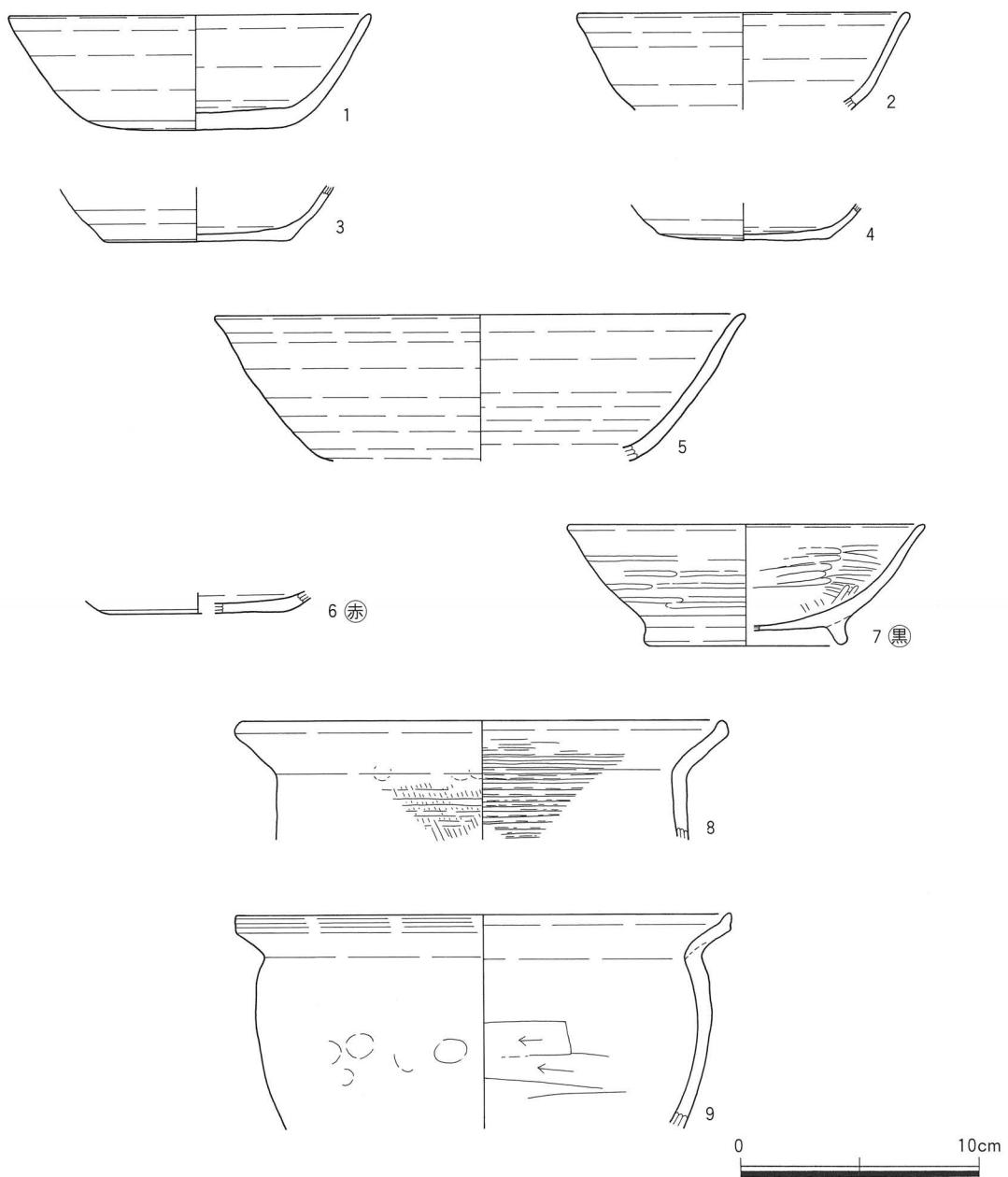
遺物出土状況 遺構検出面上方より出土している。

出土遺物 1は土師器の杯である。底部に焼成前穿孔を施している。

時期 出土した遺物から古代と考えられる。



第820図 SP3688 平断面図



第821図 SP3688 出土遺物

612号小穴 (SP3612) (第808・809図)

検出場所 1998年度調査7区 Loc.G1・βIII M6・N6 グリッド

形態・規模 長軸1.30m、短軸0.78m、深さ0.42mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 2～3層を中心として検出された。

出土遺物 1は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

639号小穴 (SP3639) (第810・811図)

検出場所 2003年度調査2-2区 Loc.G1・βIII K1・2 グリッド

形態・規模 長軸1.00m、短軸0.82m、深さ0.34mを測り、平面形状は橢円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 1層中より検出された。

出土遺物 1は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

642号小穴 (SP3642) (第812・813図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βIII Q12 グリッド

形態・規模 長軸0.51m、短軸0.42m、深さ0.50mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 1～2層中を中心として検出された。

出土遺物 1は土師器の皿である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

655号小穴 (SP3655) (第814・815図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βIII P12・Q12 グリッド

形態・規模 長軸0.60m、短軸0.48m、深さ0.42mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 4層に分層される。

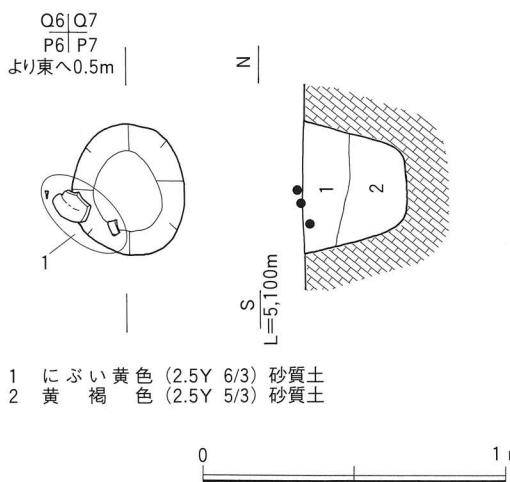
遺物出土状況 遺構検出面から1層中にかけて出土した。

出土遺物 1、2は土師器の杯である。

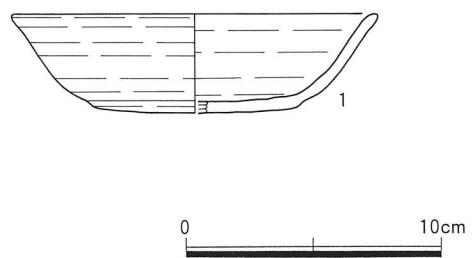
時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

671号小穴 (SP3671) (第816・817図)

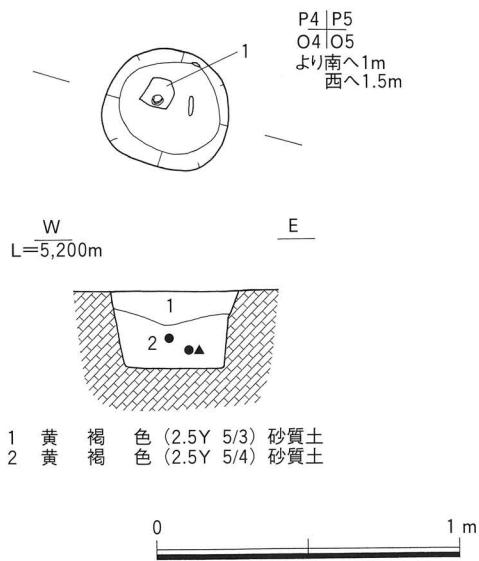
検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βIII P9 グリッド



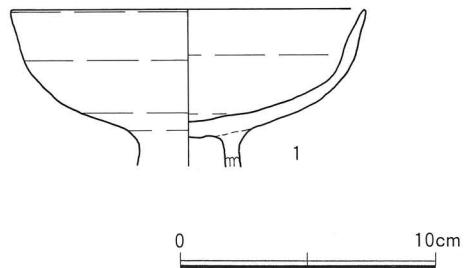
第822図 SP3713 平断面図



第823図 SP3713 出土遺物



第824図 SP3722 平断面図



第825図 SP3722 出土遺物

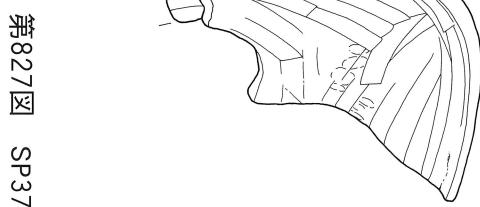
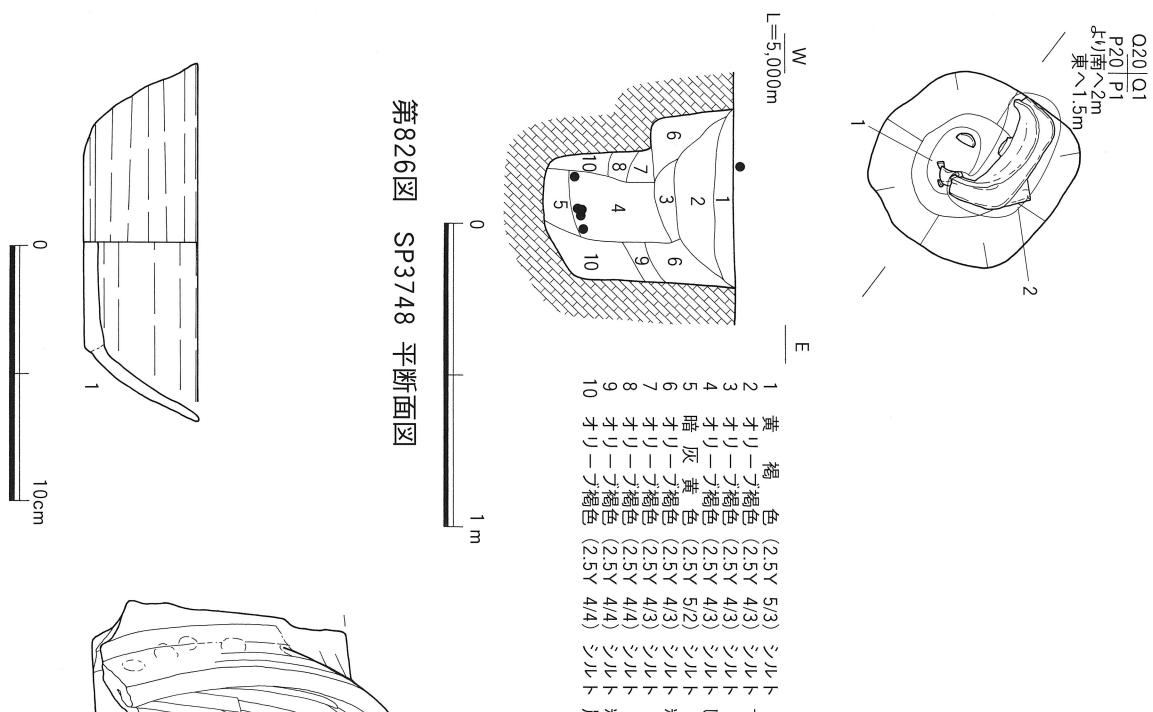
形態・規模 長軸0.68m、短軸0.60m、深さ0.38mを測り、平面形状は隅丸長方形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

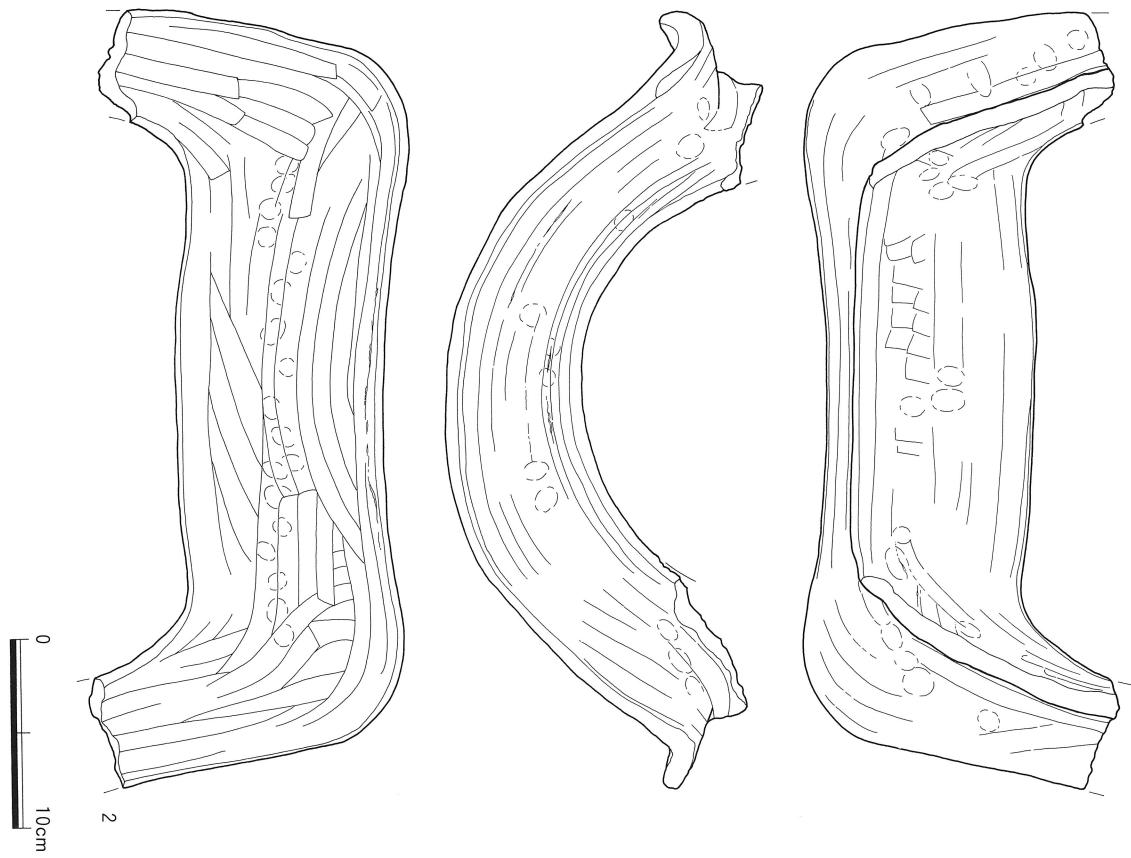
遺物出土状況 南東隅より検出された。

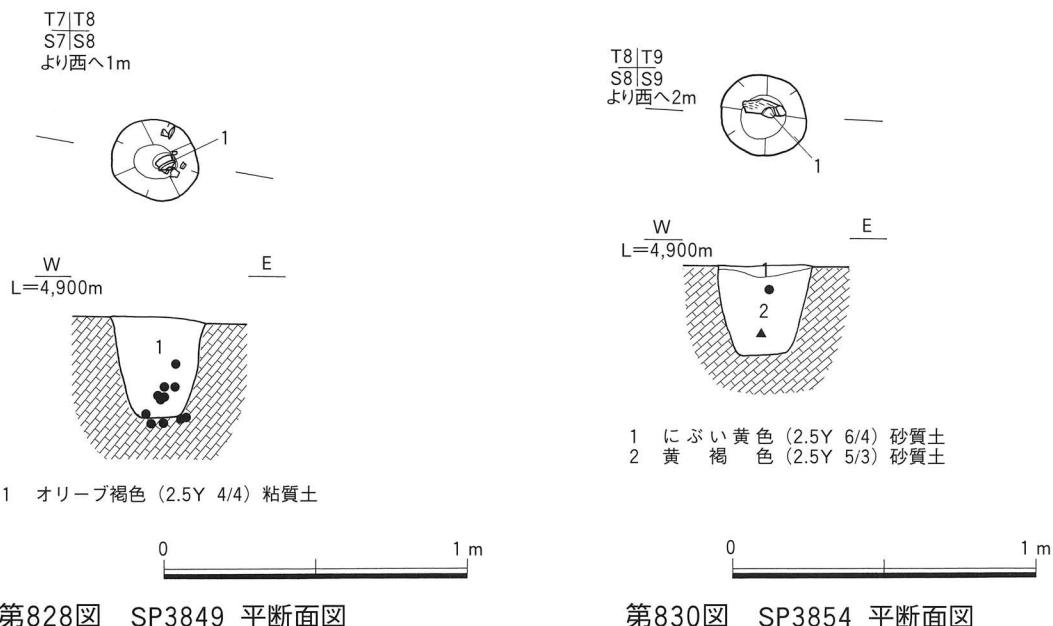
出土遺物 1は須恵器の杯である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。



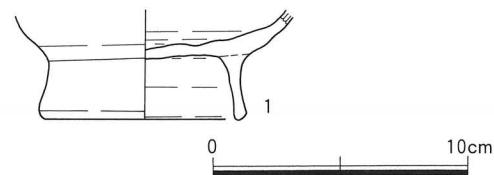
第827図 SP3748 出土遺物



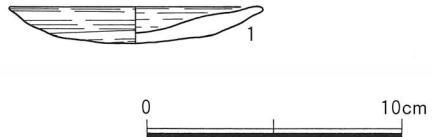


第828図 SP3849 平断面図

第830図 SP3854 平断面図



第829図 SP3849 出土遺物



第831図 SP3854 出土遺物

674号小穴 (SP3674) (第818・819図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βIIIQ9グリッド

形態・規模 長軸0.40m、短軸0.40m、深さ0.22mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 1層である。

遺物出土状況 遺構検出面より出土した。

出土遺物 1、2は土師器の甕である。

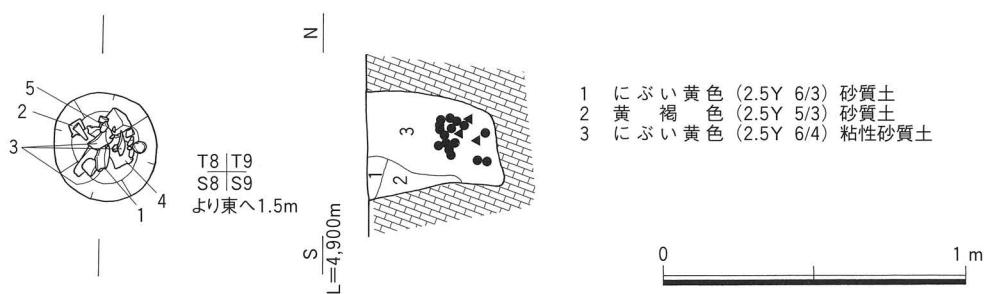
時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

688号小穴 (SP3688) (第820・821図)

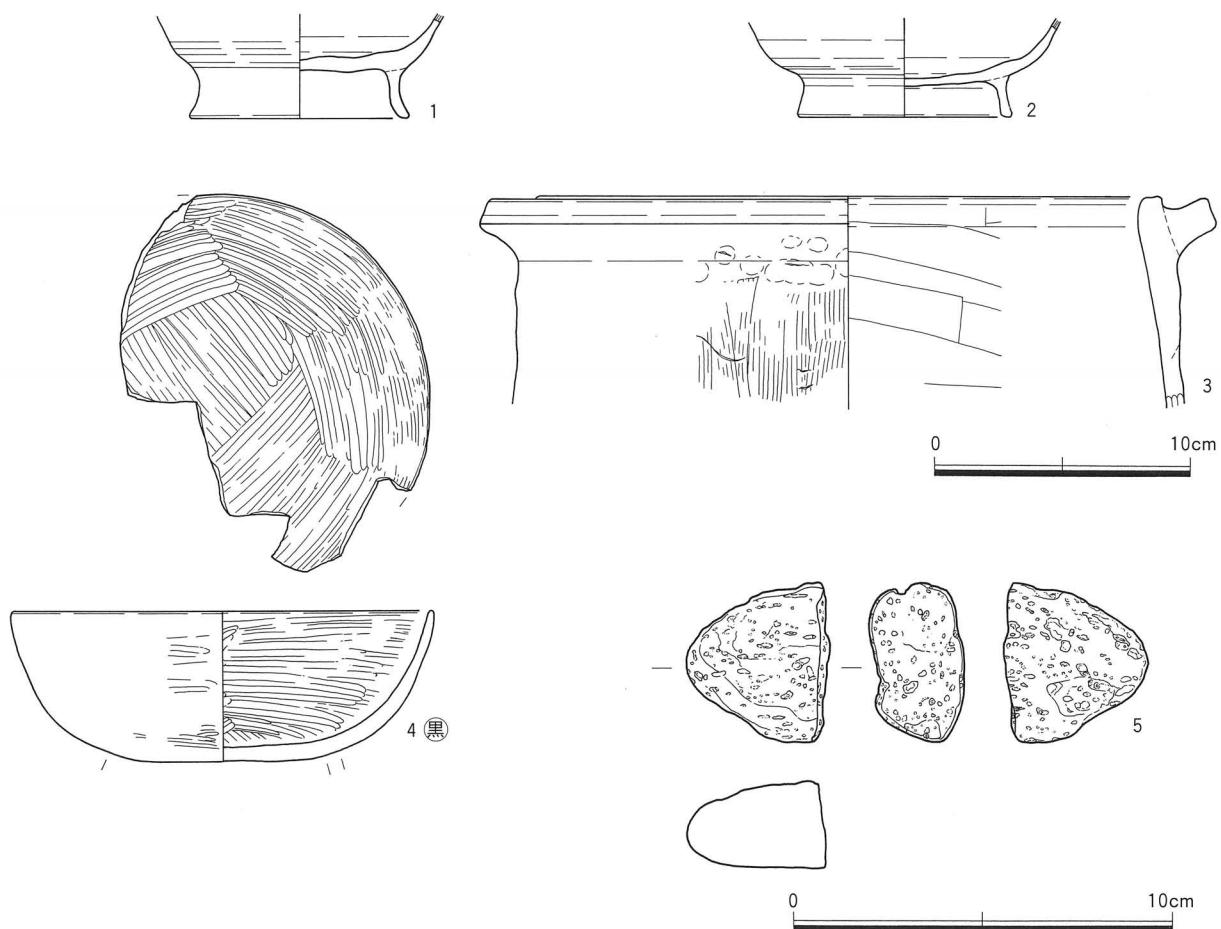
検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βIIIP9グリッド

形態・規模 長軸0.39m、短軸0.35m、深さ0.34mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。



第832図 SP3855 平断面図



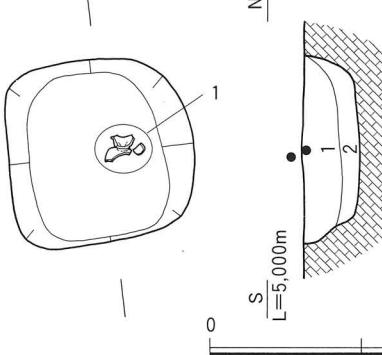
第833図 SP3855 出土遺物

遺物出土状況 1～2層にかけて検出された。

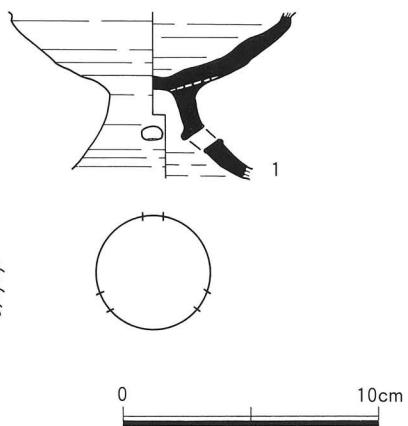
出土遺物 1～4は土師器の杯である。5は土師器の鉢である。6は土師器の皿である。7は黒色土器の椀である。8、9は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

B18|B19
A18|A19
より東へ2m

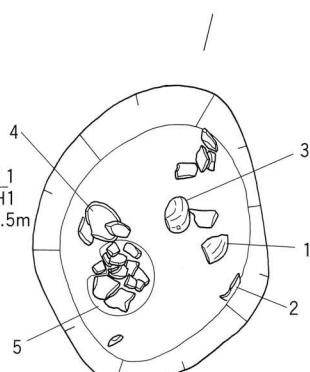


第834図 SP3939 平断面図

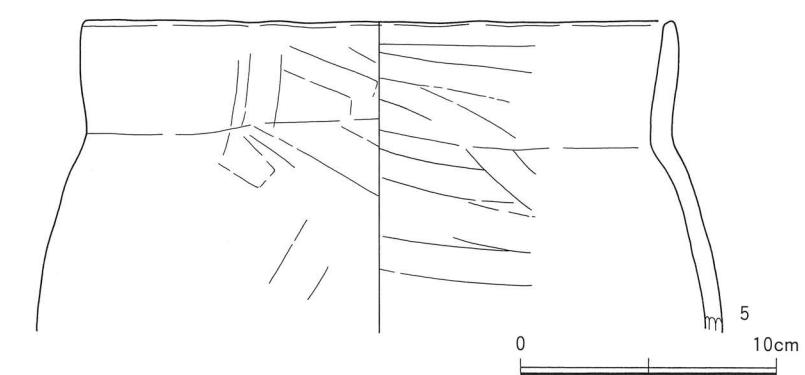
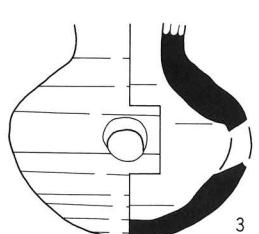
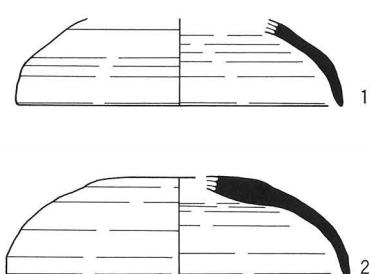


第835図 SP3939 出土遺物

I20|I1
H20|H1
より東へ0.5m



第836図 SP31129 平断面図



第837図 SP31129 出土遺物

713号小穴 (SP3713) (第822・823図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢP7グリッド

形態・規模 長軸0.46m、短軸0.39m、深さ0.33mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面より出土した。

出土遺物 1は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

722号小穴 (SP3722) (第824・825図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢP7グリッド

形態・規模 長軸0.41m、短軸0.36m、深さ0.25mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 2層中より検出された。

出土遺物 1は土師器の高杯である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

748号小穴 (SP3748) (第826・827図)

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・βⅢP1グリッド

形態・規模 長軸0.61m、短軸0.60m、深さ0.62mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は二段形である。

土層 10層に分層される。

遺物出土状況 置き竈が遺構検出面より出土しており、その他の遺物は下部の4層中より出土した。

出土遺物 1は土師器の杯である。2は竈である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

849号小穴 (SP3849) (第828・829図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢS7グリッド

形態・規模 長軸0.31m、短軸0.28m、深さ0.34mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 1層である。

遺物出土状況 底面付近を中心で検出された。

出土遺物 1は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

854号小穴 (SP3854) (第830・831図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢS8グリッド

形態・規模 長軸0.32m、短軸0.28m、深さ0.30mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 2層中より検出された。

出土遺物 1は土師器の小皿である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

855号小穴 (SP3855) (第832・833図)

検出場所 1998年度調査8区 Loc.G1・βⅢ S9・T9グリッド

形態・規模 直径0.36m、深さ0.42mを測り、平面形状はほぼ円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 底面付近からまとまって検出された。

出土遺物 1、2は土師器の杯である。3は土師器の羽釜である。4は黒色土器の椀である。5は軽石である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

939号小穴 (SP3939) (第834・835図)

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・γⅡ A19グリッド

形態・規模 長軸0.61m、短軸0.60m、深さ0.18mを測り、平面形状は隅丸方形を呈する。断面形状は皿形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面から出土した。

出土遺物 1は須恵器の高杯である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期と考えられる。

1129号小穴 (SP31129) (第836・837図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅢ H1・I1グリッド

形態・規模 長軸0.99m、短軸0.82m、深さ0.32mを測り、平面形状は橢円形を呈する。断面形状は逆台形である。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 1層下部を中心に検出された。

出土遺物 1、2は須恵器の杯蓋である。3は須恵器の壺である。4は須恵器の壺である。5は土師器の甕である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217並行期）と考えられる。

⑧ 溝

2号溝 (SD3002) (第838~840図)

検出場所 1999年調査2-3区

形態・規模 南北方向に向いており、残存する延長距離は3.90m、幅は0.65m、深さは0.16mを測る。断面形状は皿状を呈する。

土層 4層に分層される。

遺物出土状況 南端部分を中心にまとまって検出されている。

出土遺物 1は土師器の杯である。2は土師器の皿である。3～5は製塙土器である。

時期 出土した遺物から奈良時代と考えられる。

4号溝 (SD3004) (第841～843図)

検出場所 1999年調査3区

形態・規模 東西方向に向いており、残存する延長距離は9.90m、幅は3.30m、深さは0.41mを測る。断面形状はU字形を呈する。

土層 5層に分層される。

遺物出土状況 Loc.G1・αIII・O20・αIV・O1グリッド周辺より遺物がまとまって出土している。

出土遺物 1～3は須恵器の杯蓋である。4は須恵器の杯身である。5・6は須恵器の壺である。7・8は土師器の甕である。9は土錘である。

時期 古墳時代の遺構を切っているため、須恵器などが多く含まれるが、埋没年代は平安時代以降と考えられる。

6号溝 (SD3006) (第844～847図)

検出場所 1999年調査3区

形態・規模 南北方向に向いており、残存する延長距離は36.45m、幅は1.50m、深さは0.50mを測る。断面形状は逆台形及び逆三角形などを呈する。

土層 9層に分層される。

遺物出土状況 Loc.G1・αIII・N19・20・Q18・R18グリッド周辺より遺物がまとまって出土している。

出土遺物 1は須恵器の杯である。2・3・5は須恵器の壺である。4は須恵器の甕である。6は土師器の杯である。外面底部に刻書を持つ。7は青磁の皿である。

時期 出土した遺物から平安時代以降と考えられる。

7号溝 (SD3007) (第848・849図)

検出場所 1998年調査5-1区

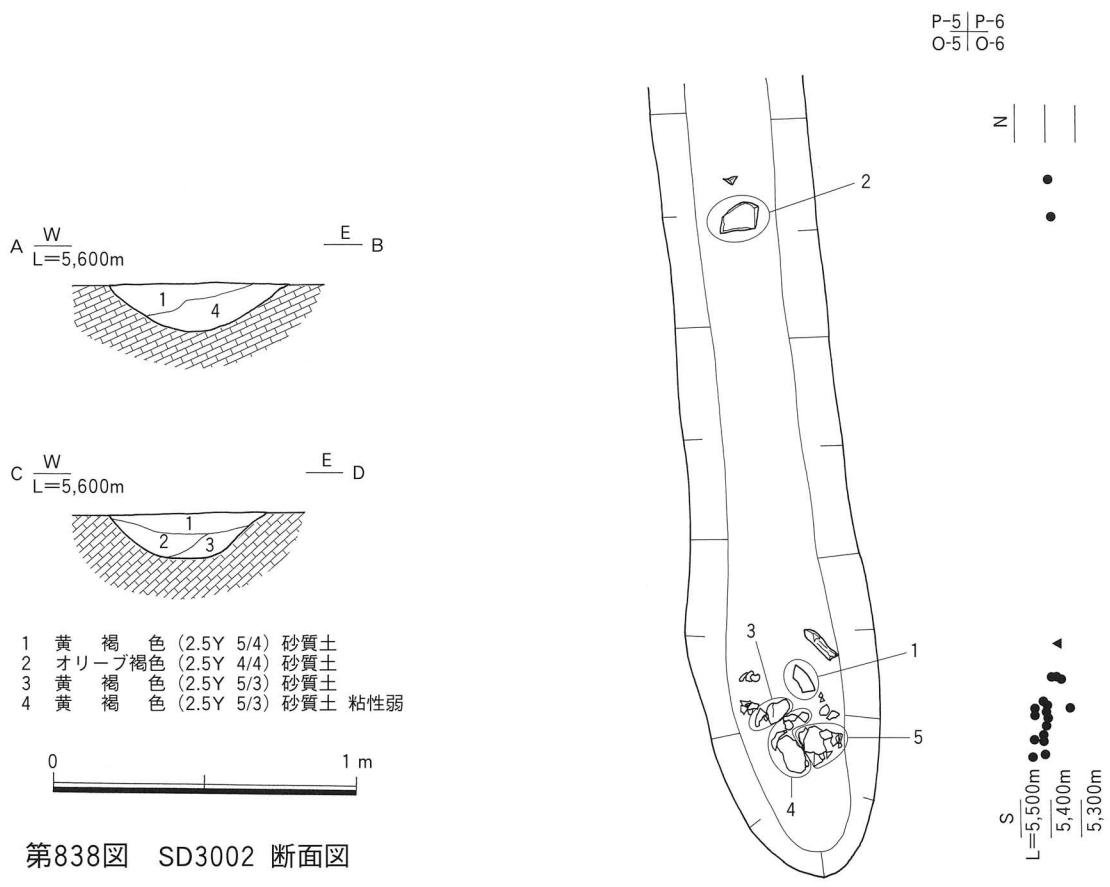
形態・規模 南北方向に向いており、残存する延長距離は7.65m、幅は1.75m、深さは0.50mを測る。断面形状はやや不整形な皿状を呈している。

土層 1層である。

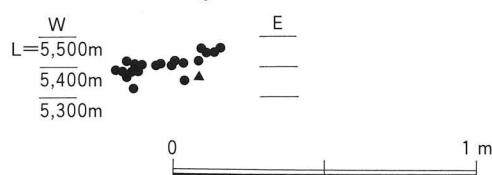
遺物出土状況 図示できるものはない。

出土遺物 1は土錘である。

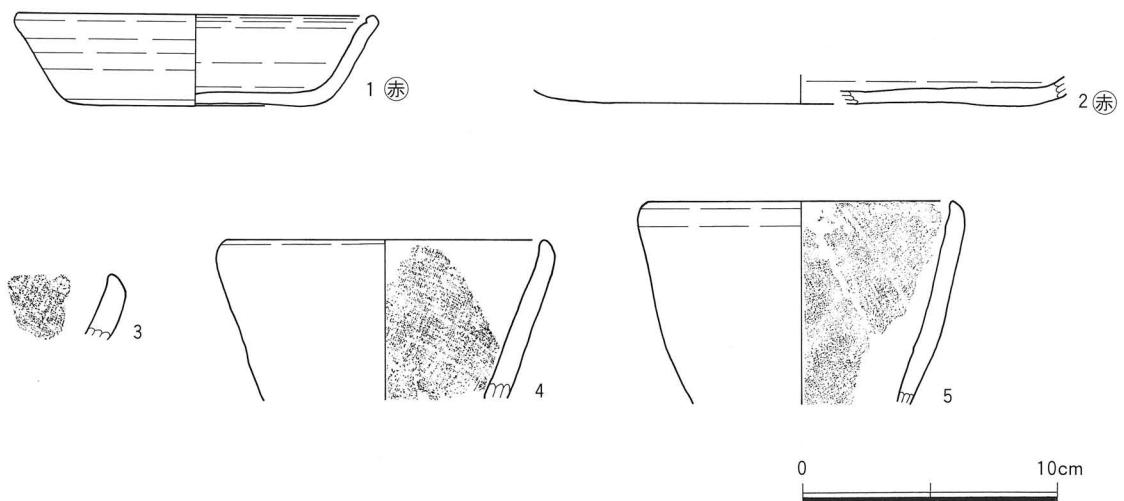
時期 古代以降と考えられる。



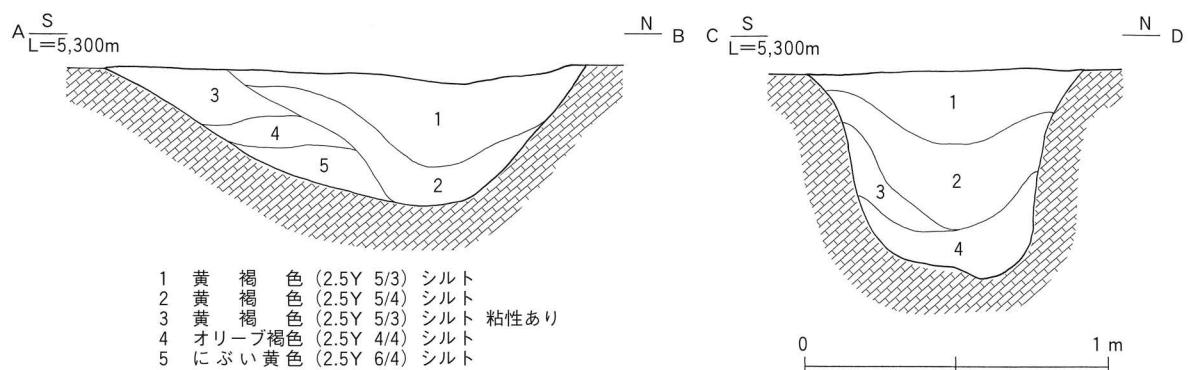
第838図 SD3002 断面図



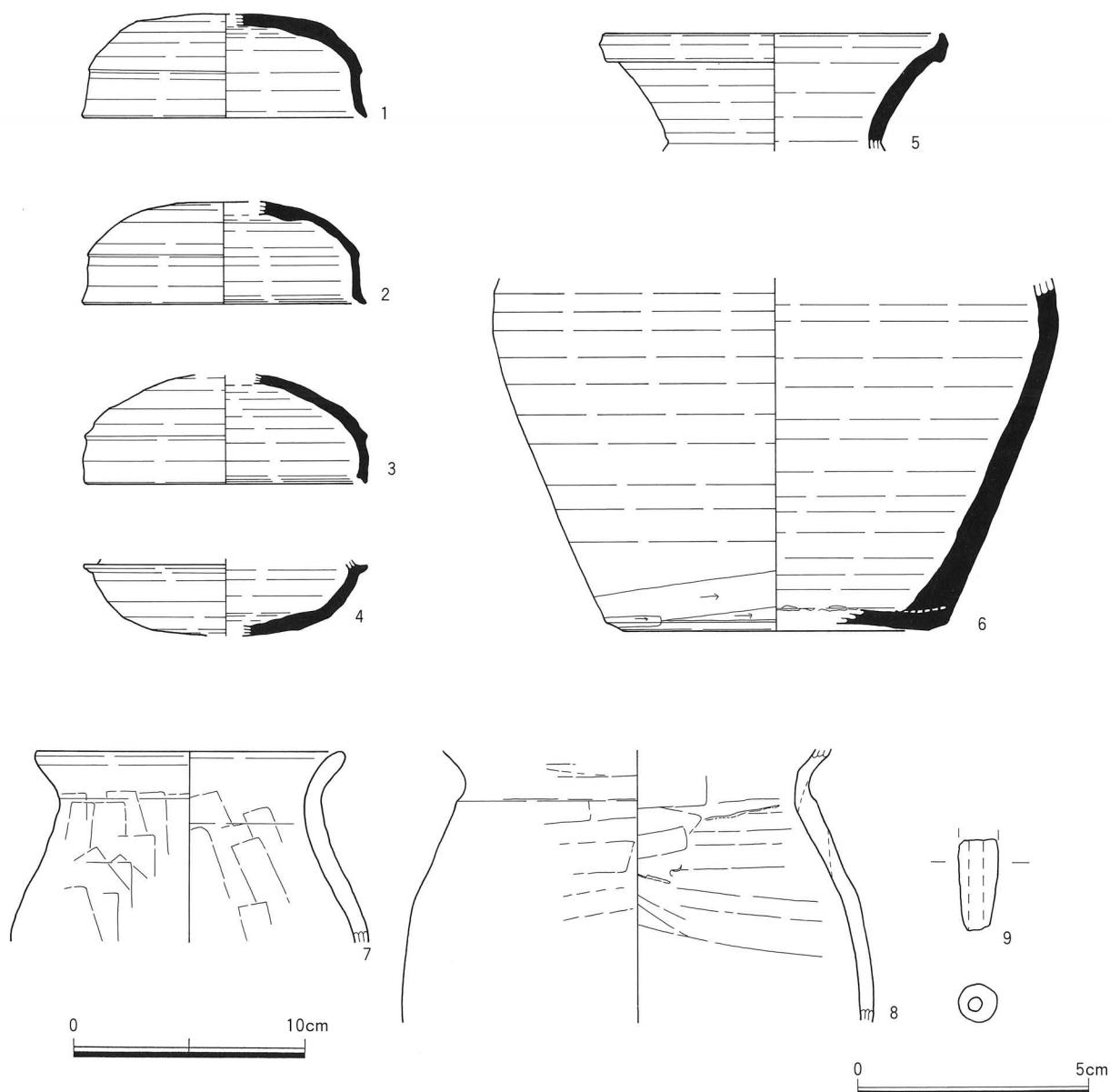
第839図 SD3002 遺物出土状況図



第840図 SD3002 出土遺物



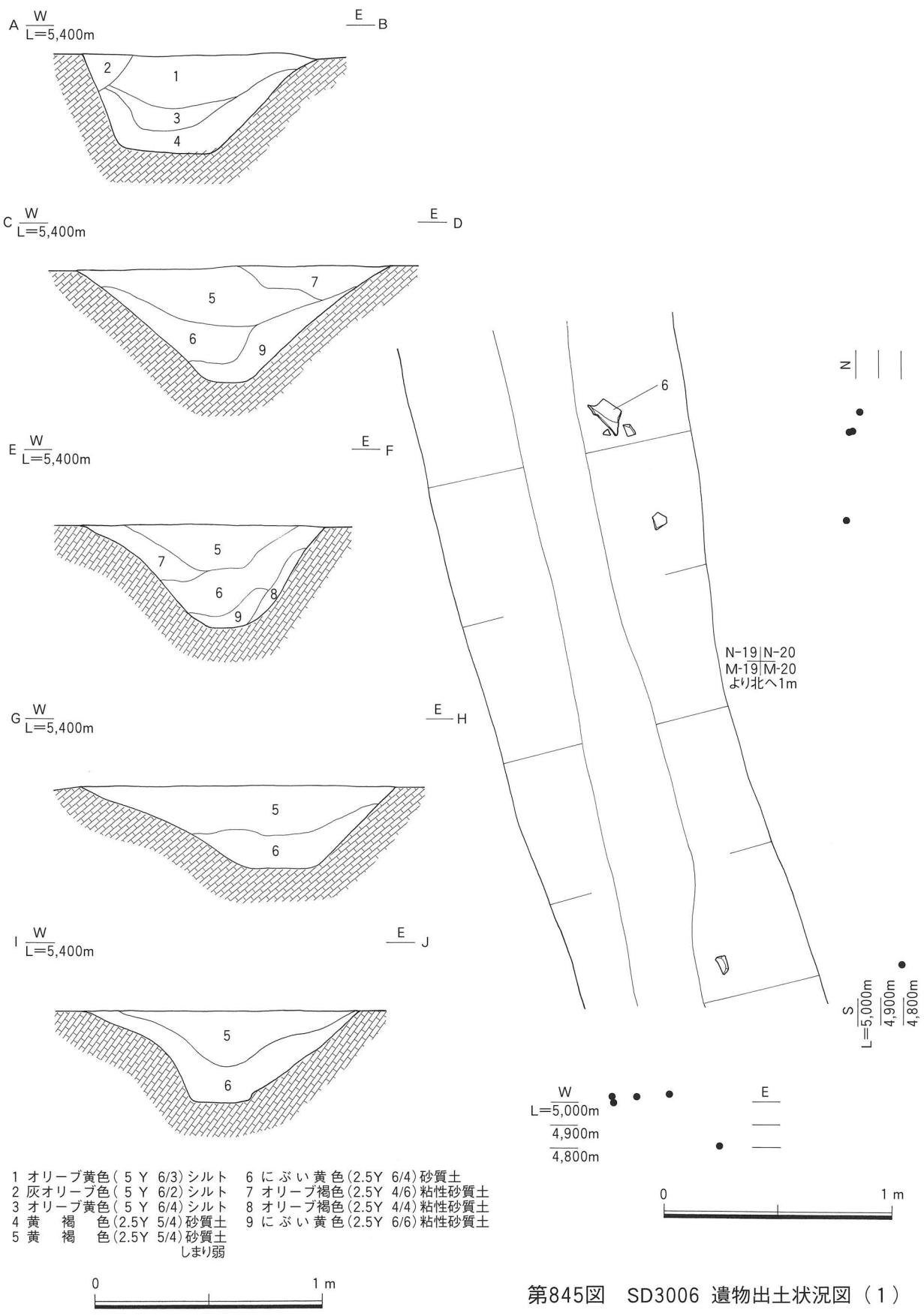
第841図 SD3004 断面図



第842図 SD3004 出土遺物



第843図 SD3004 遺物出土状況図

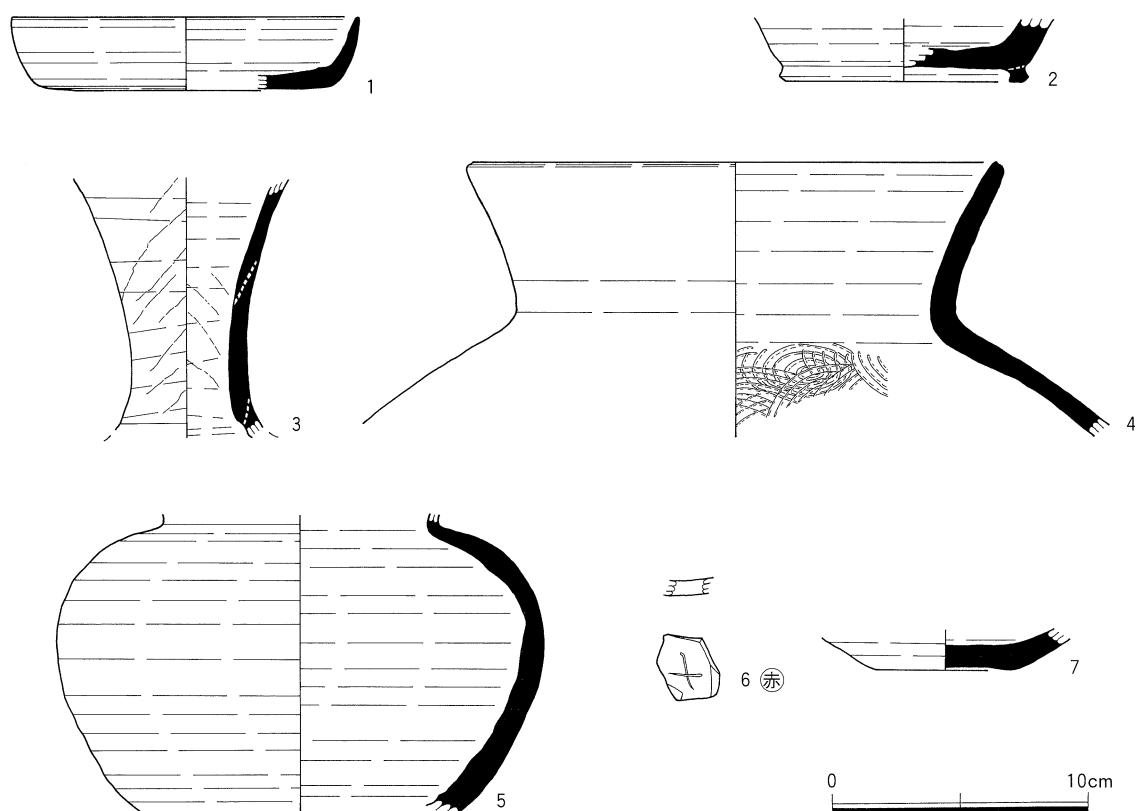


第844図 SD3006 断面図

第845図 SD3006 遺物出土状況図 (1)

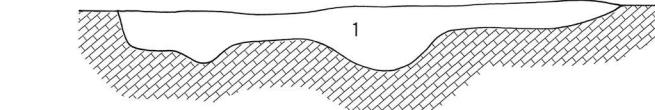


第846図 SD3006 遺物出土状況図 (2)



第847図 SD3006 出土遺物

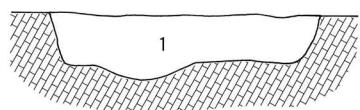
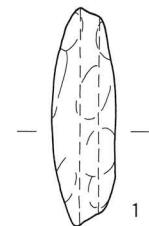
A $\frac{W}{L}=5,000m$



C $\frac{W}{L}=5,000m$

E D

E B



1 にぶい黄色 (2.5Y 6/3) 粘質土

0 1 m



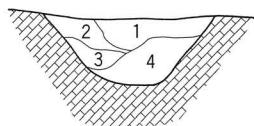
0 5cm

第848図 SD3007 断面図

第849図 SD3007 出土遺物

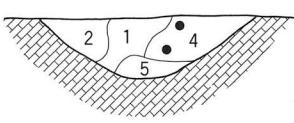
A $\frac{W}{L}=5,600m$

E B



C $\frac{W}{L}=5,600m$

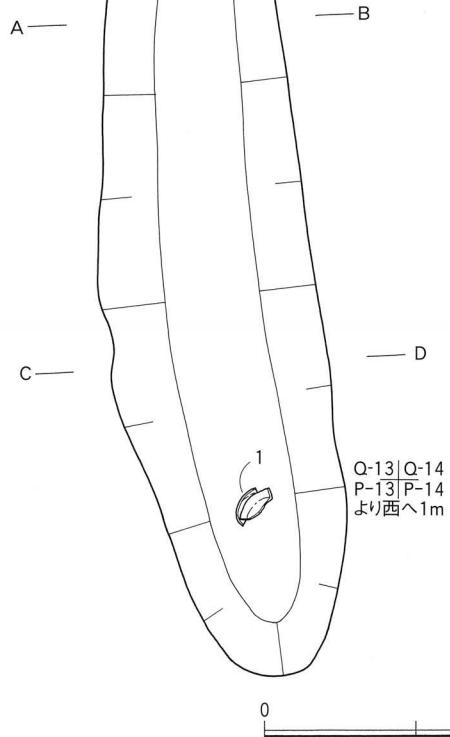
E D



1 暗オリーブ褐色 (2.5Y 3/3) 砂質土
2 にぶい黄色 (2.5Y 6/4) 砂質土
3 黄褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土
4 にぶい黄色 (2.5Y 6/3) 砂質土
5 オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) 砂質土

0 1 m

第850図 SD3011 断面図



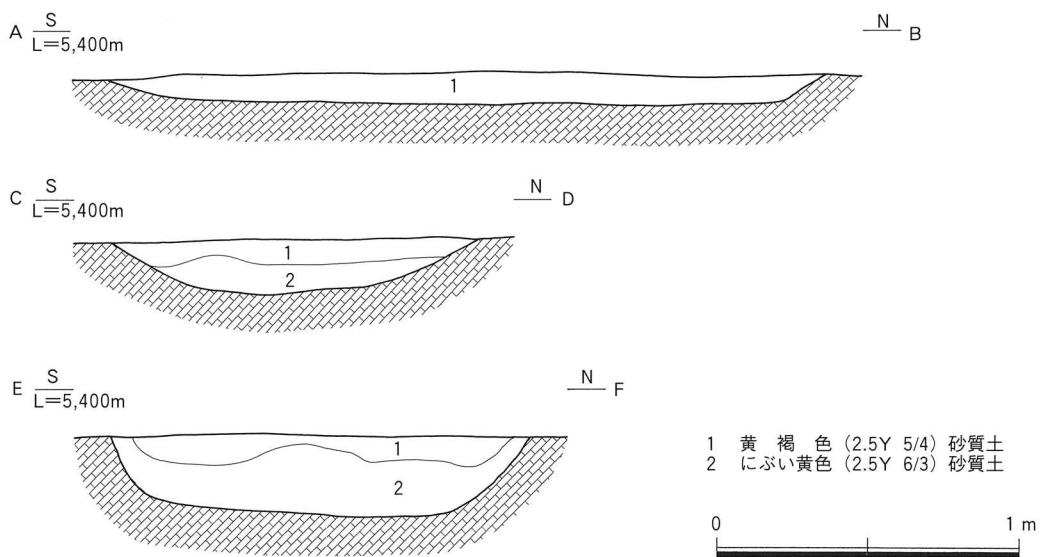
0 1 m

第851図 SD3011 遺物出土状況図

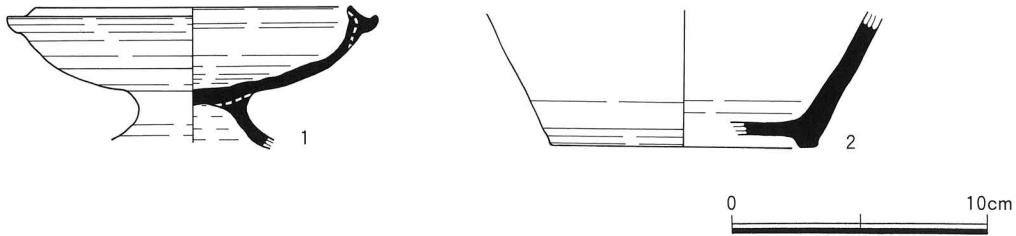


0 10cm

第852図 SD3011 出土遺物



第853図 SD3027 断面図



第854図 SD3027 出土遺物

11号溝 (SD3011) (第850~852図)

検出場所 1998年調査6区

形態・規模 南北方向を向いており、残存する延長距離は3.30m、幅は0.72m、深さは0.21mを測る。断面形状は逆台形および逆三角形を呈する。

土層 5層に分層される。

遺物出土状況 南端部分から出土している。

出土遺物 1は土師器の杯である。

時期 出土した遺物から平安時代と考えられる。

27号溝 (SD3027) (第853・854図)

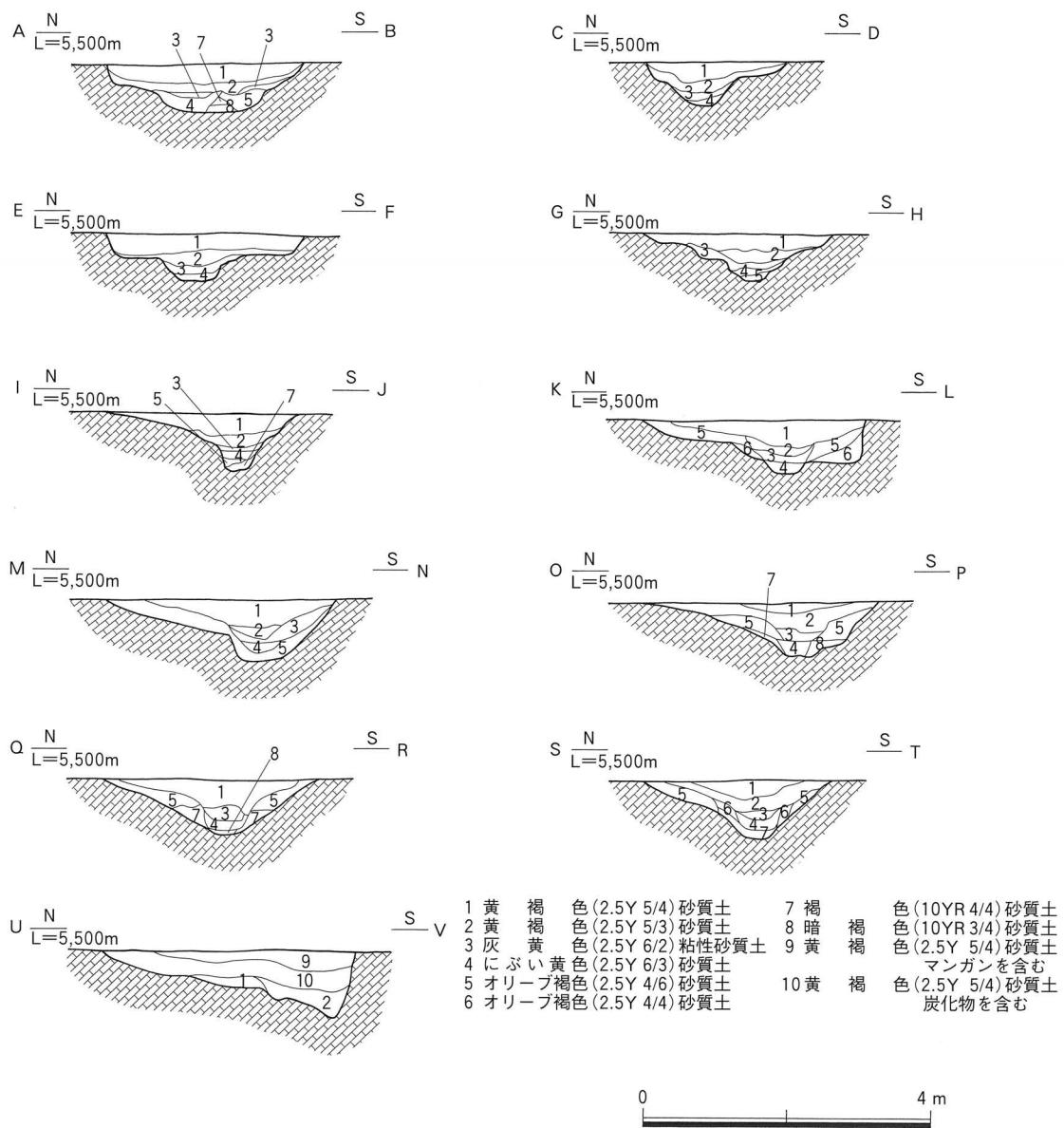
検出場所 1998年7区・2003年2-2区

形態・規模 東西方向を向いており、残存する延長距離は58.20m、幅は2.40m、深さは0.28mを測る。断面形状は皿状を呈する。

土層 2層に分層される。

遺物出土状況 図示できるものはない。

出土遺物 1は須恵器の高杯である。2は須恵器の壺である。



第855図 SD3029 断面図

時期 出土した遺物から平安時代以降と考えられる。

29号溝 (SD3029) (第855~886図・付図)

検出場所 1998年7区・2003年2-2区

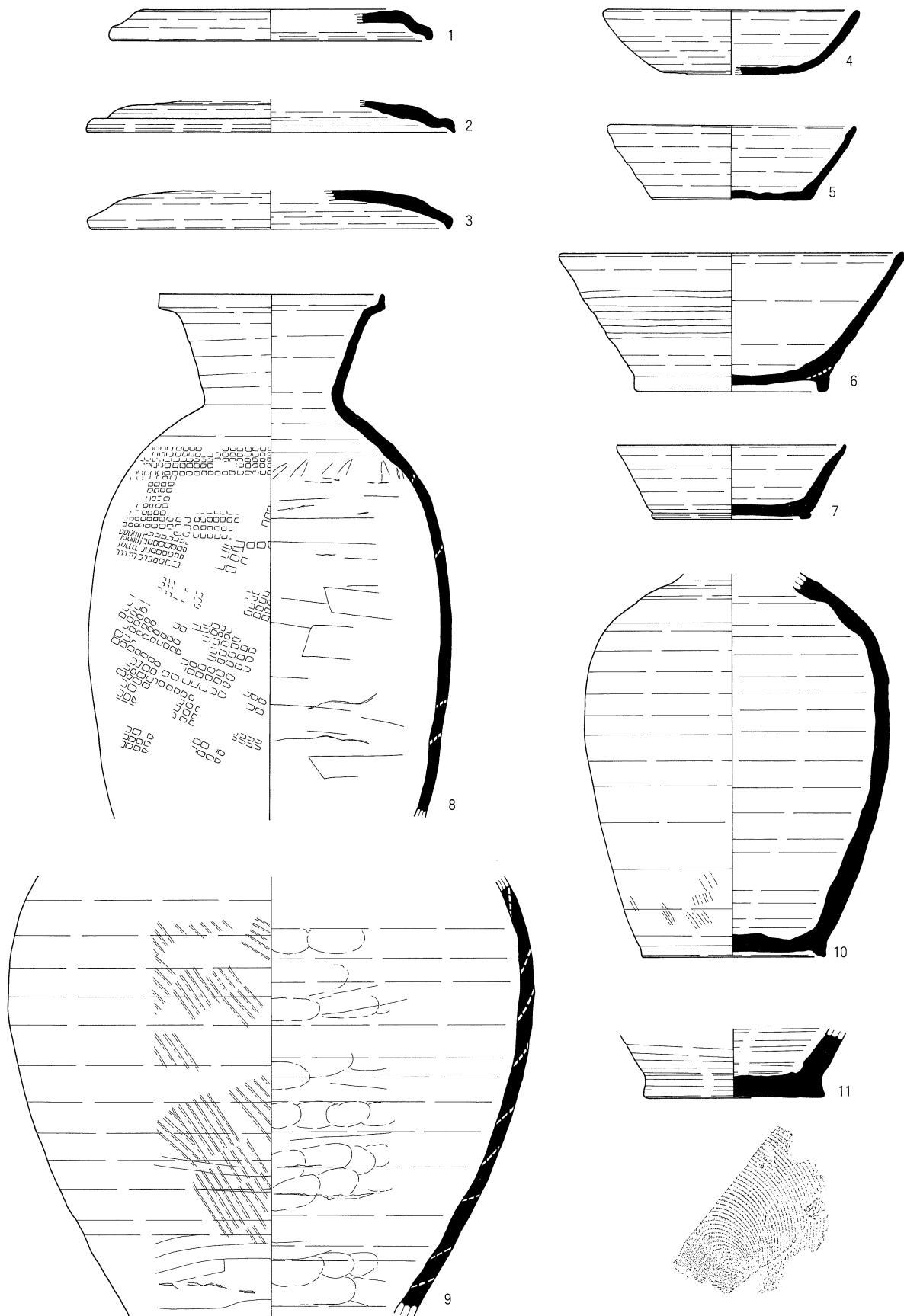
形態・規模 東西方向を向いており、残存する延長距離は68.40m、幅は3.60m、深さは0.94mを測る。

断面形状は二段形またはV字状を呈する。

土層 10層に文層される。

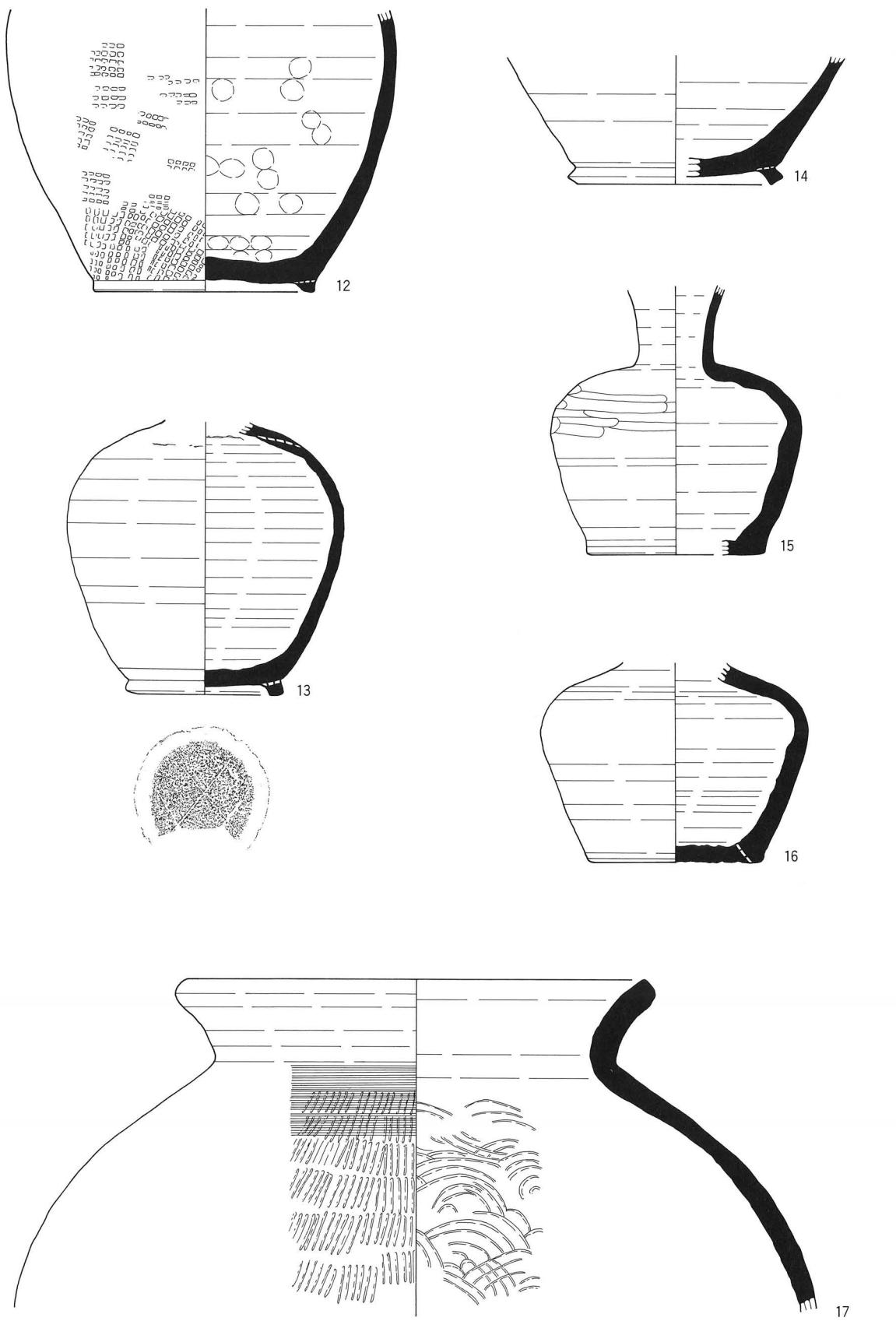
遺物出土状況 東半部寄りの検出面から埋土条半部を中心として多くの遺物が出土した。

出土遺物 1~3は須恵器の蓋である。4~7は須恵器の杯である。8~16は須恵器の壺である。17~20は須恵器の甕である。21, 22は緑釉陶器の皿である。23~98, 100~102は土師器の杯である。99, 192,



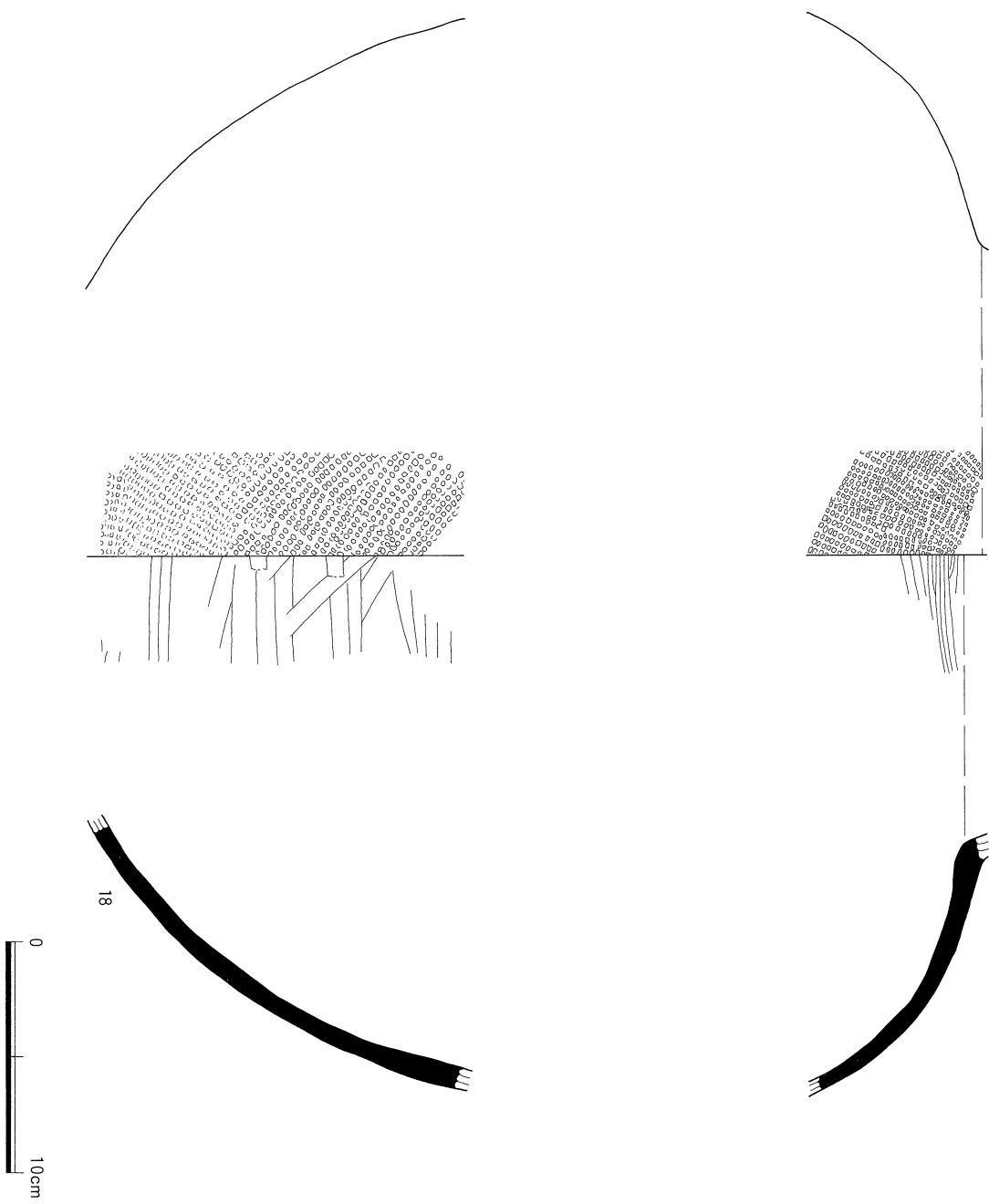
第856図 SD3029 出土遺物（1）

0 10cm

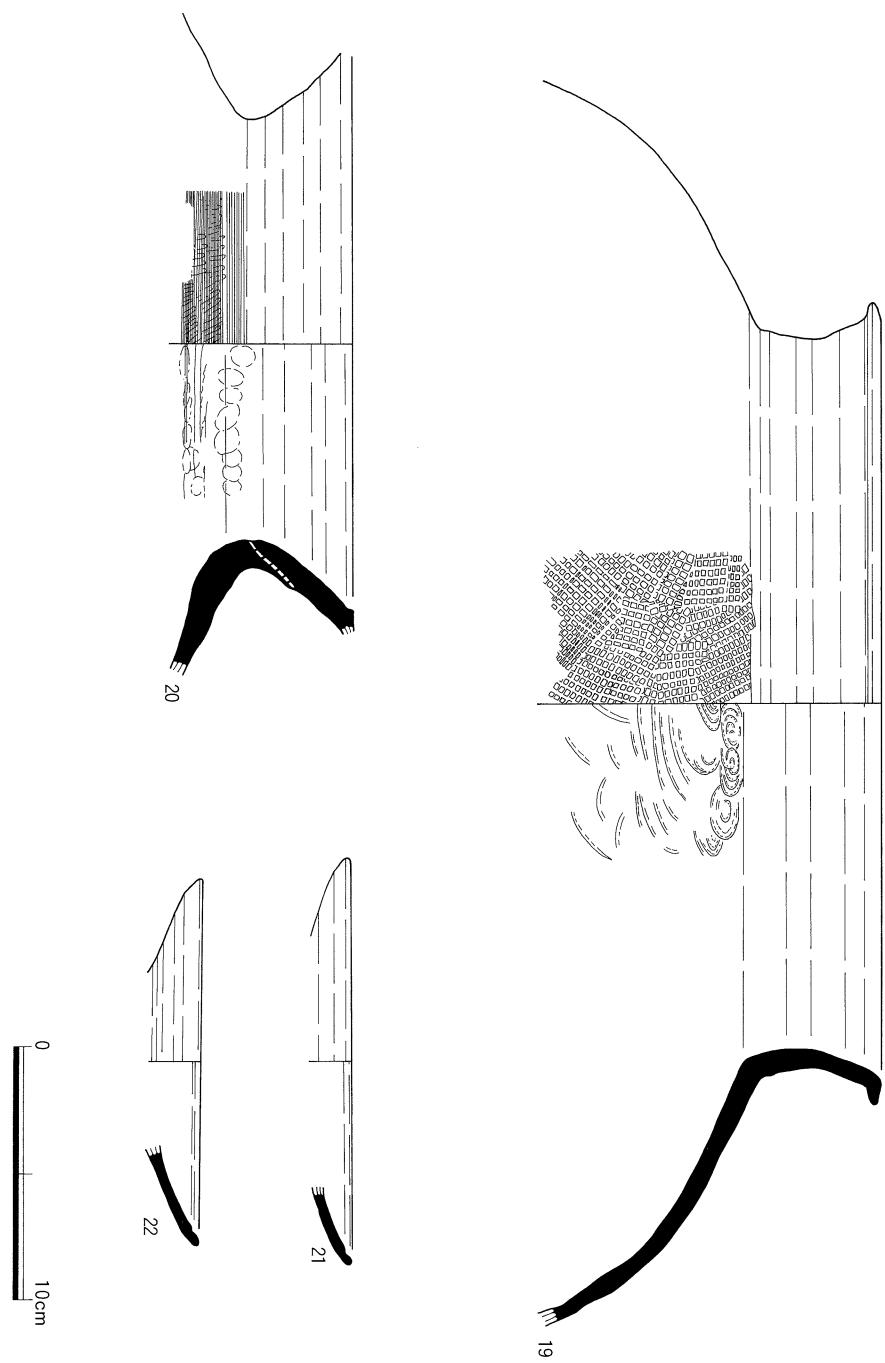


第857図 SD3029 出土遺物（2）

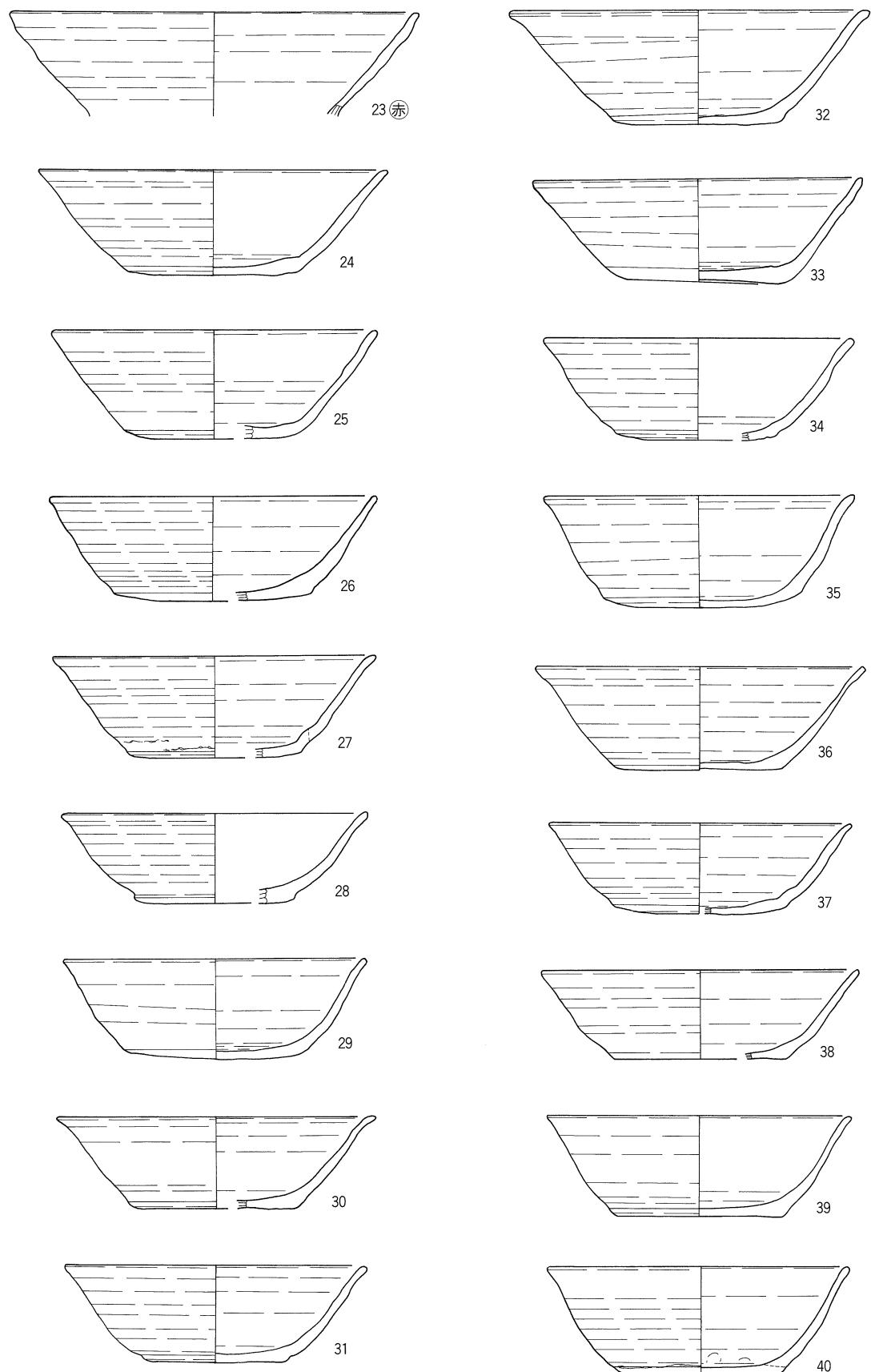
0 10cm



第858図 SD3029 出土遺物 (3)

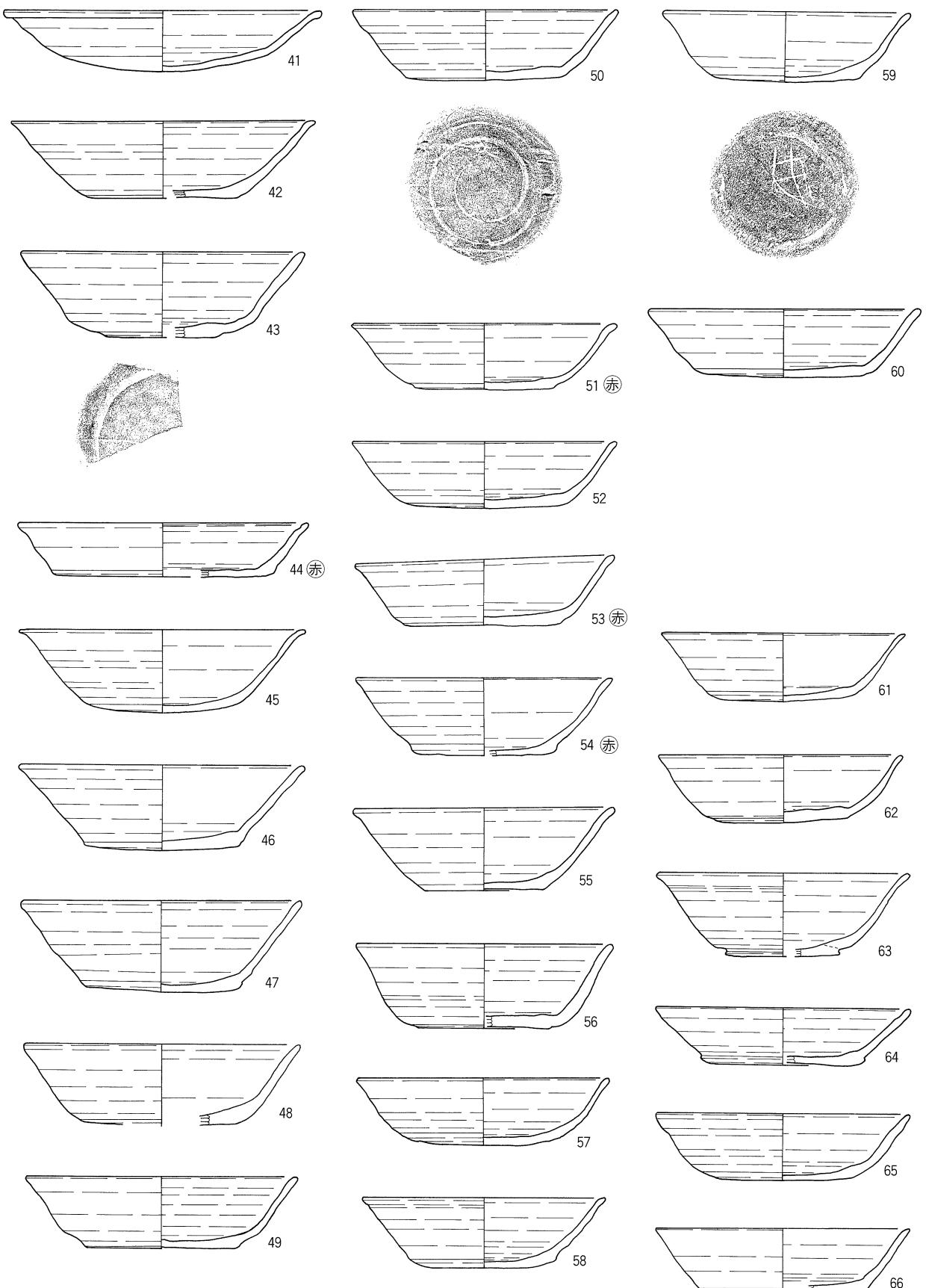


第859図 SD3029 出土遺物 (4)



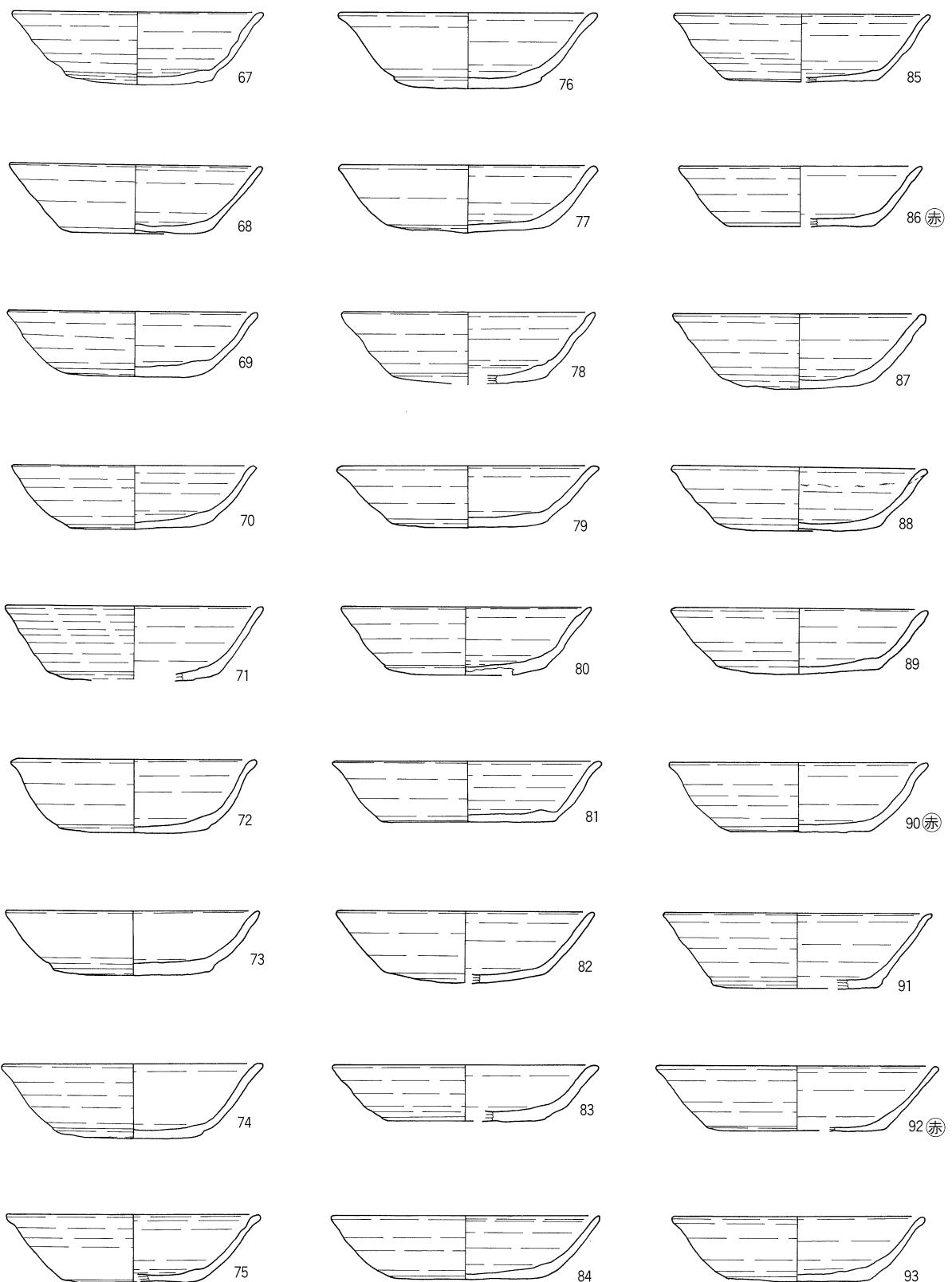
第860図 SD3029 出土遺物 (5)

0 10cm



第861図 SD3029 出土遺物 (6)

0 10cm



0 10cm

第862図 SD3029 出土遺物 (7)